

平成27(2015)年度研究年報

第 12 号

平成 29 年 1 月

首都大学東京 健康福祉学部



首都大学東京

首都大学東京
平成 27 (2015) 年度
研究年報

第 1 2 号

平成 2 9 年 1 月

序

研究年報(第12号)の発刊にあたって

平成17年4月に新たな総合大学である首都大学東京を開学して早くも11年が経過した。首都大学東京では、「大都市における人間社会の理想像の追求」を大学の使命として、①都市環境の向上、②ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築、③活力ある長寿社会の実現をキーワードに掲げ、大都市の現場に立脚した教育研究を目指している。

首都大学東京健康福祉学部と大学院人間健康科学研究科では、社会科学から生命科学に亘る基礎と臨地・臨床を含む広範な領域をテーマとして研究を行っている。保健・医療・福祉の専門職への社会の要請と期待に応えるべく、看護学科・理学療法学科・作業療法学科・放射線学科を備え、また大学院では看護科学域、理学療法科学域、作業療法科学域、放射線科学域、フロンティアヘルスサイエンス学域、ヘルスプロモーションサイエンス学域を備え、都民の健康・保健・医療の向上に寄与できるスペシャリストや、専門分野において指導的役割を果たす高度実践的医療人を育成することを基本理念に、深く豊かな人間性をもつ人材の育成を目指している。東京都医学研究機構及び東京都健康長寿医療センターとの連携や、都立病院をはじめとした医療機関や福祉施設との研究・教育における協力関係や学術情報のネットワーク化など、地域保健医療の拠点として積極的な展開を図っている。

研究成果の還元においては、産学公連携センターが取りまとめている研究シーズ集による研究成果の公開、日本保健科学学会の活動を通じた研究推進や情報交換が挙げられる。

今回発刊する研究年報第12号は、平成27年度の研究活動の成果を取りまとめたものである。この冊子を通して、本学部での研究活動に対する理解を深めていただくとともに、研究活動のより一層の活性化につながればと願っている。

平成29年1月

首都大学東京
健康福祉学部長
木下 正 信

目次

学部長

教 授 木下 正信…………… 3

看護学科

学科長 飯村 直子…………… 7
教 授 安達 久美子…………… 8
教 授 勝野 とわ子…………… 10
教 授 河原 加代子…………… 11
教 授 斉藤 恵美子…………… 13
教 授 習田 明裕…………… 15
教 授 西村 ュミ…………… 16
教 授 猫田 泰敏…………… 19
准教授 飯塚 哲子…………… 20
准教授 石川 陽子…………… 21
准教授 木村 千里…………… 22
准教授 島田 恵…………… 24
准教授 園部 真美…………… 25
准教授 種吉 啓子…………… 27
准教授 野村 亜由美…………… 28
准教授 廣川 聖子…………… 29
准教授 福井 里美…………… 30
准教授 三浦 里織…………… 31
准教授 山本 美智代…………… 32
助 教 新井 清美…………… 33
助 教 川添 美花…………… 35
助 教 佐藤 香…………… 36
助 教 高嶋 希世子…………… 37
助 教 戸村 ひかり…………… 38
助 教 前田 耕助…………… 39
助 教 増谷 順子…………… 40
助 教 三輪 聖恵…………… 41
助 教 吉田 和樹…………… 42

理学療法学科

学科長 新田 収…………… 45
教 授 浅川 康吉…………… 49
教 授 網本 和…………… 51
教 授 新井 光男…………… 53
教 授 易 勤…………… 54
教 授 竹井 仁…………… 56

教 授 山田 拓実…………… 59
准教授 池田 由美…………… 60
准教授 来間 弘展…………… 62
准教授 古川 順光…………… 63
助 教 宇佐 英幸…………… 64
助 教 神尾 博代…………… 65
助 教 信太 奈美…………… 66

作業療法学科

学科長 石井 良和…………… 69
教 授 大嶋 伸雄…………… 70
教 授 菊池 吉晃…………… 72
教 授 小林 法一…………… 75
教 授 小林 隆司…………… 78
教 授 繁田 雅弘…………… 81
教 授 ボンジェ・ペイター…………… 82
教 授 渡辺 賢…………… 84
准教授 石橋 裕…………… 85
准教授 伊藤 祐子…………… 86
准教授 井上 薫…………… 88
准教授 蘭牟田洋美…………… 90
准教授 谷村 厚子…………… 92
准教授 橋本 美芽…………… 93
准教授 宮本 礼子…………… 94

放射線学科

学科長 福士 政広…………… 99
教 授 小倉 泉…………… 103
教 授 加藤 洋…………… 105
教 授 齊藤 秀敏…………… 107
准教授 井上 一雅…………… 108
准教授 大谷 浩樹…………… 111
准教授 眞正 浄光…………… 112
准教授 関根 紀夫…………… 115
准教授 妹尾 淳史…………… 116
准教授 乳井 嘉之…………… 118
准教授 沼野 智一…………… 119
准教授 明上山 温…………… 122

注)所属・職位は平成28年4月現在

《表記方法等》

1 研究活動の掲載期間は、2015 年4月から 2016 年3月までである。

2 論文には、査読付きの業績を記載している。

【記載対象】学術論文、国際会議プロシーディングス、大学・研究機関紀要、研究会・シンポジウム資料、
その他学術会議資料、学位論文等

【読み方】氏名：タイトル、掲載媒体、掲載箇所、発表年月

3 著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。

【記載対象】単行本、事典・辞書、地図、音楽資料、映像、画像等

【読み方】氏名：タイトル、担当範囲、出版社、出版年月

4 Misc (Miscellaneous, 種々雑多なもの) は、基本的に査読なしの業績を含んでいる。

【記載対象】研究論文、速報・短報・研究ノート等(学術雑誌、大学・研究機関紀要)、
研究発表要旨(国際会議、全国大会、その他学術会議)、機関テクニカルレポート、
プレプリント、総論・解説(学術雑誌、国際会議プロシーディングス、大学・研究所、
商業誌・新聞・ウェブメディア等)、講義資料(セミナー、チュートリアル、講習、講義他)、
書評、文献紹介、会議報告、その他記事

【読み方】氏名：タイトル、掲載媒体、掲載箇所、発表年月

5 講演・口頭発表等は、講演や国内会議、国際会議などにおいて発表された業績を含んでいる。

【記載対象】口頭発表(一般、招待・特別、基調講演)、ポスター発表、シンポジウム・ワークショップパネル
(公募、指名)、公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義、メディア報道

【読み方】氏名：タイトル、発表の場、発表年月

6 競争的研究費の課題は、分担研究者となっている業績を含んでいる。

【読み方】氏名：研究費の種類「タイトル」、期間・年月

7 社会貢献活動は、イベント、番組、新聞雑誌など、社会的に貢献した業績を対象としている。

【読み方】氏名：活動内容・タイトル、主催・媒体名、期間・年月

8 外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している

健康福祉学部長

健康福祉学部

学部長

木下 正信

Misc

- 1) 木下正信:わが国における専門職連携教育・専門職連携実践(IPE・IPW)の重要性と今後の展望. 医薬ジャーナル, 51(12):51-53, 2015.12.

講演・口頭発表等

- 1) 木下正信, 廣瀬和彦:Myotonic dystrophy type 1 の妊娠中に全身の myalgia, 高 CK 血症を認めた 2 例. 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015.05.22.

看護学科

講演・口頭発表等

- 1) 西田志穂, 飯村直子, 吉野 純, 中村明子, 込山洋美, 赤津美雪:地域社会における子育て支援に関連する文献検討第1報:子どもの健康に関する親の予防行動および対処行動. 日本小児看護学会第25回学術集会講演集, 189. 2015.07.25.
- 2) 中村明子, 吉野純, 飯村直子, 西田志穂, 込山洋美, 赤津美雪:地域社会における子育て支援に関連する文献検討第2報:病児保育の現状. 日本小児看護学会第25回学術集会講演集, 190. 2015.07.25.
- 3) Nakamura, Y., limura, N. & Sugimoto, A.: The Review of Family Nursing Training Sessions in Japan. 12th International Family Nursing Conference. Copenhagen, 2015.08.20.
- 4) Takahashi, I. & limura, N.: A Family's Experience of Living with a Disabled Child; From the Onset of the Disease to the Decision to Live Together. 12th International Family Nursing Conference. Copenhagen, 2015.08.20.
- 5) 三浦里織, 福井里美, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師の活動状況と経年による役割変化. 日本がん看護学会誌, 2016.01.
- 6) 石橋 裕, 習田明裕, 網本 和, ボンジェ・ペイター, 金 寿蓮, 山村 礎, 浅川康吉, 小林隆司, 妹尾淳史, 廣川聖子, 川添美花, 飯村直子, 石井良和, 長内尚子, 大熊右文, 松村一秀, 富澤賢一, 木下正信:首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育(IPE)の新たな取組み 急性期・在宅シミュレーションルームの設置. 保健医療福祉連携, 2016.03.
- 7) 飯村直子:小児看護学の基礎. 千葉県民医連看護師学習会教育講演. 2015.12.19.

競争的資金等の研究課題

- 1) 飯村直子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子育て支援の輪をつなぐ小児医療と福祉のネットワークおよびプログラムの開発」, 2014-2016.
- 2) 首都大学東京健康福祉学部看護学科:平成 27 年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)成果報告書. 看護教育・研究の国際化推進と人材育成, 2016.03.

社会貢献活動

- 1) 白井和子, 陣内麻美, 飯村直子:ふたわやすらぎコンサート. 千葉県勤労者医療協会船橋二和病院, 2015.09.19.

論文

- 1) Shrestha S, Adachi K, Petrini MA, Shuda A, Shrestha S: Nepalese primiparous mothers' knowledge of newborn care. Nursing & health sciences, 17(3):347-353, 2015.09.
- 2) 飯島明子, 安達久美子, 坂田清美: 子育てひろばに通う母親の「付き合い・交流」の実態 居住年数の違いからの分析. 母性衛生, 56(4):683-691, 2016.01.

著書

- 1) 安達久美子: ピア・カウンセリング実践マニュアル. 2, 第2章 2-3, 小学館, 2015.04.
- 2) 安達久美子: セクシャリティがわかる本. 2, 一般社団法人日本家族計画協会, 2015.07.
- 3) 安達久美子: 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 第2版. 2, pp116-132, メディカルフレンド社, 2015.10.

Misc

- 1) 堀内成子, 山本詩子, 安達久美子, 毛利多恵子, 井本寛子, 淵元純子: 助産師の将来構想 日本助産師会ビジョン 2025(案)「すべての女性に助産師のケアを」. 助産師, 69(2):14-24, 2015.05.01.
- 2) 堀内成子, 山本詩子, 安達久美子: 日本助産師会ビジョン 2025(案): すべての女性に助産師のケアを (特集 助産師の将来構想). 助産師 = The Journal of Japanese Midwives' Association: 日本助産師会機関誌, 69(2):14-24, 2015.05.01.
- 3) 谷口初美, 大田康江, 山城五月, 新福洋子, Thien Thi Mai, 安達久美子, 岡本喜代子: 日本助産師会とベトナム助産師会との Twinning Project を省みて. 助産師, 69(4):23-27, 2015.11.

講演・口頭発表等

- 1) Kaori Yonezawa, Momoko Kusaka, Marie Tahara, Junko Tamagushi, Hitomi Kazama, Kumiko Adachi: The Risk Factors of Postpartum Hemorrhage at a Hospital in Japan. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 2) Kaori Kobayashi, Yasuhiro Tanaka, Chikako Mochizuki, Kumiko Adachi: The Use of Oxidative Stress Marker with Maternity Aerobics Effect. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 3) Kumiko Adachi, Taeko Mohri, Keiko Kasai, Tomoko Takeda, Rieko Imamura, Tomiko Okamoto, Kiyoko Okamoto: Birth Data In Japanese Birthing Home. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 4) Keiko Kasai, Kumiko Adachi, Taeko Mohri, Tomoko Takeda, Rieko Imamura, Tomiko Okamoto, Kiyoko Okamoto: Development of the Hospital Transfer Report System Using Web for Medical Security in Birthing Home. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 5) Chiaki Shirai, Junko Tabata, Takako Kanazawa, Sayaka Suzuki, Kumiko Adachi, Kukiko Ogawa: Pregnancy and Child Care in Teen Years Old Mothers: Told through the Life Stories of the Women Themselves. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.

- 6) Sayaka Suzuki, Michiko Takeuchi, Kumiko Adachi, Chiaki Shirai, Tnakoko Kanazawa, Chizuko Ushioda, Junko Tabata, Tomoko Uchida, Kukiko Ogawa: The State of Support for Teenage Mothers by Public Health Nurses. , 2015.07.
- 7) Yumiko Iwao, Hiroko Watanabe, Koukilwakura, Haruo Masuda, Hironobu Hyoudo, Eiichi Momotani, Davide Cossu, Kumiko Adachi: Leptin Concentrations in Breast Milk in Different Lactation Stage, and Effect of Gestational Diabetes Mellitus and Dietary Intakes in Japan. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 8) Yanmin Zhou, Kumiko Adachi: Empathy Between Parturient Women and Midwife in the Intrapartum Period. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 9) Taeko Mohri, Kumiko Adachi, Keiko Kasai, Tomoko Takeda, Rieko Imamura, Tomiko Okamoto, Kiyoko Okamoto: The Basic System for the Collection of Data on Childbirth in Japanese Birthing Home. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 10) 安達久美子, 西内友里: 恥骨結合上端部開角(PSA)と骨盤外計測値の関連. 第30回日本助産学会, 2016.03.
- 11) 二村文子, 安達久美子: 妊婦の旅に関する医療者への相談 妊婦、産科医、看護師・助産師の視点から. 第30回日本助産学会, 2016.03.
- 12) 西内友里, 安達久美子: 未分娩女性の恥骨結合上端部開角(PSA)測定を試み. 第30回日本助産学会, 2016.03.
- 13) 片岡優華, 安達久美子: 初めて親になる夫婦の妊娠期からの育児協働に関する文献検討. 第30回日本助産学会, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 安達久美子: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「妊婦の恥骨結合上端開角(PSA)の測定による妊娠中のリラキシン量推定の試み」, 2014-2016.
- 2) 小川久喜子, 安達久美子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「10代女性の周産期を中心とした育児支援システムの構築」, 2014.04-2017.03.
- 3) 河内浩美, 安達久美子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子どもの性的成熟に対する母親の育児困難感尺度の開発」, 2015.04-2019.03.

論文

- 1) 加藤智子, 勝野とわ子: Health-illness perception の概念分析. 日本保健科学学会誌, 18(2):51-58, 2015.

Misc

- 1) 勝野とわ子: 朝日新聞社 CSR 編: 認知症カフェを語る とともに生き、支えあう地域をめざして. (pp141-148), メディアケアプラス, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 勝野とわ子, 出貝裕子, 青柳優子, 小坂裕佳子, 青山美紀子, 大友晋: 若年認知症の配偶者とともに生きる家族の経験(Ups & Downs). 第35回日本看護科学学会学術集会講演集, 210-210, 2015.11.
- 2) 井手みのり, 勝野とわ子, 田中純子: 白内障手術目的で急性期病院に入院した後期高齢者の不安の特徴. 第35回日本看護科学学会学術集会講演集, 215-215, 2015.11.
- 3) Yukako Sugano, Towako Katsuno: Clinical foresight: a concept analysis. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.
- 4) Hiroyo Suenaga, Towako Katsuno: Chronological characteristics of muscle strength in the elderly after abdominal surgery-the second report. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.
- 5) Kazue Iwase, Towako Katsuno: Prognostication of death of the elderly by nurses in nursing home: facial expression of the elderly. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.
- 6) Tomoko Kato, Towako Katsuno: Suffering of people with epilepsy in everyday life. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.
- 7) Naoko Yamagishi, Towako Katsuno: Self-management support needs of elderly people with Type2 diabetes who live alone. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 勝野とわ子: 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)「若年認知症家族介護者の健康支援に関する看護技術開発」, 2015.04-2018.03.
- 2) 山岸直子, 勝野とわ子: 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)「独居の高齢2型糖尿病患者への Person-centered Care モデルの開発」, 2015.04-2018.03.

委員歴

- 1) 東京都荒川区介護保険運営協議会委員(2015.04-2016.03)
- 2) NPO 法人 若年認知症サポートセンター理事(2006-)

論文

- 1) 菅野太郎, 石田千絵, 齋藤正子, 久保祐子, 河原加代子, 小原真理子:避難所における要援護者に対するトリアージ手法の開発ーシミュレーション結果の事例別分析と評価ー, Japanese Journal of Disaster Medicine, 20 (1), 1-9, 2015.
- 2) 平原優美, 河原加代子, 黒澤泰子:外来化学療法中のがん患者が訪問看護を受けたことによる気持ちの変化と看護ケア, 日本在宅ケア学会誌, 19(1), 59-67, 2015.
- 3) Kayoko Kawahara, Mariko Ohara, Chie Ishida, et.al: Development of a triage system for vulnerable people in evacuation shelters: evaluation of teaching materials, Japanese Journal of Disaster Medicine, 20(2) 284-289, 2015.

著書

- 1) 河原加代子:系統看護学講座統合分野在宅看護論(第4版). 第1部総論編 第2章B家族, 第2部実践編 第5章在宅看護技術:31-37, 136-155, 医学書院, 2015.
- 2) 河原加代子:在宅ケア学 第6巻 エンド・オブ・ライフと在宅ケア. 第2部実践編 第1章IV 脳卒中後遺症とともに生きる人と家族のエンド・オブ・ライフ, 93-100, ワールドプランニング, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) Hirahara Y,Kawahara K, Kurosawa Y, Hayano K: Changes of the autonomic nervous system of healthy mature undertook the care of hot and hand massage. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, Japan, 2016.03.
- 2) Kurosawa Y,Kawahara K, Hayano K, Hirahara Y, Maeda K, Shuda A: A pilot study development and evaluation of foot care methods based on evidence. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, Japan, 2016.03.
- 3) Eiko Taylor, Kawahara K: The literature review of quality of good death at home-integrates Japanese and articles from abroad. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, Japan, 2016.03.
- 4) Nakano R,Kawahara K: Literature review related to the perception of chronic knee joint pain among elderly people. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, Japan, 2016.03.
- 5) 金子綾香, 河原加代子:在宅療養中の胃瘻造設患者における経口摂取再開のケースの特徴と関連要因. 第25回日本保健科学学会, 2015.09.
- 6) 園田芳美, 河原加代子:文献検討ー理論から方法を導くためのサブストラクションの手法を用いてー. 第25回日本保健科学学会, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 河原加代子:平成27年度傾斜的研修費, エビデンスに基づいた「足浴」「温電法・マッサージ法」の看護ケア方法の開発と評価, 代表, 採択.

その他

- 1) 河原加代子:北区における小児連携に関する取組みの報告.平成 26 年度重症心身障害児者の地域生活モデル事業報告書,公益財団法人日本訪問看護財団立 あすか山訪問看護ステーション, 2015.07.
- 2) 河原加代子:平成 27 年度訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修 研修報告書.東京都福祉保健財団, 2016.03.
- 3) 河原加代子:平成 27 年度 傾斜的研究費(部局長裁量経費)看護学科成果報告書.看護教育・研究の国際化推進と人材教育,首都大学東京 健康福祉学部看護学科, 2016.03.

論文

- 1) 呉珠響, 斉藤恵美子: 日本の都市部で生活するフィリピン女性の食習慣の文化変容. 日本公衆衛生看護学会誌, 4(1):2-10, 2015.06.
- 2) 鈴木浩子, 斉藤恵美子: 子ども虐待予防に向けた保健師の家庭訪問の支援による母親の変化. 日本公衆衛生看護学会誌, 4(1):32-40, 2015.06.
- 3) 渡邊亜梨珠, 表志津子, 平松知子, 斉藤恵美子: セルフケアを目的とした高齢者の足の手入れプログラムの開発. 金沢大学つるま保健学会誌, 39(1), 129-132, 2015.07.
- 4) 鈴木良美, 斉藤恵美子, 澤井美奈子, 岸恵美子, 掛本知里, 中田晴美, 五十嵐千代, 三好智美, 麻原きよみ, 永田智子, 森豊美, 神楽岡澄: 東京都特別区における保健師学生の技術到達度に関する学生・教員・保健師による評価. 日本公衆衛生雑誌, 62(12), 729-737, 2015.12.

著書

- 1) 斉藤恵美子: 第2章 公衆衛生看護学の対象と方法. 金川克子編集, 最新保健学講座1 公衆衛生看護学概論(第4版):32-70, 医歯薬出版株式会社, 2015.11.
- 2) 斉藤恵美子: 第1章 地域診断. 平野かよ子編集, 最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論(第4版):2-37, 医歯薬出版株式会社, 2015.11.

Misc

- 1) 斉藤恵美子: はじめよう! 強みを見い出す地域診断. 第18回日本地域看護学会学術集会講演集. 第18回日本地域看護学会学術集会プレセミナー, 2015.08.

講演・口頭発表等

- 1) Oh, C., Saito, E: Access barriers to health care services for ethnocultural minorities: a literature review. 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul, 2015.08.
- 2) Kanzaki, Y., Saito, E: Characteristics of public health nurses' care of community-dwelling frail older adults. 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul, 2015.08.
- 3) Suzuki, Y., Saito, E., Emiko Kishi, Satori Kamemoto, Chiyo Igarashi, Nakada Harumi, Minako Sawa: A comparative study of public health nursing competencies for nursing students evaluated by students, instructors, and public health nurses. 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul, 2015.08.
- 4) Omote, S., Watanabe, A., Hiramatsu, T., Saito, E., Yokogawa, M., R., Okamamoto, R., Sakakibara, C., Ichimori, A., Kyota, K., Tsukasaki, K: Elderly living independently in the community: an evaluation of first step toward foot care intervention. 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul, 2015.08.
- 5) 澤井美奈子, 山口智美, 鈴木良美, 斉藤恵美子, 五十嵐千代, 掛本知里, 岸恵美子, 中田晴美: 自治体と大学の協働による先駆的選択制実習の成果: 指導保健師へのインタビューから. 第74回日本公

衆衛生学会総会抄録集, 489, 2015.10.

- 6) 鈴木良美, 澤井美奈子, 斉藤恵美子, 岸恵美子, 五十嵐千代, 中田晴美, 掛本知里, 永田智子, 麻原きよみ:自治体と大学の協働による先駆的選択制実習の評価:学生の実習体験項目の変化. 第 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 489, 2015.10.
- 7) 河田志帆, 斉藤恵美子:性成熟期女性の保健行動の促進を目指したヘルスリテラシー向上プログラムの評価. 第 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 301, 2015.10.
- 8) 鈴木浩子, 斉藤恵美子:子ども虐待予防に向けた保健師の家庭訪問による支援評価尺度の開発. 第 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 302, 2015.10.
- 9) 掛本知里, 中田晴美, 斉藤恵美子, 森豊美, 栗原せい子, 鈴木良美:特別区で先駆的に実施した保健師選択制実習の成果と課題:第 2 報保健師の評価から. 第 4 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2016.01.23.
- 10) 岸恵美子, 鈴木良美, 中田晴美, 澤井美奈子, 斉藤恵美子, 五十嵐千代, 掛本知里, 麻原きよみ, 栗原せい子, 森豊美:自治体と大学との協働による保健師基礎教育の取り組み:保健師選択制 2 年目の検証(ワークショップ). 第 4 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2016.01.23.
- 11) 斉藤恵美子, 和泉比佐子, 上野昌江, 安齋由貴子, 北岡英子, 大森純子, 五十嵐千代, 永田智子:投稿者と査読者, 編集委員の良好なコミュニケーションに向けて:論文掲載までの道程. 第 4 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2016.01.23.

競争的資金等の研究課題

- 1) 表志津子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「降雪地域の高齢者の心身機能向上を目的とした歩行機能サポートプログラムの構築と評価」, 2013-2017.(分担)
- 2) 鈴木良美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「保健師選択制を先駆的に実施した自治体と大学との協働による学生の到達度評価」, 2014-2016.(分担)

論文

- 1) 大田博, 習田明裕, 石川陽子, 志自岐康子: 新人看護職員研修事業「医療機関受入研修事業」において提供された研修～事業開始初年度の受入れ施設への調査～. 医療職の能力開発, 3(2):77-81, 2015.07.21.

Misc

- 1) 習田明裕: 救急・急変に役立つフィジカルアセスメント 2 章症候・徴候からみたフィジカルアセスメントー脱水のフィジカルアセスメントとは?ー. ナーシングケア Q&A, (53):92-94, 2015.04.
- 2) 志自岐康子, 今西誠子, 習田明裕, 谷水名美, 萩原邦子, 林優子: 移植看護の倫理指針ー生体臓器移植の場合ー. 日本移植・再生医療看護学会誌 10(2), 10(2):20-25, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 藤田厚美, 習田明裕: 看護師の倫理調整に関する国内文献の動向. 日本保健科学学会誌, 2015.0.926.
- 2) 大庭貴子, 習田明裕: 悲しみに伴い生じた流涙によるストレス値の反応. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 3) 神谷綾子, 習田明裕, 河西 洋子: 糖尿病患者に抱く看護師のイメージの特徴. 日本看護科学学会学術集会講演集, 2015.11.
- 4) 藤田厚美, 習田明裕: 回復期リハビリテーション病棟看護師の多職種連携実践能力に関連する要因. 日本看護科学学会学術集会講演集, 2015.11.
- 5) 石橋 裕, 習田明裕, 網本 和, ボンジェ・ベイター, 金 寿蓮, 山村 礎, 浅川康吉, 小林隆司, 妹尾淳史, 廣川聖子, 川添美花, 飯村直子, 石井良和, 長内尚子, 大熊右文, 松村一秀, 富澤賢一, 木下正信: 先首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育(IPE)の新たな取組み 急性期・在宅シミュレーションルームの設置. 保健医療福祉連携, 2016.03.
- 6) Yasuko Kurosawa, Kayoko Kawahara, Kimiko Hayano, Yumi Hirahara, Kosuke Maeda, Akihiro Shuda: A pilot study for development and evaluation of foot care methods based on evidence. The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 7) Sachiko Hayashi, Akihiro Shuda: Characteristics of uncertainty in illness of people with untreated unruptured intracranial aneurysms. The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 8) Sachiyo Nakamura, Akihiro Shuda: Experience of nursing professionals who perform their duties while coping with diseases. The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 9) Mai Onoda, Akihiro Shuda, Yasuko Shijiki: Analysis of the causes that led to the adoption by short-time regular nursing staff members. The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.14.

著書

- 1) 西村ユミ:13 研究を進めるにあたって「配慮」すること. 大北全俊, 桑原英之, 高橋綾編:ナースング・サブリ 事例でまなぶ ケアの倫理 (p.142-147), メディカ出版, 2015.12.09.
- 2) 西村ユミ:看護実践の語り: 言葉にならない営みを言葉にする. 新曜社, 2016.03.20.

Misc

- 1) 西村ユミ:【第 34 回日本看護科学学会学術集会/(株)医学書院共催ランチョンセミナーより】事象が分析方法を教えてくれるとは? 現象学的研究入門. 看護研究, 48(3):264-273, 2015.06.
- 2) 西村ユミ:【大学院で学ぶ意味-新たな看護を創るために】 学ぶスタイルを壊しつつ作る. 看護研究, 48(4):342, 2015.07.
- 3) 西村ユミ:「対談からうまれた 3 つの「問い」. 看護研究, 48(6):548-550, 2015.09.
- 4) 西村ユミ・山本則子:現象学的研究とグラウンデッド・セオリー. 看護研究, 48(6):525-535, 2015.09.
- 5) 西村ユミ:現象学的看護研究——考え方と方法. 医療看護研究, 12(1):8-13, 2015.10.
- 6) 西村ユミ:『異端の看護教育——中西睦子が語る』著者想定の子組みさえ超越する者に向けた“遺言状”. 看護教育, 56(11):1105-1105, 2015.11.
- 7) 西村ユミ:臨床に巻き込まれつつ学ぶ. 同朋, 67(12):18-18, 2015.12.
- 8) 西村ユミ:「現場力」と「身体」から生まれたプロジェクト. オレンジブック, ∞:130-139, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 西村ユミ, 前田泰樹:親から子への生体腎移植をめぐる家族の経験—遺伝性疾患としての多発性嚢胞腎に注目して—. 保健医療社会学論集, 2015.05.16.
- 2) 前田泰樹, 西村ユミ:新しい医学的知識と行為の可能性の変化—遺伝性疾患としての多発性嚢胞腎に注目して—. 保健医療社会学論集, 2015.05.16.
- 3) 河原智江・西村ユミ:高齢者虐待加害者に対する地域包括支援センター専門職の支援に関する検討(第 1 報). 第 14 回 日本トラウマティックストレス学会, 2015.06.20.
- 4) 西村ユミ:看護学教育の将来を託す人材の育成 看護の将来と研究者の育成 学問への入門と越境. 日本看護学教育学会誌, 2015.07.
- 5) 西村ユミ:看護の体験を語ること. 第 18 回北日本看護学会学術集会教育講演, 2015.08.30.
- 6) 西村ユミ:遺伝性疾患をもつ家族の病い経験. 日本質的心理学会第 12 回大会企画シンポジウム「家族の語りを支援する」, 2015.10.03.
- 7) 西村ユミ:医療現場における“看護師たち”の協働実践と生成. 日本質的心理学会第 12 回大会企画シンポジウム「文化化される身体 身体化される文化」, 2015.10.04.
- 8) 新井清美, 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 西村ユミ:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の評価の視点—教育効果評価尺度の作成—. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 9) 西村ユミ:患者への応答性としての看護実践. 医学哲学・倫理学会第 34 回大会, 2015.10.08.

- 10) HirokiMaeda, Yumi Nishimura: Activities of Patient Groups and Approval of a New Drug for Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease in Japan. 21st Qualitative Health Research Conference 2015, 2015.10.19.
- 11) Yumi Nishimura, Hiroki Maeda :Rearrangement of Temporal Experience Following Living-Donor Renal Transplantation; Focusing on the Illness Narratives of a Family with ADPKD. 21st Qualitative Health Research Conference 2015, 2015.10.21.
- 12) 三浦里織, 福井里美, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師の活動状況と経年による役割変化. 第 30 回日本がん看護学会学術集会, 2016.02.20.

競争的資金等の研究課題

- 1) 前田泰樹・西村ユミ: 科学研究費補助金 基盤研究(C)「遺伝学的知識と病いの経験の語りをめぐる概念分析的研究」(25380700), 2013-2015.
- 2) 福井里美・西村ユミ・飯塚哲子・三浦里織・新井清美: 平成 27 年度傾斜的研究(部局分・部局競争的経費)「演劇ワークショップ急性期看護技術演習に多学科で協働して取組む可能性の検討」, 2015.

社会貢献活動

- 1) 西村ユミ: 平成 27 年度戴帽式(都立青梅看護専門学校)「戴帽を迎える皆さんへ伝えたいメッセージ—自分の看護経験を大事にしよう」, 2015.04.28.
- 2) 細野知子, 坂井志織, 西村ユミ企画: 第 41 回日本保健医療社会学会大会 ラウンドテーブルディスカッション「専門性を超えて“生活”を眼差す」, 2015.05.17.
- 3) 西村ユミ: 平成 27 年度広島県専任教員継続研修「「看護する」ということを学べる実習指導法」, 2015.07.25.
- 4) 佐藤紀子, 三上れつ, 西村ユミ他企画: 日本看護学教育学会第 25 回学術集会 理事会企画Ⅱ「研究計画書をブラッシュアップしよう パートⅢ」「助成金による研究の発表」, 2015.08.18-19.
- 5) 西村ユミ: 公益社団法人 医療・病院管理研究協会 看護管理研修(看護職副院長・看護部長経営看護コース)「看護実践・管理の言語化」, 2015.08.20.
- 6) 西村ユミ, 村上靖彦: 司法研修所 平成 27 年度裁判基礎研究会 2(障害と社会)「コミュニケーションの在り方を捉え直す——ケアの実践の理解のために」, 2015.09.02.
- 7) 西村ユミ: 日本私立看護系大学協会 平成 27 年度研究セミナー「現象学的看護研究法」, 2015.09.19.
- 8) 西村ユミ: 平成 27 年度愛知県専任教育養成講習会「看護における現象学」, 2015.09.25.
- 9) 西村ユミ: 日本質的心理学会研究交流委員会主催 質的心理学会セミナー「現象学的研究入門——考え方と方法」, 2015.10.02.
- 10) 西村ユミ: 目白大学看護学研究科 特別講義「現象学的看護研究」, 2015.11.02.
- 11) 西村ユミ: 平成 27 年度国立病院看護研究学会 イブニングセミナー「看護ケアの現象学——実践経験の意味を再発見する」, 2015.11.27.
- 12) 河原智江, 西村ユミ: 第 35 回日本看護科学学会学術集会 交流集会企画「いま、当事者の立場に立った研究倫理を問い直す」, 2015.12.05.
- 13) 濱吉美穂・西村ユミ他: 第 35 回日本看護科学学会学術集会 交流集会委員会企画「看護学研究者と

としてのキャリアデザインを描こう！～博士課程修了後の未来が見えていますか？」, 2015.12.06.

- 14) 西村ユミ: 公益社団法人 山梨県看護協会「平成 27 年度看護師職能研修会」「看護ケアの現象学～看護を語り、看護をつくる～」, 2015.12.09.
- 15) 西村ユミ: 働く者のメンタルヘルス相談室 うつ・植物状態・がん 突然絶たれた、コミュニケーション: 寄り添い・つなぐ・シンポジウム「語り掛ける身体——植物状態(遷延性意識障害)患者との対話」, 2015.12.19.
- 16) 西村ユミ: 北海道社会福祉学会 2015 年度研究会「ケアの現在(いま)——現象学的研究の試みから」, 2016.01.23.
- 17) 西村ユミ: 公益社団法人 新潟県看護協会 「臨地実習指導者フォローアップ」研修会「実習指導の原理・学生の経験とその意味」, 2016.03.02.

講演・口頭発表等

- 1) 篁宗一, 清水隆裕, 猫田泰敏: 大学生のメンタルヘルスリテラシー教育の開発と支援ネットワークの構築, 第37回全国大学メンタルヘルス研究会 報告書, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 猫田泰敏: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「看護基礎教育における疫学のエデュケーションの教育目標の具体化と教育方法の改善・開発に関する研究」.
- 2) 猫田泰敏: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「高校生のメンタルヘルスリテラシー教育の開発と効果評価」.

著書

- 1) 飯塚哲子: 看取りについて考える, Clinical StudyVOL.36No.11, メディカルフレンド社, 2015.10.

講演・口頭発表等

- 1) 新井清美, 飯塚哲子: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の評価の視点－教育評価評価尺度の作成－. 第25回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 2) 飯塚哲子: 看とりについて考える. わたしの Death Education, 2015.11.14.
- 3) 飯塚哲子: いのちの音を聴く・いのちの誕生. 地域連携体験授業, 2016.01.25.

競争的資金等の研究課題

- 1) 新藤浩伸: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「地域資源の掘り起こしと学習文化活動の循環プロセスに関する実証研究」, 2014.04-2017.03.
- 2) 飯塚哲子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「医療系－保健医療福祉－専門職の基礎教育に関する連携教育プログラムの開発」, 2014.04-2017.03.
- 3) 福井里美: 首都大学東京傾斜的研究費(部局分)(部局競争的)「演劇ワークショップ急性期看護技術演習に多学科で協働して取組む可能性の検討」, 2015.04-2016.03.
- 4) 飯塚哲子: 首都大学東京 部局長裁量経費(個人研究)看護学科配分助成「近隣中学校との地域連携協働事業・健康保健教育支援「生命学」体験授業の評価」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 飯塚哲子: 東京都荒川区内中学校体験授業講師. 2016.01.25-.
- 2) 飯塚哲子: 東京都教育委員会主催事業デス・エデュケーション講師. 2016.02.07-.
- 3) 飯塚哲子: 早稲田大学エクステンション協力事業公開講座講師. 2015.11.14-.

論文

- 1) 大田博, 習田明裕, 石川陽子, 志自岐康子: 新人看護職員研修事業「医療機関受入研修事業」において提供された研修. 医療の能力開発, 3(2):77-81, 2015.07.

著書

- 2) 石川陽子: 看護学概論. 9, 国際看護, メディカ出版, 2016.01.

講演・口頭発表等

- 1) 石川陽子, 島田恵, 福井里美, 野村亜由美: 潜在看護師に対するキャリア支援プログラムの試行. 第25回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.27.
- 2) 永田恭子, 石川陽子: 中国帰国高齢者が医療・介護サービスを受ける上で抱えている困難と不安. 第25回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.27.

競争的資金等の研究課題

- 1) 奥島美夏: 日本学術振興会 基盤研究(B)「ASEAN 経済統合・EPA 下の保健医療人材の東アジア域内移動と職場適応の実証研究」, 2014.04-2019.03.
- 2) 石川陽子: 日本学術振興会 基盤研究(C)「日本における外国人看護師の異文化適応」, 2013.04-2016.03.
- 3) 古賀節子: 日本学術振興会 基盤研究(C)「「看護師の自律性」と社会的関連要因に関する研究—日米比較」, 2013.04-2016.03.

論文

- 1) 木村千里, 池田真弓, 園部真美: ケーススタディ: 大学生、地域住民、自治体の協働による育児支援ボランティア活動ー組織発達と活動メンバーの学びの検討ー. 保健医療福祉連携, 9(1):10-20, 2016.03.

Misc

- 1) 飯塚哲子, 木村千里: 看取りについて考える. 2, いのちに寄り添う看護, Clinical Study, 36(11), 49-57, メディカルフレンド社, 2015.10.

講演・口頭発表等

- 1) Kimura C, Sonobe M, Ikeda M: Assessment of midwifery students' knowledge acquisition through conducting breastfeeding education programs for couples during pregnancy. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.22.
- 2) Kimura C, Sonobe M, Azuma T: Adaptation of couple rearing twins: coping with challenges during the child rearing stage - Focusing on interactive data from dyadic interviews -. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.22.
- 3) Ikeda M, Kimura C, Sonobe M: Case study of a collaborative volunteer childcare organization of community residents, the local government, and university. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.22.
- 4) Tsumura A, Yamazaki A, Mine H, Soeda A, Odatsu K, Kimura C, Tokutani R, Okumura M, Yamamoto S, Horie Y, Waguri H: Case Study For Japanese Family Nursing Care: Preparing A Course Syllabus. 12th International Family Nursing Conference 2015, 2015.08.20.
- 5) Kimura C, Sonobe M: Difficulties and developments within cooperation and/or communication subsystems of couples rearing twins during the transition to parenthood. 12th International Family Nursing Conference 2015, 2015.08.20.
- 6) Yamazaki A, Tsumura A, Mine H, Soeda A, Odatsu K, Kimura C, Tokutani R, Okumura M, Yamamoto S, Horie Y, Waguri H: Case Study Training in Family Nursing: the Construction of a Program to Help Develop Both Theoretical and Practical Knowledge. MMIRA Asia Regional Conference 2015, 2015.09.19.
- 7) Kimura C: Collaboration of community child care volunteering - Polivka's conceptual model for community intragency collaboration -. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.03.15.
- 8) Masuya J, Kimura C: Exploration of service-learning by university student volunteers:. 19th East Asian Forum Of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 9) Sonobe M, Kimura C, Ikeda M, Azuma T: Cooperation and Relationship within Couples Rearing Twins during the Transition to Parenthood. 19th East Asian Forum Of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 10) Yamazaki A, Tsumura A, Mine H, Soeda A, Odatsu K, Kimura C, Tokutani R, Okumura M, Yamamoto S, Horie Y, Waguri H: The feasibility and short-term impact of case-study training in family nursing care targeting mid-level nursing professionals in Japan. 19th East Asian Forum Of Nursing Scholars, 2016.03.14.
- 11) 木村千里, 園部真美: コミュニティ・コラボレーションを基盤とした育児支援ボランティア活動における助産師の役割. 第35回日本看護科学学会学術集会, 2015.12.05.
- 12) 山崎あけみ, 津村明美, 峰 博子, 徳谷理恵, 堀江友紀, 和栗裕子, 副田明美, 尾立和美, 木村千里,

牧田彰一郎:家族看護のケーススタディ研修 企画・運営者と受講者がともに成長できるためのプログラム. 第 35 回日本看護科学学会学術集会, 2015.12.05.

競争的資金等の研究課題

- 1) 木村千里:公立大学法人首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「妊娠・出産包括支援における専門職協働 SWOT 分析によるケアプロバイダーの協働の評価」, 2015.04-2016.03.
- 2) 木村千里:公立大学法人首都大学東京 平成 27 年度傾斜研究費(部局長裁量経費)「近隣中学校との地域連携協働事業・健康保健教育支援「生命学」体験授業の評価」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 木村千里:いのちときずなのお話. 足立区東伊興小学校, 2016.02.09.
- 2) 木村千里:体の変化といのちの始まり. 足立区東伊興小学校, 2016.02.18.
- 3) 楯亜希子, 園部真美, 木村千里:母乳育児について. 荒川区産後支援ボランティア養成講座, 2015.09.07.
- 4) 園部真美, 木村千里, 楯亜希子:育児支援に必要な乳児に関する基礎知識. 荒川区産後支援ボランティア養成講座, 2016.02.29.
- 5) 飯塚哲子, 木村千里:看護、医療の A・B・C. 北豊島中学校・高等学校進路教育講座, 2016.01.25.

論文

- 1) 鍵浦文子, 渡部恵子, 大金美和, 小川良子, 羽柴知恵子, 東 政美, 伊藤 紅, 小山美紀, 池田和子, 島田 恵, 宮下美香: エイズ治療拠点病院の看護師が行うHIV/AIDS患者への療養指導頻度の変化. 日本エイズ学会誌, 18(1):86-91, 2016.02.

著書

- 1) 宮脇郁子, 篠持知恵子編著: 看護実践のための根拠がわかる 成人看護技術: 慢性看護. 9, メヂカルフレンド社, 2015.11.

Misc

- 1) 島田 恵: 文献紹介「Strategies to promote Adherence to Antiretroviral Therapy Applied by Dutch HIV Nurse Consultant: A Descriptive Qualitative Study.」. 日本エイズ学会誌, 18(1):110-110, 2016.02.

講演・口頭発表等

- 1) 島田 恵, 鳥居真由美, 下司有加, 杉野祐子: 一般病棟看護師が考える HIV/AIDS 外来看護. 日本保健科学学会誌, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 池田和子: 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究 分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～」」, 2011-.
- 2) 大金美和: 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金「血液凝固因子製剤による HIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究 分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究」」, 2011-.
- 3) 島田 恵, 加瀬田暢子: 文部科学省 科学研究費「HIV 陽性者へのセクシャルヘルス支援に関する看護師向け教育プログラムの開発研究」, 2013-.

社会貢献活動

- 1) 島田 恵: 慢性疾患セルフマネジメントワークショップ. 18, 2011-.
- 2) 島田 恵: 訪問看護管理者・指導者育成事業. 10,13, 2013-.

論文

- 1) 木村千里, 池田真弓, 園部真美: ケーススタディ 大学生、地域住民、自治体の協働による育児支援ボランティア活動 組織発達と活動メンバーの学びの検討. 保健医療福祉連携, 9(1):10-20, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) Mayumi Ikeda, Chisato Kimura, Mami Sonobe: Case Study of a Collaborative Volunteer Childcare Organization of Community Residents, the Local Government, and University: Analysis of Factors Contributing to Formation and Establishment. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 2) Chisato Kimura, Mami Sonobe, Tomomi Azuma: Adaptation of Couple Rearing Twins: Coping with Challenges during the Child Rearing Stage: Focusing on Interactive Data from Dyadic Interviews. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 3) Chisato Kimura, Mami Sonobe, Mayumi Ikeda: Assessment of Midwifery Students' Knowledge Acquisition through Conducting Breastfeeding Education Programs for Couples during Pregnancy: Analyzing Group Interaction. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 4) Mami Sonobe, Masami Usui, Taiko Hirose: Early Intervention Parenting Support during Pregnancy: Recognizing Infants' Cues and Interaction. The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, 2015.07.
- 5) Chisato Kimura, Mami Sonobe: Difficulties and Developments within Cooperation and/or Communication Subsystems of Couples Rearing Twins during the Transition to Parenthood. 12th International Family Nursing Conference, 2015.08.
- 6) 楯亜希子, 園部真美, 木村千里: 母乳育児について. 荒川区産後支援ボランティア養成講座, 2015.09.
- 7) 木村千里, 園部真美: コミュニティ・コラボレーションを基盤とした育児支援ボランティア活動における助産師の役割. 日本看護科学学会学術集会講演集, 2015.11.
- 8) 園部真美, 木村千里, 楯亜希子: 「育児支援に必用な乳児に関する基礎知識」. 荒川区訪問支援員(ボランティア)養成講座, 2016.02.
- 9) Mami Sonobe, Chisato Kimura, Mayumi Ikeda, Tomomi Azuma: Cooperation and Relationship within Couples Rearing Twins during the Transition to Parenthood. , 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 臼井雅美, 島袋香子, 園部真美, 田久保由美子, 金子あけみ: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「家族システムケアアプローチを用いた周産期家族支援プログラムの開発研究」, 2015-2017.
- 2) 園部真美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「Postnatal Promotional Guideを用いた家庭訪問母子支援プログラムの実践と評価」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 園部真美:ファミリーパートナーシップモデルによる育児支援講習会. 立川市, 2015.08.31.
- 2) 園部真美:ファミリーパートナーシップモデルによる育児支援講習会. 東京医科歯科大学, 2015.09.05-2015.10.03.
- 3) 園部真美:いのちときずなのお話. 足立区小学校, 生活科, 2016.02.09.
- 4) 園部真美:体の変化といのちの始まり. 足立区小学校, 保健, 2016.02.18.

講演・口頭発表等

- 1) Michiyo Yamamoto, Keiko Taneyoshi, Kiyoko Takashima, Naoko Imura, Haruna Nishi: Characteristics of nurses that influence whether or not they perform safety and welfare checks for their clients: focusing on visiting care during a disaster, . 19th EAFONS, Chiba, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 種吉啓子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子どもの在宅療養を支援する小児看護専門看護師の教育カリキュラムの検討」, 2014-2016.

社会貢献活動

- 1) 種吉啓子:日本保健科学学会誌査読者. 14, 2007-.
- 2) 種吉啓子:東京北医療センター看護研究講師. 10, 2009.06-.
- 3) 種吉啓子:東京都立足立特別支援学校 大学講座. 10, 2010-.
- 4) 種吉啓子:日本小児看護学会誌専任査読者. 14, 2011.07-.

著書

- 1) 野村亜由美:ワークブック国際保健・看護基礎論. 9, 153-177:, ピラール社, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 野村亜由美:看護の原点と可能性を問うー電子カルテと看護診断の導入がもたらした 20 年の変化ー. 日本保健医療社会学会, 2015.05.17.
- 2) Yuko Hayashi, Masae Miwa, Ayumi Nomura:The reality of health behaviors of female college studentsーA comparison between nursing students and general college studentsー. 36th International Association for Human Caring Conference, 2015.05.21.
- 3) Ayano Shiga,Ayumi Nomura, Masae Miwa:Interactions of nursing students during hospital training with patients with linguistic communication difficulties. 36th International Association for Human Caring Conference, 2015.05.21.
- 4) 石川陽子, 島田恵, 福井里美, 野村亜由美:潜在看護師に対するキャリア支援プログラムの試行. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.27.

競争的資金等の研究課題

- 1) 野村亜由美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「津波被災後の高齢者の外傷後成長と認知症に関する学際的研究ー老いの成熟を目指して」, 2013-2017.
- 2) 増田 研, 野村亜由美(分担):文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「東アフリカにおける「早すぎる高齢化」とケアの多様性をめぐる学際的研究」, 2013-2016.

社会貢献活動

- 1) 野村亜由美:医療法人敬天会. 18, 2002.11-.
- 2) 野村亜由美:国際看護論. 10, 2014-.
- 3) 野村亜由美:院内研修(専門コース・療育研究). 11, 2016.04-.

講演・口頭発表等

- 1) 田中郁弥,川添美花,森田牧子,デッカー清美,丸山拓亮,氏原将奈,長谷川聖奈,富樫和枝,廣川聖子,山村礎:救命救急看護師が希死念慮を聴取することに関する文献検討. 第 25 回日本保健科学学会, 2015.09.26.
- 2) 廣川聖子,竹島正:訪問看護を利用している自殺関連行動の既往がある精神科患者および支援の特徴. 第 35 回日本社会精神医学会, 2016.01.28.
- 3) 廣川聖子,竹島正:自殺関連行動がある精神科患者への訪問看護による支援の実態—訪問看護ステーションの特徴. 第 35 回日本社会精神医学会, 2016.01.28.
- 4) 廣川聖子,竹島正:自殺関連行動がある精神科患者への訪問看護による効果的な支援および課題—精神科医および未遂者支援実施自治体職員への調査. 第 35 回日本社会精神医学会, 2016.01.28.
- 5) 石橋 裕, 習田明裕, 網本 和, ポンジェ・ベイター, 金 寿蓮, 山村 礎, 浅川康吉, 小林隆司, 妹尾淳史, 廣川聖子, 川添美花, 飯村直子, 石井良和, 長内尚子, 大熊右文, 松村一秀, 富澤賢一, 木下正信:先首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育(IPE)の新たな取組み 急性期・在宅シミュレーションルームの設置. 保健医療福祉連携, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 廣川聖子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「自殺未遂歴がある精神科訪問看護利用者を対象とした自殺予防支援プログラムの開発」, 2015-2018.

社会貢献活動

- 1) 廣川聖子:精神科訪問看護がよりよくわかる研修会. 11,14, 2013.09-.
- 2) 廣川聖子:サリン被害者検診. 11,14, 2013.10-.

委員歴

- 1) 日本精神保健看護学会 広報委員会(2012.06-2015.06)
- 2) 日本精神神経学会 精神保健に関する委員会(2012.06-2015.06)
- 3) 日本社会精神医学会 評議員(2014.08-)

講演・口頭発表等

- 1) 福井里美, 守田美奈子, 吉田みつ子, 遠藤公久, 奥原秀盛:がん闘病 10 年以上のサバイバーのがん患者支援団体とのかかわりの実態. 本保健科学学会誌, 2015.09.
- 2) 遠藤公久, 大井賢一, 小澤知子, 内山由美, 福井里美, 奥原秀盛, 渥美隆之:がんサポートコミュニティにおけるがん患者の満足度とサポートグループ運営の課題 ―創設5年目と15年目の活動の比較を通して―. 第28回日本サイコオンコロジー学会総会プログラム抄録集, 2015.09.
- 3) 遠藤公久, 大井賢一, 小澤知子, 内山由美, 福井里美, 奥原秀盛, 渥美隆之:がん患者のサポートプログラムへの参加経験と病や人生に対する捉え方との関連 ―NPO がんサポートコミュニティ(CSC)の場合―. 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第17回大会, 2015.09.
- 4) 新井清美, 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 西村ユミ:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の評価の視点―教育効果評価尺度の作成. 日本保健科学学会誌, 2015.09.
- 5) 三浦里織, 福井里美, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師の活動状況と経年による役割変化. 日本がん看護学会誌, 2016.02.

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美:学術研究助成基金助成金 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「がん闘病生活 10 年間におけるサポートグループ参加と当事者間支援の実際とその意味」, 2013.04-2017.03.
- 2) 福井里美:首都大学東京健康福祉学部 平成27年度傾斜的研究費(部局分)部局競争的「演劇ワークショップ急性期看護技術演習に多学科で協働して取組む可能性の検討」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 福井里美:NPO がんサポートコミュニティ. 10,14,15, 2001-2016.
- 2) 福井里美:看護研究研修コース「質的研究」. 10, 2014.06.11-2016.06.
- 3) 福井里美:日本保健科学学会大会準備委員. 14, 2014.11-2015.10.

講演・口頭発表等

- 1) 三浦里織:【ケアのキーポイントがすぐわかる!すぐ役立つ!がん化学療法薬の速習帳 2015 年版】セルフケア指導の極意. プロフェッショナルがんナースング, 5(2):104-104, 2015.04.
- 2) 三浦里織:【チームで取り組む経口抗がん薬】経口抗がん薬における曝露予防対策. がん看護, 20(4):452-455, 2015.05.
- 3) 新井清美, 福井里美, 三浦里織, 飯塚哲子, 西村ユミ:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の評価の視点－教育効果評価尺度の作成－. 日本保健科学学会誌, 18(0):28-, 2015.09.
- 4) 三浦里織, 三浦昭順:食道がん術後患者が新しい“自分らしさ”を築くことへの援助. 第 53 回 日本癌治療学会学術集会プログラム号, 50(1):106-106, 2015.09.
- 5) 三浦里織, 福井里美, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師の活動状況と経年による役割変化. 日本がん看護学会誌, 30(suppl):213-, 2016.01.

競争的資金等の研究課題

- 1) 三浦里織, 福井里美, 西村ユミ, 飯村直子:首都大学東京健康福祉学部 平成 27 年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)(個別研究)「がん化学療法看護認定看護師の活動状況と経年による役割変化」, 2015.08-2016.03.
- 2) 福井里美:首都大学東京傾斜的研究費(部局分)(部局競争的)「演劇ワークショップ急性期看護技術演習に多学科で協働して取り組む可能性の検討」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 三浦里織:都立墨東病院「がん看護研修」講師, 2015.07.07-.

委員歴

- 1) がん医療研修機構 理事(2015.11-)

論文

- 1) Nakagawa K, Yamamoto M: A Study on Factors Related to Earthquake Preparedness by Family of Non-institutionalized Individuals with Severe Motor and Intellectual Disabilities. Japanese Journal of Social Welfare, 55(5):1-12, 2015.05.
- 2) Yamamoto M, Nakagawa K, Yoneyama A: A study of the experiences of individuals with severe motor and intellectual disabilities who resided in the Tokyo area during the Great East Japan Earthquake: Topics for the future in light of the vulnerability of those individuals. Journal of Japan Academy of Human Care Science, 9(1):17-32, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) Yamamoto M, Taneyoshi K, Takashima K, Imura N, Nishi H: Characteristics of nurses that influence whether or not they perform safety and welfare checks for their clients: Focusing on visiting care during a disaster. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, in chiba Japan, 2016.03.15.

競争的資金等の研究課題

- 1) 種吉啓子, 山本美智代: 文部科学省 科学研究費(基盤(C))「子どもの在宅療養を支援する小児看護専門看護師の教育カリキュラムの検討」, 2014.04-2017.03.
- 2) 山本美智代, 中川薫: 文部科学省 科学研究費(基盤(C))「在宅障害児者が不測の事態に備える教育プログラムの開発とその効果に関する研究」, 2015.04-2019.03.
- 3) 中川 薫, 山本美智代: 文部科学省 科学研究費(基盤(C))「障害児者の受けた震災被害と支援に関する文献研究—既存の知見の体系化」, 2015.04-2018.03.

Misc

- 1) 新井清美, 森田展彰: 飲酒のリスク判断と介入. 月刊細胞, 47(14):711-715, 2015.12.31.

講演・口頭発表等

- 1) 新井清美, 森田展彰, 大谷保和, 田中紀子: ギャンブル障害の深刻化に影響する要因の検討. 日本アルコール関連問題学会大会プログラム・抄録集, 2015.08.
- 2) 森田展彰, 新井清美, 田中紀子: 病的ギャンブラーの家族における精神健康とその関連要因. 日本社会精神医学会雑誌, 2015.08.
- 3) 新井清美, 森田展彰, 垣渕洋一, 新貝憲利: 危険な飲酒(Hazardous drinking)のプロセスに影響する要因の検討. 日本社会精神医学会雑誌, 2015.08.
- 4) 新井清美, 福井里美, 飯塚哲子, 三浦里織, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の評価の視点 教育効果評価尺度の作成. 日本保健科学学会誌, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 新井清美: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「病的ギャンブリングに関連する要因とリスク判断のためのアセスメントツールの開発」, 2015-2017.
- 2) 新井清美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「大学生のアディクション問題に関する研究—実態の把握と予防的教育の検討—」, 2015.05-2016.03.
- 3) 吉田和樹: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「東日本大震災における福島県内の地域包括支援センターの保健活動に関する研究」, 2015.05-2016.03.
- 4) 福井里美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分)「演劇ワークショップ急性期看護技術演習に多学科で協働して取り組む可能性の検討」, 2015.05-2016.03.
- 5) 森田展彰: 科学技術振興機構 「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域「全国調査データベースを用いた児童虐待の予防・早期介入システムの開発」, 2015.11-2019.03.
- 6) 宮岡等: 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(精神障害分野 様々な依存症の実態 把握と回復プログラム策定・推進のための研究 分担研究 4「病的ギャンブリングの実態調査と回復支援のための研究」, 2013.04.01-2016.03.31.
- 7) 樋口進: 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(精神障害分野 アルコール依存症者に対する総合的な医療の提供に関する研究 分担研究 4「アルコール依存症家族の支援に関する研究」, 2014.04.01-2017.03.31.
- 8) 鈴木勲: 厚生労働省課題研究 子ども子育て推進調査研究事業「非行児童の支援に関する研究」, 2016.01.15-2016.03.31.

社会貢献活動

- 1) 新井清美:与論徳洲会病院「NANDA 研修会」講師, 2015.08.17-2015.08.19.

講演・口頭発表等

- 1) 中川知佳, 山村礎, 永利美花, 原優子, 太田みどり, 加藤千恵子, 小林恭子, 中野隆史: 休学者・復学者への支援を考える(2)ー先行型支援と応答型支援ー, 第53回全国大学保健管理研究集会, 2015.09.
- 2) 丸山拓亮, 山村礎, 永利美花, 中川知佳, 原優子, 太田みどり, 加藤千恵子, 小林恭子, 中野隆史: 精神的問題をもつ学生の初回発言内容からみる言語的表出の特徴, 第53回全国大学保健管理研究集会, 2015.09.
- 3) 田中郁弥, 川添美花, 森田牧子, デッカー清美, 丸山拓亮, 氏原将奈, 長谷川聖奈, 富樫和枝, 廣川聖子, 山村礎: 救命救急看護師が希死念慮を聴取することに関する文献検討, 第25回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 川添美花: 文部科学省 研究活動スタート支援「大学生の保健センター利用動態及び援助要請行動に関する研究」, 2015-2016.

社会貢献活動

- 1) 佐藤 香:日本助産師会 荒川区支部定例会議. 11, 2015.04-.
- 2) 佐藤 香:母乳についての相談・卒乳について. 10, 2016.02.10-.

委員歴

- 1) 日本助産学会 査読委員会(2014-)
- 2) 公益社団法人日本助産師会 より効果的な妊娠出産包括支援事業としての産後ケアのあり方に関する研究 検討委員(2015.09-2016.04)

講演・口頭発表等

- 1) 高嶋希世子:エキスパートパネル3 考える看護師を育てよう! 新任教員の立場から. 日本小児看護学会 第25回学術集会, 2015.07.26.
- 2) Michiyo Yamamoto, Keiko Taneyoshi, Kiyoko Takashima, Naoko Imura, Haruna Nishi: Characteristics of nurses that influence whether or not they perform safety and welfare checks for their clients: focusing on visiting care during a disaster,. 19th EAFONS, Chiba, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 吉田和樹:平成27年度傾斜的研究費(部局分)(若手奨励)「東日本大震災における福島県内の地域包括支援センターの保健活動に関する研究」, 2015.04-2016.03.

委員歴

- 1) 日本小児看護学会 学術・研究推進委員会(2014.04-)

講演・口頭発表等

- 1) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一: 病院の退院支援に関するシステムの構築状況と、退院支援看護師の配置の有無との関係. 第 34 回日本看護科学学会学術集会, 2015.08.01.
- 2) 清水準一, 福井小紀子, 大園康文, 角川由香, 戸村ひかり, 石橋史子: 大学病院における終末期がん患者の退院支援【第 2 報】－退院支援内容と在宅死との関連－. 第 35 回日本科学学会学術集会, 2015.12.05.
- 3) 大園康文, 福井小紀子, 清水準一, 戸村ひかり, 角川由香, 石橋史子: 大学病院における終末期がん患者の退院支援【第 1 報】－支援開始後早期退院を促す要因－. 第 35 回日本科学学会学術集会, 2015.12.05.
- 4) 永田智子, 錦織梨沙, 戸村ひかり, 田口敦子, 鷲見尚己: 外来における在宅療養支援に関する研究の現状: 文献レビュー. 第 35 回日本科学学会学術集会, 2015.12.05.

講演・口頭発表等

- 1) 前田耕助、中村雅子、大黒理恵、大河原知嘉子、齋藤やよい: 背部への温度刺激が脳血流動態に及ぼす影響－入浴温度からの比較－. 日本看護研究学会, 2015.08.22.
- 2) 前田耕助、中村雅子、大黒理恵、大河原知嘉子、齋藤やよい: 客観的指標を用いた看護技術のエビデンス検証における主観的指標の活用状況. 2015年度国際混合研究法学会アジア地域会議／第1回日本混合研究法学会, 2015.09.19.

競争的資金等の研究課題

- 1) 前田耕助: 文部科学省 研究活動スタート支援「脳血流量を効果指標とした温度を活用した看護技術の開発」, 2014.08-2016.03.
- 2) 前田耕助: 公立大学法人首都大学東京 平成 27 年度傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「自作動画を用いた振り返り学習法の検討－ウェブサイトによる視聴の試み－」, 2015.04-2016.03.
- 3) 前田耕助: 公立大学法人首都大学東京 平成 27 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「足浴温度の違いが自律神経活動および脳血流動態に及ぼす影響」, 2015.04-2016.03.

論文

- 1) 増谷順子, 太田喜久子:施設高齢者の園芸活動を支援した職員の意識・行動変化. 人間・植物関係学会誌, 15(1):19-24, 2015.09.

Misc

- 1) 増谷順子, 太田喜久子, 真志田祐理子:看護実践の質保証研究開発, 超高齢社会に求められる高齢者支援方法の開発. 慶應義塾大学 SFC 研究所 看護ベストプラクティス研究開発ラボラトリ Report of 2015, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 太田喜久子, 増谷順子, 真志田祐理子:高齢者施設の看護・介護職を対象とした園芸活動の研修プログラムの試み. 慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2015, 2015.11.21.
- 2) Junko Masuya, Chisato Kimura:Exploration of service-learning by university student volunteers: Experiences in volunteering for childrearing families and the elderly in communities. The 19th EAFONS, 2016.03.15.

競争的資金等の研究課題

- 1) 増谷順子:首都大学東京 平成 27 年度 傾斜的研究費 部局分 若手奨励経費「認知症ケアに携わる看護・介護職への園芸活動研修に関する実証的研究」, 2015.07-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 増谷順子:慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員. 14, 2014.04.01-.
- 2) 増谷順子:慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師. 10, 2015.04.01-.

委員歴

- 1) International Journal of Nursing & Clinical Practices 編集委員(2014.08-)
- 2) 日本認知症ケア学会 2015 年度 関東地域大会 実行委員(2015.04-)

講演・口頭発表等

- 1) 志賀純乃, 野村亜由美, 三輪聖恵: Nursing student's consideration for the patients who have troubles in linguistic communication during practicing nursing. 36th International Association for Human Caring Conference, 2015.05.21.
- 2) 林優子, 三輪聖恵, 野村亜由美: The reality of health behavior of Japanese female college students. 36th International Association for Human Caring Conference, 2015.05.21.

競争的資金等の研究課題

- 1) 習田明裕: 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C)「臓器移植医療における院内コーディネーターの倫理的対応モデルの構築」, 2013-2017, (分担).
- 2) 前田耕助, 野村亜由美, 三輪聖恵, 習田明裕: 公立大学法人首都大学東京 平成 27 年度傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「自作動画を用いた振り返り学習法の検討ーウェブサイトによる視聴の試みー」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 三輪聖恵: 広域多摩イノベーションプラットフォーム事業. 12,14, 2015-2016.

競争的資金等の研究課題

- 1) 吉田和樹:文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「地域在住高齢者の健康習慣尺度の開発ならびに信頼性・妥当性の検討」, 2015-2016.
- 2) 吉田和樹:平成27年度傾斜的研究費(部局分)(若手奨励)「東日本大震災における福島県内の地域包括支援センターの保健活動に関する研究」, 2015.04-2016.03.

理 学 療 法 学 科

論文

- 1) 平野恵健, 西尾大祐, 池田 誠, 新田 収, 宮崎泰広, 皆川知也, 高橋秀寿, 木川浩志:脳卒中重度片麻痺患者の歩行可否に関与する因子の検討—長下肢装具を処方された患者を対象に—. 日本義肢装具学会誌, 31(2):115-119, 2015.04.01.
- 2) 楠本泰士, 高木健志, 新田 収:歩行可能な脳性麻痺患者における選択的股関節筋解離術後の股関節内外転筋力の変化:小児と成人における術後筋力変化の違い. 理学療法ジャーナル, 49(5):474-479, 2015.05.15.
- 3) 楠本泰士, 新田 収, 松田雅弘, 高木健志:歩行可能な脳性麻痺直型両麻痺患者における尖足の有無と踵補高の高さが立位重心動揺に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 18(1):16-23, 2015.06.25.
- 4) 平野恵健, 池田 誠, 新田 収, 西尾大祐, 皆川知也, 木川浩志:入院時からの家族参加型自主練習が脳卒中片麻痺患者の在宅生活と家族の介護不安に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 18(1):5-15, 2015.06.25.
- 5) 楠本泰士, 新田 収, 松田雅弘, 高木健志:歩行可能な脳性麻痺直型両麻痺患者における尖足の有無と踵補高の高さが立位重心動揺に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 18(1):16-23, 2015.06.25.
- 6) 平野恵健, 平野恵健, 池田 誠, 新田 収, 西尾大祐, 皆川知也, 木川浩志:入院時からの家族参加型自主練習が脳卒中片麻痺患者の在宅生活と家族の介護不安に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 18(1):5-15, 2015.06.25.
- 7) 新田 収:起立・歩行をアシストし要介護者を自立へ導くインテリジェントシルバーカー. バイオメカニズム学会誌, 39(3):135-141, 2015.08.01.
- 8) 三森由香子, 渡辺航太, 大高洋平, 藤原俊之, 細金直文, 新田 収, 長谷公隆, 松本守雄, 里宇明元:脊柱の変形部位が静止立位姿勢制御に及ぼす影響—思春期特発性側弯症のシングルカーブにおける検討—. 理学療法学, 42(5):377-383, 2015.08.20.
- 9) 平野恵健, 平野恵健, 林 健, 高橋秀寿, 西尾大祐, 池田 誠, 山口和章, 坂本翔太, 新田 収, 大江康子, 木川浩志:脳卒中片麻痺患者家族の介護負担軽減と家族教育のための装具の工夫. 埼玉県包括的リハビリテーション研究会雑誌, 15(1):54-58, 2015.09.30.
- 10) 松田雅弘, 新田 収, 古谷慎子:幼児のための協調運動評価尺度の開発:信頼性・妥当性の検討. 総合リハビリテーション, 43(10):955-960, 2015.10.
- 11) 平野恵健, 平野恵健, 林 健, 新田 収, 西尾大祐, 皆川知也, 高橋秀寿, 木川浩志:回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の歩行予後予測. 日本脳循環代謝学会総会プログラム・抄録号, 0(1):198-198, 2015.10.
- 12) Nakamaru K, Aizawa J, Koyama T, Nitta O:Reliability, validity, and responsiveness of the Japanese version of the Patient-Specific Functional Scale in patients with neck pain.. European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society, 24(12):2816-2820, 2015.12.
- 13) 平野恵健, 林 健, 新田 収, 西尾大祐, 皆川智也, 高橋秀寿, 木川浩志:回復期リハビリテーション病

棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の年齢が臨床経過に及ぼす影響. 理学療法科学, 30(6): 987-991, 2015.12.

- 14) 國枝洋太, 三木啓嗣, 今井智也, 新田 收, 星野晴彦:急性期脳梗塞患者における自宅退院の可否に関連する因子の検討—多重ロジスティック回帰分析を用いた発症後早期での転帰予測—. 理学療法科学, 42(7):562-568, 2015.12.20.
- 15) Kusumoto Y, Nitta O, Matsuo A, Takaki K, Matsuda T: Factors Contributing to Satisfaction with Changes in Physical Function after Orthopedic Surgery for Musculoskeletal Dysfunction in Patients with Cerebral Palsy. PloS one, 11(5): e0154749-, 2016.
- 16) 楠本泰士, 新田 收, 松田雅弘, 高木健志, 河方けい:30度側臥位での姿勢保持クッション素材の違いが接地部位の湿潤環境に及ぼす影響. 専門リハビリテーション, 15():10-14, 2016.
- 17) 長岡 望, 新田 收:人工関節置換術後の在院日数延長を予測する Risk Assessment and Prediction Tool(RAPT)の妥当性の検証. 理学療法-臨床・研究・教育, 23(1):57-61, 2016.01.01.
- 18) 瓦田恵三, 中丸宏二, 波戸根行成, 相澤純也, 小山貴之, 松本高志郎, 橋本明秀, 来間弘展, 新田 收:頸部痛に対する専用機器を用いた自己管理下での頭頸部屈曲エクササイズが主観的および客観的アウトカムに及ぼす影響. 理学療法科学, 31(1):107-110, 2016.02.
- 19) 高木健志, 新田 收, 楠本泰士, 西野展正, 松尾沙弥香, 若林千聖, 津久井洋平, 干野 遥:脳性麻痺痙直型四肢麻痺患者の脊柱側彎に対する背部選択的筋解離術の術後成績 術前 Cobb 角と改善率の関係. 理学療法東京, (4):50-54, 2016.03.
- 20) 高木健志, 新田 收, 楠本泰士, 西野展正, 松尾沙弥香, 若林千聖, 津久井洋平, 干野 遥:脳性麻痺痙直型四肢麻痺患者の脊柱側弯に対する背部選択的筋解離術の術後成績—術前 Cobb 角と改善率の関係—. 理学療法東京, 4(4):50-54, 2016.03.
- 21) 楠本泰士, 蒔田寛子, 古川順光, 松田雅弘, 新田 收:整形外科手術を行った脳性麻痺患者の初回手術時期の適否を判断した要因. 日本保健科学学会誌, 18(4):179-186, 2016.03.25.

講演・口頭発表等

- 1) 山本佐和子, 古川順光, 新田 收:PREDICTOR OF ANAEROBIC THRESHOLD IN PEOPLE WITH HEART FAILURE WITH PRESERVED LEFT VENTRICULAR EJECTION FRACTION,. 第50回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 2) 高木健志, 新田 收, 楠本泰士:脳性麻痺アテトーゼ型患者の疼痛に対する Revised version of the SF-MPQ の妥当性. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 3) 新田 收, 松田雅弘:幼児版協調運動評価尺度の開発—信頼性と妥当性の検討—. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 4) 國枝洋太, 三木啓嗣, 新田 收, 山崎諒介, 足立智英, 星野晴彦, 大熊克信, 大川信介, 坪井 謙, 深田和浩, 藤野雄次:急性期脳卒中患者における理学療法実施状況と自宅退院可否の関連因子. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 5) 楠本泰士, 松尾 篤, 高木健志, 新田 收, 松田雅弘, 河方けい:股関節筋解離術後の脳性麻痺児における粗大運動能力別の荷重機会の違いが股関節脱臼と臼蓋形成に及ぼす影響. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.

- 6) 松田雅弘, 宮島恵樹, 新田 収:子どもロコモに対する基礎調査—健康フェスタを通じて—. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 7) Yamamoto Sawako, TurukawaYorimitsu, Osamu Nitta:PREDICTOR OF ANAEROBIC THRESHOLD IN PEOPLE WITH HEART FAILURE WITH PRESERVED LEFT VENTRICULAR EJECTION FRACTION. 第 50 回日本理学療法学会, 2015.06.
- 8) 山元佐和子, 古川順光, 新田 収:PREDICTOR OF ANAEROBIC THRESHOLD IN PEOPLE WITH HEART FAILURE. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2015.06.
- 9) N Nagaoka, O Nitta, T Matsuda:Factors effecting to ambulatory ability of patients after hip fracture surgery at discharge from an acute hospital in Japan. 8th ISPRG World Congress(, 2015.06.
- 10) 白谷智子, 新田 収, 新井光男, 妹尾淳史, 松田雅弘:A comparison of the movement directional related activity of antagonist resistance exercises using fMRI. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2015.06.
- 11) 楠本泰士, 松尾 篤, 高木健志, 津久井洋平, 新田 収, 松田雅弘:The middle term change of the hip dislocation and gross motor function in the children with cerebral palsy after selective hip joint muscle release surgery. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2015.06.
- 12) T Matsuda, O Nitta, M Furuya, S Miyajima, Y Kusumoto, N Nagaoka:Change in standing postural control and physical functions with 6-months' physical exercise in children with mild developmental disorders. 8th ISPRG World Congress, 2015.06.
- 13) 新田 収, 他:Development of the motor coordination evaluation scale for children? Validity and Reliability?. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2015.06.
- 14) 新田 収, 他:Development of the Criteria for motorimagery for children?Validity and Reliability?. 9th World Congress of the ISPRM, 2015.06.
- 15) 中丸宏二, 相澤純也, 小山貴之, 波戸根行成, 瓦田恵三, 新田 収:頸部疼痛患者における Patient - Specific Functional Scale の信頼性・妥当性・反応性の検討. 第 50 回日本理学療法学会, 2015.06.05.
- 16) 長岡 望, 新田 収:一般急性期病院における大腿骨近位部骨折患者のリハ期間延長要因の検討. 第 50 回日本理学療法学会, 2015.06.05.
- 17) 楠本泰士, 高木健志, 新田 収, 松田雅弘:痙直型脳性麻痺患者における日本語版 Selective Control Assessment of the Lower Extremity(SCALE)の信頼性と妥当性の検討. 第 50 回日本理学療法学会, 2015.06.05.
- 18) 高木健志, 新田 収, 楠本泰士, 西野展正, 松尾沙弥香, 若林千聖, 津久井洋平, 干野 遥:成人脳性麻痺アテーゼ型患者における疼痛の質と TENS の効果の関係. 第 50 回日本理学療法学会, 2015.06.05.
- 19) AOYAMA Michihisa, AOYAMA Michihisa, UCHIDA Soshi, UTSUNOMIYA Hajime, TAKEUCHI Hiroki, WATANUKI Makoto, NITTA Osamu:Efficacy of trunk stabilization exercise for treating the female patients with femoroacetabular impingement. 日本理学療法学会(Web), 2015.06.05.
- 20) 松田雅弘, 新田 収, 楠本泰士, 村上 潤:低反発クッション Yogibo の効果に関するアンケート調査. 第 13 回日本臨床医療福祉学会(名古屋), 2015.08.

- 21) 松田雅弘, 楠本泰士, 新田 收: 軽度発達障害児の 6 ヶ月の運動介入による立位姿勢制御の変化. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 22) 廣島拓也, 廣島拓也, 新田 收: 片側股関節屈曲制限と座位時の骨盤側方傾斜の関係. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 23) 平野恵健, 平野恵健, 林 健, 新田 收, 高橋秀寿, 西尾大佑, 皆川智也, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の年齢が臨床経過に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 24) 三木啓嗣, 三木啓嗣, 新田 收: 臨床現場における寝返り動作の定量的計測方法の開発に向けたパイロットスタディ. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 25) 櫻井瑞紀, 櫻井瑞紀, 松田雅弘, 松田雅弘, 妹尾淳史, 新田 收: 持続的な外腹斜筋等尺性収縮時の筋疲労解析—表面筋電図による平均周波数と MRIT2 強調像による T2 値からの検討—. 日本保健科学学会誌, 2015.0.926.
- 26) 楠本泰士, 高木健志, 新田 收, 松田雅弘: 脳性麻痺片麻痺児における Physical Cost Index と膝伸展筋力の関係. 第 2 回日本小児理学療法学会学術集会(横浜), 2015.10.
- 27) 松田雅弘, 新田 收, 古谷禎子: 軽度発達障害児と定型発達児の協調運動発達と比較. 臨床神経生理学, 2015.10.01.
- 28) 平野恵健, 林 健, 福原直哉, 中島將貴, 新田 收, 松川未和, 濱上あゆみ, 山内早紀, 伊藤理絵, 木川真未, 高橋秀寿, 木川浩志: 腰部脊柱管狭窄症術後患者に対し両側ノルディックポールを用いた理学療法の経験. 第 4 回日本ノルディック・ワーク学会学術大会, 2015.10.24.
- 29) 平野恵健, 林 健, 新田 收, 高橋秀寿, 西尾大祐, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の歩行予後予測. 第 27 回日本脳循環代謝学会総会, 2015.10.30.
- 30) 皆川知也, 平野恵健, 林 健, 新田 收, 西尾大祐, 高橋秀寿, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の退院時 ADL 能力に及ぼす因子の検討. 第 27 回日本脳循環代謝学会総会, 2015.10.30.
- 31) 新田 收, 松田雅弘: 幼児における運動発達と感覚異常の関係. 第 45 回日本臨床神経生理, 2015.11.
- 32) 新田 收, 松田雅弘: 軽度発達障害児と定型発達児の発達における感覚経験の差異. 第 45 回日本臨床神経生理学会(大阪), 2015.11.
- 33) 松田雅弘, 新田 收, 古谷禎子: 軽度発達障害児と定型発達児の協調運動発達と比較. 第 45 回日本臨床神経生理学会(大阪), 2015.11.
- 34) 松田雅弘, 新田 收, 小山貴之: バックレスト自動形状変化機能を持つオフィスチェアがデスクワークにおける腰部筋の疲労軽減に及ぼす影響について. 第 23 回日本腰痛学会(東京), 2015.11.
- 35) 楠本泰士, 松田雅弘, 新田 收: 30 度側臥位での姿勢保持クッション素材の違いが接地部位の湿潤環境に及ぼす影響. 第 2 回日本支援工医学理学療法学会学術集会(東京), 2015.12.
- 36) 古川順光, 信太奈美, 中俣 修, 来間弘展, 新田 收: 吸気筋力と静止立位時の身体重心動揺の関係. 体力科学, 2015.12.01.

論文

- 1) 新谷直文, 関口 学, 富沢政信, 浅川康吉:運動課題遂行における心的時間と実行時間との関係. 理学療法群馬, (26):1-5, 2015.08.
- 2) Tome Ikezoe, Masatoshi Nakamura, Hiroto Shima, Yasuyoshi Asakawa and Noriaki Ichihashi: Association between walking ability and trunk and lower-limb muscle atrophy in institutionalized elderly women: a longitudinal pilot study. J Physiol Anthropol., 34(1):31-, 2015.
- 3) Tetsuya Yamagami, Kazuhiro Harada, Hiroyuki Hashidate, Yasuyoshi Asakawa, Kenji Nihei, Satomi Kaneya and Chiharu Yoshiia: Obtaining Information from Family Caregivers Is Important to Detect Behavioral and Psychological Symptoms and Caregiver Burden in Subjects with Mild Cognitive Impairment. Dement Geriatr Cogn Dis Extra. 6(1): 1-9, 2016.
- 4) Yoshito Matsubayashi, Yasuyoshi Asakawa, and Haruyasu Yamaguchi: Low- frequency group exercise improved the motor functions of community- dwelling elderly people in a rural area when combined with home exercise with self-monitoring. J Phys Ther Sci. 28(2): 366-371, 2016.
- 5) Masahide Yajima, Yasuyoshi Asakawa, and Haruyasu Yamaguchi: Relations of morale and physical function to advanced activities of daily living in health promotion class participants. J Phys Ther Sci. 28(2): 535-540, 2016.

Misc

- 1) 古名丈人, 浅川康吉, 新井武志, 池添冬芽, 稲葉康子, 井平 光, 島田裕之, 牧迫飛雄馬: エビデンスに基づく理学療法 理学療法診療ガイドラインを読み解く(第3回) 身体的虚弱(高齢者)理学療法診療ガイドライン. 理学療法学, 42(2):206-210, 2015.04.
- 2) 加藤真由美, 正源寺美穂, 浅川康吉, 植村小夜子, 北岡和代, 甲斐正義, 小林素子, 石田和生, 松原真珠, 山口正樹, 村田浩一郎, 稲垣嘉信, 山村幸太郎: 福祉の現場から 独居高齢者の在宅生活を支援する生活行動センシングモデルの開発 センシングによる可能性を検討. 地域ケアリング, 17(12):88-92, 2015.11.
- 3) 浅川康吉: 地域「リハビリテーション雑感」. 群馬保健学紀要, 36():141-144, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 丸谷康平, 藤田博暁, 新井智之, 細井俊希, 石橋英明, 浅川康吉: サルコペニアおよびサルコペニア肥満とロコモティブシンドロームとの関連. 日本老年医学会雑誌, 2015.05.
- 2) 浅川康吉: 高齢者のセンシングとライフラインデータの使用に係わる意義と倫理的課題・その対策 センシングとライフラインデータの特徴. 日本老年看護学会第20回学術集会 自主企画5, 2015.06.13.
- 3) 浅川康吉: 社会教育、地域福祉、地域リハから考える地域づくり 地域リハから考える地域づくり 住民主導型介護予防事業「鬼石モデル」の経験から. 第24回日本健康教育学会学術大会, 2015.07.04.
- 4) 正源寺美穂, 加藤真由美, 北岡和代, 浅川康吉, 植村小夜子, 小林素子, 甲斐正義, 石田和生: 高齢者の在宅生活を支援する生活行動センシングモデルの開発 縦断的検討による冬季3ヵ月間の心身機能の推移. 日本転倒予防学会誌, 2015.09.

- 5) 橋立博幸, 原田和宏, 山上徹也, 浅川康吉, 二瓶健司, 吉井智晴, 金谷さとみ, 日本理学療法士協会平成 21 年度国庫補助事業調査研究委員会・平成 22 年度学術局:通所サービスを利用する認知症高齢者における要介護度悪化に対する関連要因の検討. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2015.10.
- 6) 浅川康吉:予防理学療法の現状と展望 予防理学療法への関わり方ー大学教員の立場から. 第 23 回群馬県理学療法士学会, 2015.10.25.

競争的資金等の研究課題

- 1) 加藤真由美:日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究B「臨床判断力育成を包含した転倒予防のコンピューターシミュレーションプログラムの開発」, 2013.04-2016.03.
- 2) 浅川康吉:日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究C「超音波エコー画像による高齢障害者の高度萎縮筋の回復予測方法の開発」, 2014.04-2017.03.

社会貢献活動

- 1) 浅川康吉:地域包括支援センターにおける介護予防機能強化推進事業(介護予防推進広域アドバイザー業務). 18, 2015.10-2016.03.
- 2) 浅川康吉:東京都地域リハビリテーション専門人材育成研修. 10,13, 2015.10-2016.03.

論文

- 1) Fujino Y, Amimoto K, Fukata K, Ishihara S, Makita S, Takahashi H: Does training sitting balance on a platform tilted 10° to the weak side improve trunk control in the acute phase after stroke? A randomized, controlled trial. Topics in stroke rehabilitation, (): 1945511915Y0000000010-, 2015.08.

著書

- 1) 網本 和: PT・OT のための高次脳機能障害 ABC. 5, 文光堂, 2015.11.26.

Misc

- 1) 万治淳史, 松田雅弘, 和田義明, 平島富美子, 稲葉 彰, 網本 和: 経頭蓋直流電気刺激が回復期脳卒中後片麻痺患者の麻痺側上肢機能に与える効果. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 52 (Suppl.): S270-S270, 2015.05.
- 2) 藤野雄次, 深田和浩, 大川信介, 國枝洋太, 三木啓嗣, 大熊克信, 蓮田有莉, 関根大輔, 高橋洋介, 星野裕亮, 池田舞子, 高石真二郎, 網本 和, 牧田 茂, 高橋秀寿: 急性期脳卒中患者における重症度別の理学療法の提供量と効果、転帰に関する調査 多施設共同研究. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 52 (Suppl.): S380-S380, 2015.05.
- 3) 井上真秀, 藤野雄次, 網本 和, 直井亜莉菜, 細谷 学, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 鏡失認患者に対する Side Mirror Approach が行動場面における半側空間無視に及ぼす影響 シングルケースデザインを用いた検討. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 39 回(): 154-154, 2015.08.
- 4) 沼尾 拓, 網本 和, 塩澤伸一郎: 健常成人に対する HMD を使用した段階的 PA の効果検証. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 39 回(): 155-155, 2015.08.
- 5) 中村 学, 遠藤敦士, 澤 広太, 末永達也, 網本 和: 映像傾斜が垂直認知能力に及ぼす影響 健常若年者と半側空間無視患者の傾向. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 39 回(): 173-173, 2015.08.
- 6) 藤野雄次, 網本 和, 井上真秀, 深田和浩, 星野裕亮, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 身体パラフレニアに対する合わせ鏡による治療の即時効果 症例報告. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 39 回(): 175-175, 2015.08.
- 7) 深田和浩, 網本 和, 藤野雄次, 井上真秀, 蓮田有莉, 播本真美子, 高橋洋介, 角屋亜紀, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 発症早期の純粋な Pusher 現象症例における主観的垂直認知の特徴. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 39 回(): 206-206, 2015.08.
- 8) 中島直子, 千葉哲也, 喜古 勇, 松原正明, 野木圭介, 木村晶理, 加瀬雅士, 山田 淳, 網本 和: 変形性股関節症患者における身体軸の検討. Hip Joint, 41 (Suppl.): 192-195, 2015.08.
- 9) 馬場保人, 網本 和: 健常者への直流前庭電気刺激 (Galvanic Vestibular Stimulation: GVS) が立位バランスに及ぼす影響 Micro Current 装置を用いた検討. 日本保健科学学会誌, 18 (Suppl.): 24-24, 2015.09.
- 10) 吉尾雅春, 林 典雄, 小塚直樹, 金谷さとみ, 高橋仁美, 網本 和: 【理学療法 50 年の変遷】あのと

講演・口頭発表等

- 1) 藤野雄次, 深田和浩, 大川信介, 國枝洋太, 三木啓嗣, 大熊克信, 蓮田有莉, 関根大輔, 高橋洋介, 星野裕亮, 池田舞子, 高石真二郎, 網本 和, 牧田 茂, 高橋秀寿:急性期脳卒中患者における重症度別の理学療法の提供量と効果,転帰に関する調査—多施設共同研究—. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 2) 万治淳史, 松田雅弘, 和田義明, 平島富美子, 稲葉 彰, 網本 和:経頭蓋直流電気刺激が回復期脳卒中後片麻痺患者の麻痺側上肢機能に与える効果. Jpn J Rehabil Med, 2015.05.18.
- 3) 沼尾 拓, 網本 和, 塩澤伸一郎:健常成人に対するHMDを使用した段階的PAの効果検証. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 2015.08.24.
- 4) 深田和浩, 深田和浩, 網本 和, 藤野雄次, 井上真秀, 蓮田有莉, 播本真美子, 高橋洋介, 角屋亜紀, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿:発症早期の純粋な Pusher 現象症例における主観的垂直認知の特徴. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 2015.08.24.
- 5) 中村 学, 遠藤敦士, 澤広太, 末永達也, 網本 和:映像傾斜が垂直認知能力に及ぼす影響—健常若年者と半側空間無視患者の傾向—. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 2015.08.24.
- 6) 井上真秀, 藤野雄次, 藤野雄次, 網本 和, 直井亜莉菜, 細谷 学, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿:鏡失認患者に対する Side Mirror Approach が行動場面における半側空間無視に及ぼす影響—シングルケースデザインを用いた検討—. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 2015.08.24.
- 7) 藤野雄次, 網本 和, 井上真秀, 深田和浩, 星野裕亮, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿:身体パラフレニアに対する合わせ鏡による治療の即時効果—症例報告—. 日本神経心理学会総会プログラム・予稿集, 2015.08.24.
- 8) 中島直子, 千葉哲也, 喜古 勇, 松原正明, 野木圭介, 木村晶理, 加瀬雅士, 山田 淳, 網本 和:変形性股関節症患者における身体軸の検討. Hip Jt, 2015.08.25.
- 9) 馬場保人, 網本 和:健常者への直流前庭電気刺激(Galvanic Vestibular Stimulation:GVS)が立位バランスに及ぼす影響—Micro Current 装置を用いた検討—. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.

論文

- 1) Arai M:Effect of remote after-effects of resistive static contraction of the pelvic depressors on improvement of restricted wrist flexion range of motion in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther, 19(3): 442-446, 2015.07.
- 2) Arai M:Comparison of the effects of remote after-effects of static contractions for different upper-extremity positions and pinch-force strengths in patients with restricted wrist flexion range of motion. J bodyw Mov Ther, 19(4):624-628, 2015.10.
- 3) 岡村繁男, 新井光男, 他:骨盤後方下制の中間域での静止性収縮の遠隔後効果としての上肢協調性に及ぼす影響. PNF リサーチ, 16(1):12-17, 2016.03.
- 4) 道祖悟史, 新井光男:骨盤抵抗運動が肩関節内旋筋力に及ぼす影響. PNF リサーチ, 16(1):18-24, 2016.03.
- 5) 高野匠子, 新井光男:脳卒中後片麻痺患者の骨盤への抵抗運動が片脚立位時間に及ぼす影響. PNF リサーチ, 16(1):25-31, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) Shiratani T, Arai M:A comparison of the movement directional related activity of antagonist resistance exercises using fMRI. The 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2015.06.23.
- 2) Arai M, Shiratani T:The effect of different force direction and resistance levels during resistive static contraction of the lower trunk muscles on the soleus H-reflex. he 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2015.06.23.

論文

- 1) Ren K, Kinoshita M, Dai Y, Wang H, Yi K, Itoh M, Yi SQ: A new model for localized pancreatitis, ventral pancreatic duct ligation in the adult house musk shrew, *Suncus murinus*. Academia J Biotechnol 2015.DOI: 10.15413/ajb.2015.02.42、ISSN 2315-7747. ©2016 Academia Publishing
- 2) Yi SQ, Ren K, Kinoshita M, Takano N, Itoh M, Ozaki N: Innervation of extrahepatic biliary tract, with special reference to the direct bidirectional neural connections of the gallbladder, sphincter of Oddi and duodenum in *Suncus murinus*, in whole-mount immunohistochemical study. Anat Histol Embryol doi: 10.1111/ahe.12186. Epub 2015 Jul 14.
- 3) Terayama H, Yi SQ, Shoji S, Tanaka O, Kanazawa T, Kosemura N, Tamura M, Sekiguchi M, Naito M, Akamatsu T, Sakabe K: Anomalous connection of the left posterior renal vein with the left ascending lumbar vein in a Japanese cadaver. Folia Morphol (Warsz). 74:544-547, 2015.
- 4) 永川裕一, 細川勇一, 佐原八束, 瀧下智恵, 中島哲史, 土方陽介, 笠原健大, 粕谷和彦, 易 勤, 土田明彦: 適切な神経叢郭清を併施する膵頭部癌根治術. 消化器外科 38(1):15-24, 2015.

著書

- 1) 易 勤: Essential 解剖学テキスト&アトラス. 第VI部 上肢, pp233-300, 中野隆監訳, 南江堂, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 今田康大, 河田晋一, 大和田知里, 高野 直, ニン カ, 易 勤: ブタ胎児標本における前肢筋群のヒトとの比較 - 解剖学実習からの報告 -. コ・メディカル形態機能学会・第14回学術集会, 2015.09.26.
- 2) 易 勤: Mesopancreas の視点から膵頭神経叢の分布形態を考える. (招待講演) 第 32 回日本胆膵病態・生理研究, 2015.06.14.
- 3) 易 勤: 膵臓の形態・発生による臨床応用について. (招待講演) 第 25 回日本解剖学会関東支部懇話会, 2015.06.13.
- 4) 永川裕一, 易 勤, 細川勇一, 佐原八束, 瀧下智恵, 中島哲史, 土方陽介, 粕谷和彦, 土田明彦: 膵頭部癌における膵外神経叢の浸潤形式と解剖からみた適切な神経叢郭清. 第 42 回日本膵切研究会学術集会, 2015.08.28-2015.08.29.(要旨演題)
- 5) 永川裕一, 易 勤, 土田明彦: 膵頭部癌における膵外神経叢浸潤の進展形式と膵外神経叢の解剖からみた適切な郭清法. 第 23 回日本消化器関連学会週間, 2015.10.08-2015.10.11.(シンポジウム)
- 6) 易 勤: Mesopancreas の視点から膵頭神経叢の分布形態の再検討. 有明臨床解剖シンポジウム, 2015.11.07.
- 7) Dai YD, Ren K, Yi K, Kinoshita M, Yi SQ: Inhibitory effect and mechanism of low-dose paclitaxel in chronic pancreatitis and pancreatic fibrosis in rat pancreatic duct ligation model. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016.03.28-2015.03.30.
- 8) Yi K, Ren K, Hori K, Ozaki N, Dai YD, Kinoshita M, Itoh M, Ohta T, Yi SQ: The effect of valproic acid in prevention of oxaliplatin-induced neuropathy in the rat model. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会,

2016.03.28-2015.03.30.

- 9) Ren K, Miwa Y, Sato I, Yi K, Dai YD, Kinoshita M, 易 勤: Reinvestigation of the suspensory muscle of the duodenum in cadaver dissection. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016.03.28-2015.03.30.
- 10) Ren K, 今田康大, Dai YD, 木下正信, 易 勤: プタ胎児標本を用いた解剖学実習. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016.03.28-2015.03.30.
- 11) 易 勤, 佐藤巖, 三輪容子, 木下正信, Ren K, Dai YD, Yi K, 伊藤正裕, 永川裕一, 土田明彦: PD術式による膵臓の神経分布様式の再認識. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016.03.28-2015.03.30.
- 12) 易 勤: Mesopancreas の視点から膵頭神経叢の分布形態を考える. (招待講演)第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016.03.28-2015.03.30.

競争的資金等の研究課題

- 1) 易 勤:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「スunksにおける脂肪幹細胞の分布と分化能の解析」, 2013.04-2016.03.

委員歴

- 1) 日本解剖学会 賞・研究費候補者選考委員会 委員(2015.03-)

論文

- 1) 勝又泰貴, 竹井 仁, 堀 拓朗, 林 洋暁:筋再教育運動が筋膜リリース後の筋筋膜の伸張性および筋力に与える影響. 理学療法科学, 31(1):99-106, 2016.02.
- 2) 小川大輔, 宇佐英幸, 松村将司, 畠 昌史, 見供 翔, 清水洋治, 竹井 仁:超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離開距離の解析ー牽引時間と牽引強度の違いが及ぼす影響についてー. 理学療法科学, 43(1):1-9, 2016.02.
- 3) 清水洋治, 須永遼司, 宇佐英幸, 市川和奈, 小川大輔, 畠 昌史, 松村将司, 竹井 仁:条件の異なるスクワット動作遂行中の下肢の運動学的解析. 日保学誌, 18(4):200-209, 2016.03.

著書

- 1) 竹井 仁:人体の張力ネットワーク 膜・筋膜 最新知見と治療アプローチ. 医歯薬出版株式会社, 2015.06.
- 2) 竹井 仁:正しく理想的な姿勢を取り戻す 姿勢の教科書. ナツメ社, 2015.12.

Misc

- 1) 竹井 仁:筋膜の役割と研究動向. 医道の日本, 74(4):19-23, 2015.04.
- 2) 竹井 仁:筋膜に対する徒手理学療法ー筋膜マニピュレーション(Fascial Manipulation?)ー. 運動器徒手理学療法, 2(1):4-9, 2015.07.

講演・口頭発表等

- 1) 國廣哲也, 竹井 仁, 市川和奈, 見供 翔, 兎澤 淳:超音波診断装置を用いた筋膜マニピュレーションの効果の検証ー動筋への治療が拮抗筋に及ぼす影響についてー. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.06.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 須永遼司, 竹井 仁, 篠田瑞生:変形性膝関節症患者と健常高齢者の骨盤・下肢アライメントと関節可動域の比較. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.06.
- 3) 清水洋治, 須永遼司, 前原秀則, 國廣哲也, 市川和奈, 畠昌史, 小川大輔, 竹井 仁:腰痛既往のある一症例におけるスクワット動作遂行中の下肢関節間の運動比率の特性についてー健常者と比較してー. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.06.
- 4) 竹井 仁:筋膜マニピュレーションー理論的背景と評価および治療方法. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.06.07.
- 5) 杉本佳奈美, 竹井 仁:長腓骨筋の筋疲労が片脚垂直跳び動作の筋活動と下肢関節角度におよぼす影響. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 6) 野口真実, 竹井 仁:腹部引き込み動作の運動介入と口頭指示の有無が立位バランスに与える影響.

第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.

- 7) 竹井 仁: 筋・筋膜に対する徒手理学療法. 第 31 回東海北陸理学療法学術大会, 2015.10.03.
- 8) 竹井 仁: 肩こり・腰痛指導. 第 50 回日本理学療法士協会全国学術研修大会, 2015.10.09.
- 9) 竹井 仁: 徒手理学療法～筋・筋膜を中心に～. 四国理学療法士会学会, 2015.11.28.
- 10) 竹井 仁: 臨床教育(認定・専門)の目標. 第 2 回理学療法教育学会学術集会, 2015.12.12.
- 11) 今田康大, 遠藤敦士, 竹井 仁: 頸椎関節モビライゼーション手技の違いが頭頸部屈曲運動に及ぼす影響－胸鎖乳突筋筋活動及び筋厚と頸長筋筋厚の測定による検討. 日本徒手理学療法学会第 21 回学術大会, 2016.03.27.
- 12) 遠藤敦士, 今田康大, 竹井 仁: 健康成人男性における非荷重位および荷重位での中殿筋各線維の作用比較. 日本徒手理学療法学会第 21 回学術大会, 2016.03.27.

社会貢献活動

- 1) 竹井 仁: 赤江珠緒のその手があったか調査室－肩こり－. テレビ朝日 モーニングバード, 2015.04.10.
- 2) 竹井 仁: 首こり. TBS 健康カプセル！ゲンキの時間, 2015.04.26.
- 3) 竹井 仁: ウエディングドレスを着たい！長野の新妻が‘ある物’でながらダイエット. 日本テレビ あのニュースで得する人損する人, 2015.05.14.
- 4) 竹井 仁: ～あなたの常識は非常識！？～スペシャル 1 部: 肩をトントンとほぐすことは正しいか否か. テレビ東京 ソレダメ！, 2015.05.20.
- 5) 竹井 仁: コロッケの表情筋について. フジテレビ ノンストップ！, 2015.05.27.
- 6) 竹井 仁: 「けんコン！」巻き込み肩. NHK 総合 おはよう日本, 2015.06.02.
- 7) 竹井 仁: スマホ巻き肩. TBS あさチャン, 2015.06.09.
- 8) 竹井 仁: 夏肩こり. TBS あさチャン, 2015.06.29.
- 9) 竹井 仁: 腹式呼吸について. 日本テレビ 女神のマルシェ, 2015.07.17.
- 10) 竹井 仁: 靴は万病のもと！？. NHK 総合 あさいち, 2015.07.22.
- 11) 竹井 仁: 筋膜はがし. TBS あさチャン, 2015.08.10.
- 12) 竹井 仁: おくみ. TBS 健康カプセル！ゲンキの時間, 2015.08.30.
- 13) 竹井 仁: ～人気観光地でぶらり発見！～川越に秘められた健康パワー. TBS 健康カプセル！ゲンキの時間, 2015.09.06.
- 14) 竹井 仁: ああ！首と肩がツライ 肩こり根治マニュアル. NHK 総合 ためしてガッテン, 2015.09.09.
- 15) 竹井 仁: ストレッチングの効果. テレビ東京 チャージ 730！, 2015.09.22.
- 16) 竹井 仁: 「歩く」講座. テレビ朝日 林修の今でしょ！講座, 2015.10.27.
- 17) 竹井 仁: ～ぶらり歩いて健康に！～歴史の自然の街 日光編. TBS 健康カプセル！ゲンキの時間, 2015.11.01.
- 18) 竹井 仁: 上重聡の週刊からだニュース～本日のテーマ「肩こり」～ 筋膜リリースストレッチ(肩こり解消). 日本テレビ スッキリ, 2015.11.02.
- 19) 竹井 仁: 肩こり. 日本テレビ 諸説あります, 2015.11.08.
- 20) 竹井 仁: ～日頃のクセが肩こり・腰ハりに！？～医学界大注目の筋膜とは？. TBS 健康カプセル！ゲ

ンキの時間, 2015.11.29.

21) 竹井 仁: 肩こりの筋膜リリース. TBS 林先生が驚く初耳学!, 2015.11.29.

22) 竹井 仁: 枕と二重あごの関係. TBS 林先生が驚く初耳学!, 2015.12.27.

23) 竹井 仁: 現代型肩こりって何? もんでも治らない原因 & スカッと解消する簡単ストレッチ紹介. 日本テレビ 世界一受けたい授業, 2016.01.09.

24) 竹井 仁: けんコン! “筋膜”をほぐして肩こり防止. NHK おはよう日本, 2016.01.26.

25) 竹井 仁: @ほっと「かたい体をやわらかく! “筋膜”ほぐし体操». NHK 総合 ひるまえほっと, 2016.02.23.

26) 竹井 仁: カッツミーのピカッとNEWSボード「糖尿病・ダイエットにも効果!?『筋膜リリース』». フジテレビ 直撃LIVE グッディ!, 2016.02.29.

27) 竹井 仁: 2015 年度みなさんが選ぶガッテン感動ワザ大賞. 筋膜体操. NHK 総合 ためしてガッテン, 2016.03.16.

28) 竹井 仁: 必見! 肩こり治療のスペシャリストが肩こり解消に効果がある簡単ストレッチを伝授!. TBS ジョブチューン〜医者スペシャル第8弾, 2016.03.26.

委員歴

- 1) 日本徒手の理学療法学会 理事長(2015.03-)
- 2) 日本理学療法士協会徒手理学療法部門 代表幹事(2015.05-)
- 3) 日本理学療法協会運動器分科学会 副代表(2015.06-)
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会運動器分科学会 副代表(2015.06-)

論文

- 1) 山田拓実, 蘭牟田洋美、介護予防運動プログラムへの参加状況ごとにみた都市部高齢女性の健康関連 QOL の検討 理学療法科学 30 巻 5 号、667-674, 2015.10.
- 2) Morita T, Yamada T, Watanabe T, Nagahori E. Lifestyle risk factors for pressure ulcers in community-based patients with spinal cord injuries in Japan. Spinal Cord.;53(6):476-81, 2015.06.

Misc

- 1) YAMADA Takumi, IMUTA Hiromi :Development of health enhancing exercise program for physically handicapped persons and participants' pulmonary function, 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2015.06.
- 2) SATO Yosinao, YAMADA Takumi, OMI Takehir:Comparison of foot kinetics during gait initiation between young and elderly subjects, 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine 2015.06.
- 3) OMI Takehiro, YAMADA Takumi, SATO Yosinao:Correlation between joint reaction force and gait speed in Osteoarthritis of the knee. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine 2015.06.
- 4) 山田拓実, 蘭牟田洋美:荒川ばん座位体操の普及に向けて 体操参加者別の体操参加効果の検討. 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集 351, 2015.10.
- 5) 蘭牟田洋美, 山田拓実:荒川ばん座位体操の普及に向けて 健康関連 QOL SF-8 からみた体操の効果. 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 2015.10.
- 6) 大見武弘, 山田拓実:Bi-Cruciate Retaining TKA 術後患者における歩行動作解析. 第 46 回日本人工関節学会, 2016.02.
- 7) 大見武弘, 山田拓実, 佐藤義尚, 島村亮太:ステップランディング動作における前額面下肢関節モーメント・パワーの関節間力に対する影響. 第 42 回日本臨床バイオメカニクス学会, 2015.11.
- 8) 大見武弘, 山田拓実, 佐藤義尚, 島村亮太:歩行動作における下肢関節パワーの膝関節間力に対する影響. 第 70 回日本体力医学会大会, 2015.09.
- 9) 大見武弘, 山田拓実:健常成人の自由歩行における膝関節間力の速度による影響. 第 34 回東京都理学療法学会大会, 2015.06.
- 10) 大見武弘, 山田拓実, 佐藤義尚, 島村亮太:ステップランジ動作における膝関節パワーの関節間力に対する影響. 第 41 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 2) 山田拓実:日本学術振興会 科学研究費助成事業「障害者・要介護高齢者向け健康体操の参加者、介護者、および地域社会への影響」, 2013.04-2016.03.
- 3) 山田拓実:日本学術振興会 科学研究費助成事業基盤研究「膝関節軟骨力学的ストレスと MRI・T2 マッピング早期軟骨変性度の関連性の検討」, 2015.04-2018.03.

論文

- 1) 松田雅弘, 新田 収, 古谷槿子, 池田由美: 幼児のための協調運動評価尺度の開発 信頼性・妥当性の検討. 43(10):955-960, 2015.10.

著書

- 1) 池田由美: エコ・ファンタジー. 2 障害者の環境, 春風社, 2015.09.

Misc

- 1) IKEDA Yumi: Disability as Lifeworld. Eco-Philosophy(「エコ・フィロソフィ」研究). 10, 161-171, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 川口司, 池田由美: 足底感覚入力が片脚立位姿勢制御に与える影響 足底感覚入力密度の違いに着目して. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 2) 高橋理紗, 池田由美: 足底知覚探索課題が立位姿勢制御に及ぼす影響ー練習時の姿勢の違いに着目してー. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 3) 後藤圭介, 鈴木隼人, 秋月三奈, 長谷川三希子, 池田由美, 猪飼哲夫: Pusher 現象に対して認知課題を通した体性感覚情報処理へのアプローチによって身体垂直性の改善が得られた症例. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 4) 河方けい, 池田由美: 聴覚刺激を用いた学習方法が運動イメージ能力と運動パフォーマンスに与える影響. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 5) 河方けい, 池田由美: 学習条件の違いが運動の記憶に及ぼす影響. 第 52 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2015.05.
- 6) Kei Kawakata, Yumi Ikeda: Effects of a motor learning method using auditory beat sound stimulation on motor imagery and physical performance. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2015.06.
- 7) Nami Shida, Takumi Yamada, Yorimitsu Furukawa, Yumi Ikeda, Hironobu Kuruma: Relationship between a player's physical characteristics and the drive pattern of wheelchairs in wheelchair basketball. International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM), 2015.06.
- 8) 立花貴弘, 池田由美: 練習実施前・後に与えるフィードバックの内容が練習効果に与える影響についてー不安の程度による検討ー. 第 34 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 池田由美: 首都大学東京 傾斜的研究費「通所リハビリテーションに通う回復期・維持期の脳卒中者における運動機能と脳機能の特性と経時的変化に関する分析」, 2015-.

社会貢献活動

- 1) 池田由美:脳トレーニングで記憶力をアップする講座. 日野市中央公民館, 2015.07-2015.09.
- 2) 池田由美:いきいき脳トレ教室～頭も身体も活性化～.八王子市生涯学習センター川口分館, 2016.03.

論文

- 1) 瓦田恵三, 中丸宏二, 波戸根行成, 相澤純也, 小山貴之, 松本高志郎, 橋本明秀, 来間弘展, 新田 收: 頸部痛に対する専用機器を用いた自己管理下での頭頸部屈曲エクササイズが主観的および客観的アウトカムに及ぼす影響. 理学療法科学, 31(1):107-110 (J-STAGE)-110, 2016.02.

著書

- 1) 来間弘展: 膜・筋膜. 4, 序論～1.6.: 医歯薬出版株式会社, 2015.06.

Misc

- 1) Kuruma H, Saiki T, Aoki T, Shida N, Kamio H, Furukawa Y, Ikeda M, Yanagisawa K: A NEW EXERCISE TO ACTIVATE MULTIFIDUS. World confederation of Physical Therapy congress 2015, 2015.05.
- 2) Yorimitsu Furukawa, Nami Shida, Hironobu Kuruma, Osamu Nitta: Relationships of Inspiratory Muscle Strength and Standing Balance Ability. ISPRM2015, 2015.06.20.
- 3) Shiratani T, Arai M, Kuruma H, Nitta O, Matsuda M, Yanagisawa K: A Comparison of the movement directional related activity of antagonist resistance exercise using fMRI. ISPRM2015, 2015.06.23.
- 4) Nami Shida, Takumi Yamada, Yorimitsu Furukawa, Yumi Ikeda, Hironobu Kuruma : Relationship between a player's physical characteristics and the drive pattern of wheelchairs in wheelchair basketball. ISPRM, 2015.06.21.
- 5) 来間弘展, 佐伯武士, TRICAS MORENO Jose Miguel, PEREZ GUILLEN Silvia: スポーツ障害に対する徒手理学療法 筋・筋膜アプローチとスポーツ障害への適用. 臨床スポーツ医学, 32(10):946-950, 2015.10.01.
- 6) 古川順光, 信太奈美, 中俣 修, 来間弘展, 新田 收: 吸気筋力と静止立位時の身体重心動揺の関係. 体力科学, 64(6):734-, 2015.12.01.

論文

- 1) 楠本泰士, 蒔田寛子, 古川順光, 松田雅弘, 新田 収: 整形外科手術を行った脳性麻痺患者の初回手術時期の適否を判断した要因. 日本保健科学学会誌, 18(4):179-186, 2016.03.25.

講演・口頭発表等

- 1) Kuruma H, Saiki T, Aoki T, Shida N, Kamio H, Furukawa Y, Ikeda M, Yanagisawa K: A NEW EXERCISE TO ACTIVATE MULTIFIDUS. WCPT, 2015.05.02.
- 2) Yamamoto S, Furukawa Y, Nitta O: Predictor of anaerobic threshold in people with heart failure with preserved left ventricular ejection fraction. 第50回日本理学療法学会大会, 2015.05.
- 3) Yorimitsu Furukawa, NamiShida, Hironobu Kuruma, Osamu Nitta: Relationships of Inspiratory Muscle Strength and Standing Balance Ability. ISPRM2015, 2015.06.20.
- 4) Yamamoto S, Furukawa Y, Nitta O: Relationship between cardiopulmonary responses to exercise onset and anaerobic threshold in people with heart failure. ISPRM2015, 2015.06.21.
- 5) Nami Shida, Takumi Yamada, Yorimitsu Furukawa, Yumi Ikeda, Hironobu Kuruma: Relationship between a player's physical characteristics and the drive pattern of wheelchairs in wheelchair basketball. ISPRM, 2015.06.21.
- 6) 古川順光, 信太奈美, 中俣 修, 来間弘展, 新田 収: 吸気筋力と静止立位時の身体重心動揺の関係. 体力科学, 64(6):734-2015.12.

委員歴

- 1) 公益社団法人東京都理学療法士協会 新人教育部長(2010.04-)

論文

- 1) Kazuna Ichikawa, Hitoshi Takei, Hideyuki Usa, Shoh Mitomo, Daisuke Ogawa: Comparative analysis of ultrasound changes in the vastus lateralis muscle following myofascial release and thermotherapy: A pilot study. Journal of Bodywork and Movement Therapies, 19(2):327-336, 2015.04.00.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 古谷英孝, 竹井 仁, 篠田瑞生: 下肢の関節可動域と筋力の年代間の相違およびその性差 20-70 代を対象とした横断研究. 理学療法科学, 30(2):239-246, 2015.04.
- 3) 畠 昌史, 宇佐英幸, 市川和奈, 見供 翔, 小川大輔, 松村将司, 妹尾淳史, 竹井 仁: MRI による腹臥位からの体幹伸展位における脊椎および仙腸関節の可動域の解析. 理学療法学, 42(7):539-546, 2015.12.
- 4) 小川大輔, 宇佐英幸, 松村将司, 畠 昌史, 見供 翔, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた正常膝関節の持続牽引に伴う離開距離の解析 牽引時間と牽引強度の違いが及ぼす影響について. 理学療法学, 43(1):1-9, 2016.02.
- 5) 清水洋治, 須永遼司, 宇佐英幸, 市川和奈, 小川大輔, 畠 昌史, 松村将司, 竹井 仁: 条件の異なるスクワット動作遂行中の下肢の運動学的解析. 日本保健科学学会誌, 18(4):200-209, 2016.03.

著書

- 1) Robert Schleip, Leon Chaitow, Peter A. Huijing, Thomas W. Findley: 人体の張力ネットワーク 膜・筋膜—最新知見と治療アプローチ. 4, 医歯薬出版, 2015.06.

講演・口頭発表等

- 1) Ogawa D, Usa H, Abiko T, Matsumura M, Ichikawa K, Hata M, Mitomo S, Shimizu Y: ANALYSIS OF SEPARATION DISTANCE THAT ACCOMPANIES THE CONTINUOUS TRACTION OF NORMAL KNEE JOINTS USING ULTRASOUND IMAGING. World Physical Therapy 2015, 2015.05.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 須永遼司, 竹井 仁, 篠田瑞生: 変形性膝関節症患者と健常高齢者の骨盤・下肢アライメントと関節可動域の比較. 第 50 回日本理学療法学会大会, 2015.06.

社会貢献活動

- 1) 宇佐英幸: 上肢・下肢の触診機能解剖. 10, 2015.11.21-2015.11.23.
- 2) 宇佐英幸: 脊柱・体幹の触診機能解剖. 10, 2015.08.08-2015.08.09.
- 3) 宇佐英幸: 姿勢の評価と治療 - Stability & Mobility -. 10, 2015.07.18-2015.07.20.

講演・口頭発表等

- 1) H. Kuruma, , T. Saiki, T. Aoki, N. Shida, H. Kamio, Y. Furukawa, M. Ikeda, K. Yanagisawa: A new exercise to activate multifidus. Physiotherapy, 2015.03.

講演・口頭発表等

- 1) Kuruma H, Saiki T, Aoki T, Shida N, Kamio H, Furukawa Y, Ikeda M, Yanagisawa K: A NEW EXERCISE TO ACTIVATE MULTIFIDUS. WCPT, 2015.05.
- 2) Nami Shida, Takumi Yamada, Yorimitsu Furukawa, Yumi Ikeda, Hironobu Kuruma: Relationship between a player's physical characteristics and the drive pattern of wheelchairs in wheelchair basketball. ISPRM, 2015.06.
- 3) Yorimitsu Furukawa, Nami Shida, Hironobu Kuruma, Osamu Nitta: Relationships of Inspiratory Muscle Strength and Standing Balance Ability. ISPRM2015, 2015.06.
- 4) 古川順光, 信太奈美, 中俣 修, 来間弘展, 新田 収: 吸気筋力と静止立位時の身体重心動揺の関係. 体力科学, 2015.12.

競争的資金等の研究課題

- 1) 信太奈美: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「車いすスポーツにおける基本的スキルと競技用車いすセッティングの関係」, 2015-2017.

委員歴

- 1) 日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート委員(バイオメカニクス)(2011.04-)

作 業 療 法 学 科

論文

- 1) 田中 団, 本家寿洋, 石井良和: 価値を置く作業への参加により廃用症候群を予防できた一例. 作業行動研究, 19(1):9-14, 2015.06.
- 2) 石橋 裕, 山田 孝, 小林法一, 石井良和: 閉じこもり高齢者が行う作業の季節間比較—作業質問紙を用いた予備的研究—. 作業療法, 34(5):588-592, 2015.10.
- 3) 吉岡和哉, 山田 孝, 石井良和, 有川真弓: 肥満症や2型糖尿病のある子どもに対する作業療法の可能性～小児版・作業に関する自己評価(COSA)の比較から～. 作業行動研究, 19(3):125-132, 2015.12.
- 4) 高木大輔, 石井良和, 川又寛徳, 山田 孝: 内的健康統制が高齢者に対する介入プログラムの効果に与える影響～人間作業モデルプログラムと運動プログラムの比較～. 作業行動研究, 19(4):191-198, 2016.03.

著書

- 1) 山田 孝・編著, 石井良和: 事例でわかる人間作業モデル. 2, 事例5, 協同医書出版社, 2015.09.
- 2) 石井良和, 京極 真, 長雄眞一郎: 精神領域の作業療法第2版. 6, 中央法規, 2016.02.

講演・口頭発表等

- 1) 谷村厚子, 石井良和: 精神保健サービス利用者を対象としたワークライフバランス尺度の開発. 日本作業療法学会抄録集, 2015.06.
- 2) 小林隆司, 石橋 裕, 石井良和, 小林法一, 大嶋伸雄, 井上 薫, 谷村厚子: 人間作業モデルに基づく学生面接様式の紹介. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 3) 麓 文太, 石井良和: 作業的变化を援助することができた脳卒中早期の事例. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 4) 神保洋平, 石井良和: 大切な作業の変更可能性の検討～作業の意味生成様式を用いた事例の一考察～. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 5) 佐々木露葉, 神保洋平, 小林隆司, 石井良和: 畑へのかかわりにより骨盤骨折を繰り返す右片麻痺患者の「大切な作業」の意味分析～作業の意味生成様式を通して～. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 6) 谷村厚子, 石井良和: Development of a work-life balance scale for users of mental health services. 6th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.
- 7) 石橋 裕, 小林法一, 小林隆司, 石井良和, 橋本美芽: An Exploratory Research of the Causation Between Occupation and Health Related Quality of Life. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, 2015.09.

論文

- 1) Santoso TB, Ito Y, Ohshima N, Hidaka M, Bontje P: Resilience in Daily Occupations of Indonesian Mothers of Children With Autism Spectrum Disorder. The American Journal of Occupational Therapy, 69(5):6905185020p1-6905185020p8, 2015.09.
- 2) Tomizawa R, Yamano M, Osako M, Misawa T, Hirabayashi N, Ohshima N, Sigeta M, Reeves S: Development of a Resilience in daily Activities Scale (RDAS) of Mother of Children with Autistic Spectrum Disorder. 日本保健科学学会誌, 18(2):81-95, 2015.10.

著書

- 1) 大嶋伸雄: PT・OT・ST のための認知行動療法ガイドブック. 単著(全て), 中央法規出版, 2015.07.

Misc

- 1) 大嶋伸雄: 患者教育を実践する専門職連携協働のための連携教育 - 英国における地域医療の現場から -. 看護教育, 56(2):136-139, 2015.06.
- 2) 大嶋伸雄: 面接でケア会議で使える質問力を鍛えよう-相手の思考を促す質問を少しずつ投げかけてみる -. 月刊ケアマネジメント, 26(10):14-15, 2015.10.

講演・口頭発表等

- 1) 根岸裕司, 大嶋伸雄: 重度介護者の排泄支援に対する作業療法士の介入効果と、障害者用トイレの有用性について. 第 24 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会, 2015.05.30.
- 2) 佐々木露葉, 大嶋伸雄: 尿失禁のある中年女性の対処行動(質的研究)—作業療法による保健予防活動の模索—. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.20.
- 3) 竹内幸子, 大嶋伸雄: 在宅脳血管障害者における「人生を物語ること」による「やりたいこと」の変化と気づき. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.20.
- 4) 野尻亜希, 小林法一, 大嶋伸雄: 訪問リハビリテーション利用者に対する作業バランス自己診断を用いた 1 日の生活の振り返りプログラムの試み. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.20.
- 5) 小原朋晃, 大嶋伸雄, 中本久之, 大野彰啓: 高次脳機能障害患者の“気づき”を促す認知行動療法の応用アプローチ. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.20.
- 6) 稲熊成憲, 大嶋伸雄: 患者教育の一環としての作業療法カウンセリングが疼痛改善に及ぼす効果 —肩関節周囲炎患者への心理的介入による行動変容と自己管理—. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.20.
- 7) 山本麻子, 田島明子, 大嶋伸雄: セラピストクライアント関係を再考する—認知行動療法を作業療法に応用した作業療法士へのインタビューから—. 第 49 回日本作業療法学会, 2015.06.21.
- 8) 藤嶋圭子, 大嶋伸雄: ALS 患者へのコミュニケーション機器導入—特別養護老人ホーム入所者の事例

— 第 49 回日本作業療学会, 2015.06.21.

- 9) 藤井博之, 大笹勝典, 大嶋伸雄, 小川孔美, 北澤彰浩, 小橋孝介, 由井和也, 吉浦 輪:「共通理解」に焦点をあてた IPE プログラムの試み. 第7回日本保健医療福祉連携教育学会, 2015.08.09.
- 10) 中村荘大, 長屋 説, 山田千鶴子, 遠藤 敏, 大嶋伸雄, 堀本ゆかり, 黒澤和生, 矢谷令子:「PT・OT・ST 教育カグレードアップ講座」におけるアンケート調査報告. 第 28 回教育研究大会, 2015.08.27.
- 11) Onuki M,Ohshima N:Evaluation of Acute Traumatic Brain Injury Patients Using Path Analysis. 6TH Asia-Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.04.
- 12) 小林隆司, 大嶋伸雄, 他:人間作業モデルに基づいた学生面接様式の紹介. 第 25 回日本作業行動学会学術集会, 2015.09.05.
- 13) Hidaka M,Santoso TB,Ito Y,Ohshima N, Bontje P:The Resilience Process of Japanese Mothers of Children with ASD. 6TH Asia-Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.15.
- 14) Santoso TB,Ito Y,Ohshima N,Hidaka M, Bontje P:Resilience of Indonesian Mothers of Children With Autistic Spectrum Disorder (ASD). 6TH Asia-Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.16.
- 15) Santoso TB, Ito Y,Ohshima N, Hidaka M, Bontje P:Development of a Resilience in Daily Activities Scale (RDAS) of Mothers of Children with Autistic Spectrum Disorder. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 16) 小日向洋, 大嶋伸雄, 下岡隆之, 中本久之:作業療法カウンセリングを学習-実践した作業療法士の到達と課題 -マインドマップを使用した考察-. 第2回認知作業療法研究会学術集会, 2015.09.27.
- 17) 小日向洋, 大嶋伸雄, 下岡隆之, 中本久之:学生が臨床実習で捉える「面接」に対しての課題. 第2回認知作業療法研究会学術集会, 2015.09.27.

論文

- 1) Oba K, Noriuchi M, Atomi T, Moriguchi, Kikuchi Y: Memory and reward systems coproduce ‘nostalgic’ experiences in the brain. Social Cognitive and Social Neuroscience (SCAN), doi: 10.1093/scan/nsv073, 2015.
- 2) Kikuchi Y: Does self-recognition of one’s own fall recruit genuine bodily crisis-related brain activity? The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 4(4): 299-306, 2015. (Invited Review Article)
- 3) Kikuchi Y, Noriuchi M: The Neuroscience of Maternal Love, Neuroscience Communications, 2015; 1: e991. doi: 10.14800/nc.991. (Invited Review Article)
- 4) 跡見友章、則内まどか、大場健太郎、跡見順子、菊池吉晃: 身体バランスの不安定性認知における自己特異的脳活動. 日本保健科学学会誌, 18; 149 -160, 2015.
- 5) 菊池吉晃: 『人間性』の神経基盤を探る-人間理解のための脳科学をめざして-(招待論文). 135-143, 文理融合数理モデリングに基づく新しい感性工学システムに関する研究 (Lecture Note Series in Mathematical Sciences Based on Modeling and Analysis), 明治大学(発行), 2015.

著書

- 1) Kikuchi Y, Noriuchi M: Neural Basis of Maternal Love as A Vital Human Emotion. In Emotional Engineering Volume 4 (Fukuda S, eds), Springer International Publishing, 2016. doi: 10.1007/978-3-319-29433-9.
- 2) 菊池吉晃: 脳内自己刺激行動、428-429, 人間科学の百科事典 7. ヒトの営み、生理人類学会編、丸善株式会社、2015.
- 3) 菊池吉晃: 意識、196-198, 人間科学の百科事典 4. 脳と心、生理人類学会編、丸善株式会社、2015.
- 4) 菊池吉晃: fMRI、550-552, 人間科学の百科事典 10. ヒトを測る、生理人類学会編、丸善株式会社、2015.
- 5) 菊池吉晃: 遠心性コピー、199-200, 人間科学の百科事典 4. 脳と心、生理人類学会編、丸善株式会社、2015.
- 6) 萩原一郎、跡見順子、菊池吉晃、大富浩一、内藤健(編集): 文理融合数理モデリングに基づく新しい感性工学システムに関する研究 (Lecture Note Series in Mathematical Sciences Based on Modeling and Analysis)、明治大学(発行), 2015.

講演・口頭発表等

- 1) Atomi T, Noriuchi M, Oba K, Atomi Y, Kikuchi Y: Self-recognition of one’s own fall evoked the right dominant cortical and brainstem activity. International Society for Posture & Gait Research (ISPGR) World Congress 2015, Seville, Spain, 2015.06.28-2015.07.02.
- 2) Mori K, Noriuchi M, Kikuchi Y: Mother’s brain activity and its correlation with the mother-to-infant bonding. The Organization for the Human Brain Mapping (OHBM) 2015, Honolulu, Hawaii, USA, 2015.06.14-2015.06.18.
- 3) Noriuchi M, Mori K, Kamio Y, Kikuchi Y: Maternal response to child feeding. The Organization for the Human Brain Mapping (OHBM) 2015, Honolulu, Hawaii, USA, 2015.06.14-2015.06.18.

- 4) Kikuchi Y, Atomi T, Oba K, Noriuchi M: Self-recognition of one's own fall recruits the genuine bodily crisis-related brain activity. The Organization for the Human Brain Mapping (OHBM) 2015, Honolulu, Hawaii, USA, 2015.06.14-2015.06.18.
- 5) Oba K, Noriuchi M, Kikuchi Y: Neural substrates of nostalgia. Invited Special Session "Brain" The 12th International Congress of Physiological Anthropology (ICPA) 2015, Tokyo Bay Makuhari Hall, Chiba, Japan, 2015.10.27-2015.10.30. (Invited Special Session)
- 6) 菊池吉晃:「人間性」の神経基盤を探る ー人間理解のための脳科学をめざしてー.「文理融合数理モデリングに基づく新しい感性工学システムに関する研究、明治大学先端数理科学インスティテュート現象数理解学研究拠点「共同研究集会」, 明治大学中野キャンパス MIMS, 2015.01.22-2015.01.23
- 7) 菊池吉晃: 自己の身体不安定性認知は身体不安定関連脳部位を活性化するか. 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同, 計算科学シミュレーションと工学設計分科会, 心と脳など新しい領域検討小委員会(第1回)における話題提供, 日本学術会議, 2015.04.08
- 8) 菊池吉晃:ドーパミン脳と資本主義. 資本主義研究会, 国際文化会館, 2015.11.06.
- 9) 跡見友章, 則内まどか, 大場健太郎, 跡見順子, 菊池吉晃: 身体バランスの危機的状況に応答する神経機構ーfMRI を用いた検討ー. 第 50 回日本理学療法学術大会, 東京国際フォーラム, 2015.06.05-2015.06.07.
- 10) Atomi T, Noriuchi M, Oba K, Atomi Y, Kikuchi Y: Self-recognition of one's own whole-body imbalance evokes the crisis-related cortical and brainstem activity. The 38th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (第 38 回日本神経科学大会), 神戸国際会議場, 2015.07.28-2015.07.31.
- 11) 中野 俊, 菊池吉晃: 非意識性空間知覚の神経基盤の再検討. 日本心理学会第 79 回大会, 名古屋国際会議場, 2015.09.22-2015.09.24.

競争的資金等の研究課題

- 1) 菊池吉晃:「超高磁場機能的磁気共鳴画像法を用いたヒトの「適応的記憶」の神経メカニズムの研究」, 平成 27 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費), 2015.04-2016.03.
- 2) 菊池吉晃:「化粧行為の認知神経科学的研究」, 資生堂共同研究, 2015.04-2015.09.
- 3) 菊池吉晃: 科研費基盤(B)「超高磁場 fMRI を用いたヒト身体不安定性における「全身的協関」メカニズムの研究」, 2013.04-2016.03.

その他

- 1) Kikuchi Y: The nostalgic brain gives you the power to live. Atlas of Science: another view on science (<http://atlasofscience.org>), 2015.
- 2) Kate Baggaley: All That '90s Nostalgia Might Actually Be Doing Us Some Good. (<https://www.braindecoder.com/post/all-that-90s-nostalgia-might-actually-be-doing-us-some-good-1306323459>), Braindecoder, 2015.
- 3) 菊池吉晃:【研究室紹介】首都大学東京脳機能解析科学研究室. PANews 26; 3-4, 2016.
- 4) NHK スペシャル ママたちが非常事態！？ ～最新科学で迫るニッポンの子育て～, 2016.01.31.
- 5) NHK スペシャル ママたちが非常事態！？2 ～最新科学で迫るニッポンの子育て～, 2016.03.27.

- 6) 菊池吉晃: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」幹事, 2015.
- 7) 菊池吉晃: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員, 2015.
- 8) 菊池吉晃: 日本学術振興会 特別研究員関連専門委員, 2015.
- 9) 菊池吉晃: 日本学術振興会 国際事業関連委員会委員, 2015.
- 10) Kikuchi Y: Editorial Board, the World Journal of Psychiatry, USA
- 11) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Physiological Anthropology, BioMed Central.
- 12) Kikuchi Y: Editorial Board, Science Postprint, GH Inc.
- 13) Kikuchi Y: Editorial Board, Epigenetics Diagnosis & Therapy, UAE
- 14) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Psychiatry, USA
- 15) Kikuchi Y: Editorial Board, Neuroscience Communications, USA
- 16) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology, Brain and Psychiatry, USA
- 17) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Radiology and Radiation Oncology, India
- 18) Kikuchi Y: Editorial Board, American Journal of Psychiatry and Neuroscience, USA
- 19) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology & Neurosciences, USA
- 20) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Clinical Neurology, USA
- 21) Kikuchi Y: Reviwer, Universal Journal of Public Health, USA
- 22) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical Neurology, Remedy Open Access Journal, USA
- 23) Kikuchi Y: Editorial Board, Annals of Psychiatry and Treatment, India
- 24) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical and Medical Imaging: Cases and Reviews, USA.
- 25) Kikuchi Y: Editorial Board, Annals of Neurodegenerative Disorders, USA
- 26) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology and Neurosciences, USA.
- 27) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Neurology, Neurosurgery and Spine, USA.
- 28) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology and Neuroscience, SciTz Neurology and Neurosciences, USA.
- 29) Kikuchi Y: Editorial Board, Psychiatry Case Reports -Annals of Clinical Case Reports, USA
- 30) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Radiology and Oncology, USA
- 31) Kikuchi Y: Editorial Board, Austin Neurology & Neurosciences, USA
- 32) Kikuchi Y: Editorial Board, Sports Medicine and Rehabilitation Journal, USA
- 33) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical and Medical Imaging, USA
- 34) Kikuchi Y: Editorial Board, Psychiatry Case Reports -Annals of Clinical Case Reports, USA
- 35) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Autism and Epilepsy, USA
- 36) Kikuchi Y: Editorial Board, Archives of Sports Medicine and Physiotherapy, India

論文

- 1) 宮本礼子, BONTJE Peter, 須山夏加, 須山夏加, 小林法一: コメディカル学生の高齢者に対する態度尺度の作成と信頼性・妥当性の検討. 老年社会科学, 37(1):3-16, 2015.04.20.
- 2) 小林法一: 介護予防事業における作業療法士の役割 (特集 地域包括ケアシステムの中でOTは何がで
きるのか). 作業療法ジャーナル, 49(10):1008-1012, 2015.09.
- 3) 井口知也, 小林法一: 認知症の人にとって意味のある作業をいかに見いだすのか (特集 認知症の人の
自律性を尊重し高める支援). 老年精神医学雑誌, 26(9):993-998, 2015.09.
- 4) 石橋 裕, 山田 孝, 小林法一: 閉じこもり高齢者が行う作業の季節間比較: 作業質問紙を用いた予備
的研究. 作業療法 = Japanese occupational therapy research: JOTR, 34(5):588-592, 2015.10.
- 5) 井口知也, 山田 孝, 小林法一: 認知症高齢者の絵カード評価法(APCD)の有用性. 作業行動研究, 19
(3):115-124, 2015.12.

著書

- 1) 小林法一, 竹原敦、鎌田樹寛: 高齢期領域の作業療法 第2版: プログラム立案のポイント (臨床
作業療法シリーズ). 6, 中央法規出版, 2016.02.
- 2) 山田 孝: 事例でわかる人間作業モデル. 協同医書出版社, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 渡辺陵介, 小林法一: 認知症のケア・リハにおける余暇活動の選択方法 報告事例の分析を通して. 東
京作業療法, 2015.02.00.
- 2) 田中秀宜, 小林法一: わが国の作業療法士の熟達・人材育成に関する文献的研究. 東京作業療法,
2015.02.
- 3) 猪股英輔, 小林法一: 退院直後における生活適応の支援 訪問リハビリテーションに生活行為向上マネ
ジメントを用いて. 東京作業療法, 2015.02.
- 4) 渡辺陵介, 小林法一: 認知症のケア・リハにおける余暇活動の選択方法～報告事例の分析を通して～.
東京作業療法, 2015.02.25.
- 5) 猪股英輔, 小林法一: 退院直後における生活適応の支援～訪問リハビリテーションに生活行為向上マネ
ジメントを用いて～. 東京作業療法, 2015.02.25.
- 6) 田中秀宜, 小林法一: わが国の作業療法士の熟達・人材育成に関する文献的研究. 東京作業療法,
2015.02.25.
- 7) 岡 義広, 小林法一: 要介護者等を対象とした生活に対するニーズの探索を支援する予防的・健康増進
プログラムの効果の検討. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 8) 嶋崎寛子, 小林法一: 大震災後の自治会設置が仮設住宅入居高齢者の QOL に及ぼす影響. 日本作
業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 9) 石代敏拓, 小林法一: わが国の通所リハビリテーションプログラムの効果に関する文献レビュー.

- 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 10) 本家寿洋, 山田 孝, 石井良和, 澤村大輔, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の構成概念妥当性の検討. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
 - 11) 小林法一, 山田孝, 川又寛徳: 地域包括ケアに向けた作業療法士のリカレント教育の課題—予防的健康増進作業療法プログラム実務者研修会参加者のアンケートより—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
 - 12) 野尻亜希, 小林法一, 大嶋伸雄: 訪問リハビリテーション利用者に対する作業バランス自己診断を用いた1日の生活の振り返りプログラムの試み. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.00.
 - 13) 安永雅美, 小林法一: デイサービス利用者の活動—フローモデルに基づく調査—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
 - 14) SIMAZAKI Hiroko, KOBAYASHI Norikazu: The problems residents are faced with in temporary-housing ?comparison between the nuclear evacuation zone and the natural disaster zone-. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand, 2015.09.
 - 15) Yu Ishibashi, Norikazu Kobayashi, Ryuji Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Mime Hashimoto: An exploratory research of the causation between occupation and health related quality of life. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand, 2015.09.
 - 16) Masami Yasunaga, Norikazu Kobayashi: Anxiety in the flow model for daily activities of elderly people who needs nursing care. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand, 2015.09.
 - 17) Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Tamami Aida, Kirsty Forsyth: Comparing groups that used and did not use occupation for people with dementia: a pilot study. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand, 2015.09.00.
 - 18) 小林隆司, 石橋 裕, 石井良和, 小林法一, 大嶋伸雄, 井上 薫, 谷村厚子: 人間作業モデルに基づく学生面接様式の紹介. 作業行動研究, 2015.09.
 - 19) 山田 孝, 小林法一, 篠原和也: 認知症で作業を実施した群と作業を実施しなかった群のランダム化比較 予備的研究. 作業行動研究, 2015.09.01.
 - 20) 井口知也, 山田 孝, 小林法一: 軽度認知障害者に対して意味のある作業を用いた認知症予防. 作業行動研究, 2015.09.01.
 - 21) 二村元気, 篠原和也, 小林法一, 山田 孝: 趣味活動や習慣の再開を目標とした重度認知症高齢者の一事例. 作業行動研究, 2015.09.01.
 - 22) 兒玉夏実, 小林法一: 回復期リハビリテーション病棟における作業療法士の介入の視点に関する文献レビュー. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
 - 23) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The relationships between Homebound Status and Occupational Competence, and its Effects on Health-related Quality of Life. The Fourth International Institute on the Model of Human Occupation, Indianapolis, IN, United, 2015.10.
 - 24) Norikazu Kobayashi, Ryousuke Watanabe: Availability of “the Color Karuta Qualia Game” in clinical practice for the elderly with dementia ?Dementia care occupational therapy assessment. International Association of Gerontology and Geriatrics Chiang Mai, Thailand, 2015.10.19.

- 25) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The relation causal and effect between occupation and health related quality of life. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand, 2015.10.19.
- 26) 石代敏拓, 朝倉直之, 小林法一: 生活行為の広がりに着目した支援として役割の獲得が有用であった一事例. 東京作業療法, 2016.02.25.
- 27) 福田剛史, 石代敏拓, 朝倉直之, 小林法一: 作業参加状況による内的基準や価値観の変化が健康関連 QOL に及ぼす影響. 東京作業療法, 2016.02.25.
- 28) 木舟麻美, 小林法一: 身体障害領域における作業療法士の退院前訪問指導の実施状況とその課題. 東京作業療法, 2016.02.25.
- 29) 渡辺陵介, 小林法一: 高齢者における色カルタ(クオリア・ゲーム)で得られる発言内容の分析. 東京作業療法, 2016.02.25.
- 30) 猪股英輔, 猪股英輔, 小林法一, 小林幸治: 生活行為向上マネジメント研修の成果と課題～研修参加者へのアンケートより～. 東京作業療法, 2016.02.25.
- 31) 浅野葉子, 佐藤和彦, 小林法一: 住民主体の「通いの場」に関与するための文献レビュー. 北海道作業療法, 2016.05.

競争的資金等の研究課題

- 1) 小林法一: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「認知症の BPSD 低減に有効な個人固有の役割活動を特定する評価マニュアルの作成」, 2015-2017.
- 2) 本家寿洋: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「LAES を使用して高齢障害者が余暇活動を主観的に楽しむプログラムの開発」, 2015-2018.
- 3) 川越雅弘: 厚生労働省: 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)「要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション/リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究」, 2015-2018.

論文

- 1) 谷川良博, 村井千賀, 小林隆司: 生活行為向上マネジメントを活用した通所リハビリテーションの課題. 健康科学と人間形成, 1(1):49-55, 2015.05.
- 2) 長尾宗典, 小林隆司: 日本作業療法学会演題の事例報告からみた介護保険下での通所リハビリテーションにおける作業療法の内容. 東京作業療法, 4:23-28, 2016.02.
- 3) Kanayana Y, Tsuchiya K, Ono K, Yoshimura Y, Kobayashi R: The relationship between satisfaction in activities of daily living and perceived quality of life in recovery rehabilitation inpatients. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science, 7:1-6, 2016.02.

著書

- 1) 日本作業療法士協会: 事例で学ぶ生活行為向上マネジメント. 0, 医歯薬出版, 2015.06.20.

講演・口頭発表等

- 1) 守谷梨絵, 狩長弘親, 吉岡和哉, 小林隆司, 渡利太: 急性期病院における臨床クラークシップ導入の実践報告. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 2) 齋藤みのり, 小林隆司, 安田壽, 安田洋子, 梅原彩: 興味と競争を考慮した課題設定によって将来の就労に向けパソコンのタイピングが可能となった事例—境界型知能を有する小学 6 年生—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 3) 古川絵美, 篠田昭, 南征吾, 小林隆司: 「もう一度以前のような生活を取り戻したい」と願う事例への作業活動の提案—作業創発的臨床推論法の検討—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 4) 土屋景子, 金山祐里, 小野健一, 小林隆司: 主観的 ADL 尺度と WHOQOL26, FIM との関係—対象者が ADL 項目を選択する SSADL を用いて—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 5) 南征吾, 小林隆司: 訪問作業療法における患者介入プロセス: 質的パイロット研究. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 6) 大森大輔, 両部善紀, 井村亘, 狩長弘親, 小林隆司: 生活行為申し送り表を用いた作業療法士と介護支援専門員との連携が通所リハビリテーション利用者の社会機能に与える影響. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 7) 林佳宏, 南征吾, 小林隆司: 悪性リンパ腫を有した事例に対する意味のある作業への支援. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 8) 藤江純平, 小林隆司: 訪問作業療法における作業選択と顧客満足要因に関する研究. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 9) 金山祐里, 土屋景子, 小野健一, 小林隆司: ADL の主観的満足感と FIM との関係—満足感が高い患者と低い患者の比較—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 10) 鈴木優喜子, 長澤明, 小林隆司: 認知症疾患治療病棟に入院中のアルツハイマー型認知症患者における認知症重症度と行動・心理症状の関係. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.

- 11) 篠田昭, 南征吾, 小林隆司: 将来に不安を抱く患者に作業の語りから心境の整理を試みた事例報告. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 12) 神保洋平, 石井良和, 小林隆司: ライフステージにおいて作業適応の危機を経験した高齢者の作業の意味構造に焦点をあてた探索的研究. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 13) 吉田一平, 美馬寛子, 野中哲士, 平尾一樹, 小林隆司: 高齢者の挑戦水準・能力水準バランスを調整した作業療法が QOL に与える効果—ランダム化比較研究—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.06.
- 14) KOBAYASHI Ryuji: Effects of a Deep Breath on the Class Room Off-Task Behavior in a Child with Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder. The 9th world congress of international society of physical and rehabilitation medicine, 2015.06.
- 15) M. Arai, T. Shiratani, M. Ikeda, R. Kobayashi, K. Yanagisawa: The Effect of Different Force Direction and Resistance Levels During Resistive Static Contraction of the Lower Trunk Muscles on the Soleus H-Reflex. The 9th world congress of international society of physical and rehabilitation medicine, 2015.06.
- 16) 石橋裕, 小林隆司, 他: 首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育の新たな取り組み. 第8回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2015.08.09.
- 17) Seigo Minami, Atushi Kitayama, Yoshiharu Hara, Noriyuki Fukumoto & Ryuji Kobayashi: Home-Based Occupational Therapy Increasing Vitality of the Patients: A qualitative pilot study. 6th Asia-pacific occupational therapy congress, 2015.09.
- 18) Ryuji Kobayashi & Seigo Minami: Professional Attributes Expected of Home-Based Occupational Therapists: A qualitative study. 6th Asia-pacific occupational therapy congress, 2015.09.
- 19) Yu Ishibashi, Norikazu Kobayashi, Ryuji Kobayashi, Yoshikazu Ishii, & Mime Hashimoto: An Exploratory Research of the Causation Between Occupation and Health Related Quality of Life. 6th Asia-pacific occupational therapy congress, 2015.09.
- 20) 佐々木露葉, 神保洋平, 小林隆司, 石井良和: 畑へのかかわりにより骨盤骨折を繰り返す右片麻痺患者の「大切な作業」の意味分析～作業の意味生成様式を通して～. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 21) 小林隆司, 石橋裕, 石井良和, 小林法一, 大嶋伸雄, 井上薫, 谷村厚子: 人間作業モデルに基づく学生面接様式の紹介. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.
- 22) 篠田昭, 南征吾, 井口知也, 小林隆司, 山田孝: 認知症高齢者の絵カード評価法を用いたせん妄患者の事例～回復期での主体的な活動選択に着目したアプローチ～. 日本作業行動学会第25回学術集会, 2015.09.01.
- 23) 長尾宗典, 小林隆司: 日本作業療法学会演題の事例報告レビューからみた介護保険下通所リハビリテーションにおける作業療法の内容. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 24) 鎌田小百合, 小林隆司: わが国における医療系学生の学習動機に対する文献レビュー. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 25) 石橋裕, 習田明裕, 網本和, ボンジェ ペイター, 金寿蓮, 山村礎, 浅川康吉, 小林隆司, 妹尾淳史, 廣川聖子, 川添美花, 飯村直子, 石井良和, 長内尚子, 大熊右文, 松村一秀, 富澤賢一, 木下正信: 先首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育(IPE)の新たな取り組み—急性期・在宅シミュレーションルームの設置—. 保健医療福祉連携, 2016.03.

社会貢献活動

- 1) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.04.12-.
- 2) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.04.21-.
- 3) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.05.12-.
- 4) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.05.29-.
- 5) 小林隆司:認定作業療法士取得研修. 10, 2015.06.13-2015.06.14.
- 6) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.07.19-.
- 7) 小林隆司:第8回日本保健医療福祉連携教育学会. 14, 2015.08.09-.
- 8) 小林隆司:認定作業療法士取得研修. 10, 2015.08.20-2015.08.21.
- 9) 小林隆司:第25回日本保健科学学会学術集会. 14, 2015.09.26-.
- 10) 小林隆司:生活行為向上リハビリテーション研修. 10, 2015.09.27-.
- 11) 小林隆司:地域包括ケアと生活行為向上マネジメント. 10, 2015.10.03-2015.10.04.
- 12) 小林隆司:認定作業療法士取得研修. 10, 2015.11.07-2015.11.08.

論文

- 1) 繁田雅弘: 当事者のニーズに応える認知症医療を目指して. 老年精神医学雑誌, 26(増刊 II):64-64, 2015.05.
- 2) 関 一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福本安甫, 繁田雅弘: 神経変性疾患の嗅覚障害 嗅覚評価簡便化と嗅覚刺激などについての検討. 日本作業療法学会抄録集, 49 回():P2450b-P2450b, 2015.06.
- 3) 竹原 敦, 繁田雅弘, 山田 孝: 高齢者の性別と役割変化の関連についての研究. 作業行動研究, 19(2):71-71, 2015.09.
- 4) 品川俊一郎, 繁田雅弘:【まるごと解説!認知症の薬物療法】認知症の基礎知識 代表的な認知症の症状と診断. 薬事, 57(11):1777-1781, 2015.10.
- 5) 渡部月子, 繁田雅弘, 藤井暢弥, 櫻井尚子, 星 旦二: 都市郊外在宅高齢者の健康 3 要因、社会経済的要因、就労と3年後の新規要介護度との関連構造. 社会医学研究, 33(1):111-122, 2016.01.
- 6) 笠貫浩史, 上村直人, 柳川まどか, 唐木千穂, 小柳清光, 山崎峰雄, 梅垣宏行, 繁田雅弘:【認知症の診断・臨床・治療とケア、認知症の人の Well-being】アルツハイマー病診療のスキルアップを考える この症例をどう診るか 2015. 老年精神医学雑誌, 27(増刊 I):7-30, 2016.03.
- 7) 繁田雅弘: 認知症医療とケアにおける今後の方向性. 保健医療福祉連携, 9(1):48-48, 2016.03.
- 8) 繁田雅弘:【認知症当事者のニーズから始める】認知症の人のニーズをいかに聴くか. 訪問看護と介護, 21(4):260-263, 2016.04.
- 9) 繁田雅弘:【レビー小体型認知症】想いを汲むことから聴くことへ. クリニシャン, 63(4):443-446, 2016.04.

論文

- 1) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加, 小林法一: コメディカル学生の高齢者に対する態度尺度の作成と信頼性・妥当性の検討. 老年社会科学, 37(1):3-16, 2015.04.
- 2) Peter Bontje: Unfolding familiarity. Re-occupying daily life among older persons with physical disabilities, in Japan. PhD thesis, 2015.09.
- 3) Tri Budi Santoso, 大嶋伸雄, ボンジェ・ペイター, 伊藤祐子: Development of a Resilience in Daily Activities Scale (RDAS) of Mothers of Children with Autistic Spectrum Disorder. 日本保健科学学会誌, 18(2):81-95, 2015.09.
- 4) Santoso TB, Ito Y, Ohshima N, Hidaka M, Bontje P: Resilience in Daily Occupations of Indonesian Mothers of Children With Autism Spectrum Disorder. The American Journal of Occupational Therapy, 69(5):1-8, 2015.09.
- 5) Camilla Malinowsky, Anders Kottorp, Anders Kottorp, Rumi Tanemura, Eric Asaba, Toru Nagao, Kazue Noda, Jiro Sagara, Peter Bontje, Lena Rosenberg, Louise Nygård: Validation of the Everyday Technology Use Questionnaire in a Japanese context. Hong Kong Journal of Occupational Therapy, 26():1-8, 2015.12.
- 6) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加: 保健医療系学生を対象とした「障害者に対する態度尺度日本版」の作成: ラッシュモデルを用いた信頼性・妥当性の検討. 作業療法 = Japanese occupational therapy research: JOTR, 34(6):630-641, 2015.12.

講演・口頭発表等

- 1) 竹内靖乃, ボンジェ・ペイター, Anders Kottorp: 整形外科疾患と障害認識—肩腱板断裂術後症例に AMPS と A3 評価を実施して—. 第 49 回作業療学会, 2015.06.20.
- 2) 石橋 裕, 習田明裕, 網本 和, ボンジェ・ペイター, 他 13 人, 木下正信: 首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育 (IPE) の新たな取り組み—急性期・在宅シミュレーションルームの設置—. 第 8 回日本保健医療福祉連携教育学会学, 2015.08.09.
- 3) 金 寿蓮, 須山夏加, 網本 和, ボンジェ・ペイター, 木下正信: 首都大学東京保健福祉学部における「IPE 海外短期研修」実施に係る大学連携支援室の業務. 第 8 回日本保健医療福祉連携教育学会学, 2015.08.09.
- 4) 金 寿蓮, 須山夏加, 網本 和, ボンジェ・ペイター, 木下正信: 首都大学東京保健福祉学部における IPE 海外短期研修生受入れ—大学連携支援室の業務—. 第 8 回日本保健医療福祉連携教育学会学, 2015.08.09.
- 5) Shoda M, Otani H, Bontje P: Radiological technologist needs "Cooperation and Collaboration" for IPE. 20th Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists, 2015.08.22.
- 6) Tri Budi Santoso, Yuko I, Ohshima N, Hidaka M, Bontje P: The Resilience Process of Japanese Mothers of Children with ASD. 6th Asian Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.15.
- 7) M. Hidaka, Y. Ito, P. Bontje, Tri Budi Santoso, N. Ohshima: Resilience in Daily Occupations of Indonesian Mothers of Children with Autistic Spectrum Disorder. 6th Asian Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.16.
- 8) SANTOSO Tri Budi, OHSHIMA Nobuo, BONTJE Peter, ITO Yuko: Development of a Resilience in Daily Activities Scale (RDAS)

of Mothers of Children with Autistic Spectrum Disorder. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.

著書

- 1) 渡辺 賢:ICU ブック第 4 版. 4, 36,37,38 章, メディカルサイエンスインターナショナル, 2015.11.

講演・口頭発表等

- 1) 渡辺 賢:平滑筋収縮におけるプロテインホスファターゼ 2A の役割. 第 57 回日本平滑筋学会総会, 2015.08.26.
- 2) 渡辺 賢:プロテインホスファターゼ 2A 抑制薬による平滑筋弛緩促進のメカニズム. 第 93 回日本生理学会大会, 2016.03.22.

競争的資金等の研究課題

- 4) 渡辺 賢:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「平滑筋収縮フィラメント・リモデリングによるアクチンミオシン相互作用変調の仕組み」, 2011.04-2016.03.

委員歴

- 1) 日本生理学会 評議員(1994.03-)
- 2) 日本生理学会 編集広報委員会委員(2006.03-)
- 3) 日本平滑筋学会 評議員(2009.07-)
- 4) 日本平滑筋学会 広報委員会・副委員長(2009.07-)
- 5) 日本平滑筋学会 理事(2015.08-)
- 6) 日本体力医学会 編集委員会委員(2015.10-)
- 7) 日本生理学会 理事(2016.03-)

論文

- 1) 石橋 裕: 閉じこもり高齢者が行う作業の季節間比較 作業質問紙を用いた予備的研究. 作業療法, 34 (5): 588-592, 2015.10.

著書

- 1) 小林法一、竹原敦、鎌田樹寛(編): 高齢期領域の作業療法 第2版: プログラム立案のポイント(臨床作業療法シリーズ). 0, 中央法規出版, 2016.02.12.

講演・口頭発表等

- 1) Yu Ishibashi, Reiko Miyamoto: The effectiveness of adaptation model to a weak elderly person with the right hemiplegia - Collaboration with care worker-. 3rd International OTIPM symposium, Seoul, Korea., 2015.05.
- 2) Yu Ishibashi, Mime Hashimoto, Hirokazu Nagano: The relationship between physical health-related quality of life, demands for urban development, and usage of public transports among dwelling elderly. , 2015.06.
- 3) Reiko Miyamoto, Yu Ishibashi: Effect of the level of self-esteem on self-reported adjust-ability related to clinical practice in occupational therapy trainees: Pre- and post- practicum comparison. 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Berlin, Germany., 2015.06.
- 4) Reiko Miyamoto, Yu Ishibashi: Associations between pre to post-practicum changes in self-reported adjustability and self-esteem in occupational therapy trainees. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand., 2015.09.
- 5) Yu Ishibashi, Norikazu Kobayashi, Ryuji Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Mime Hashimoto: An exploratory research of the causation between occupation and health related quality of life. 6th Asia-Pacific occupational therapy congress, Rotorua, New Zealand., 2015.09.
- 6) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: The relationships between Homebound Status and Occupational Competence, and its Effects on Health-related Quality of Life. The Fourth International Institute on the Model of Human Occupation, Indianapolis, IN, United States., 2015.10.

競争的資金等の研究課題

- 1) 石橋 裕: 文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「介護予防事業におけるサービス提供最適化のためのアルゴリズム開発」, 2014-2016.

委員歴

- 1) 東京都荒川区介護予防アドバイザー 委員(2013.04-)

論文

- 1) 伊藤祐子, 立山清美, 赤松めぐみ, 有川真弓, 山田孝: 感覚統合療法の効果研究に関わる基礎的調査. 感覚統合研究, 第 15 巻, 51-60, 2015.
- 2) Tri Budi Santoso, 大嶋伸雄, Bontje Peter, 伊藤祐子: 自閉症スペクトラム障害児の母親の日常生活におけるレジリエンス尺度(RDAS)の開発. 日本保健科学学会誌, 18(2):81-95, 2015.09.
- 3) Santoso TB, Ito Y, Ohshima N, Hidaka M, Bontje P: Resilience in Daily Occupations of Indonesian Mothers of Children With Autism Spectrum Disorder.. The American journal of occupational therapy : official publication of the American Occupational Therapy Association, 69(5):6905185020p1-8, 2015.09.
- 4) 宮本礼子, ボンジェ ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 保健医療系学生を対象とした「障害者に対する態度尺度日本版」の作成 - ラッシュモデルを用いた信頼性・妥当性の検討 -. 作業療法 34(6): 630 -641, 2015.

著書

- 1) 伊藤祐子: 月間 発達教育. 9, あそびを通じた発達支援ー作業療法からのアプローチー, 公益社団法人 発達協会, 2015.04.

Misc

- 1) 伊藤祐子: 姿勢をコントロールする力を促すあそび. 発達教育, 34(5):23-25, 2015.04.25.
- 2) 伊藤祐子: 姿勢をコントロールする力を促すあそび. 発達教育, 34(6):23-25, 2015.05.25.
- 3) 伊藤祐子: 姿勢をコントロールする力を促すあそび. 発達教育, 34(7):23-25, 2015.06.25.
- 4) 伊藤祐子: 自分のからだをわかるようになるあそび. 発達教育, 34(7):23-25, 2015.07.25.
- 5) 伊藤祐子: 自分のからだをわかるようになるあそび. 発達教育, 34(9):23-25, 2015.08.25.
- 6) 伊藤祐子: 子どものあそびとコンピュータゲーム. 発達が気になる子の子育て支援情報誌, 13():18-20, 2015.09.10.
- 7) 伊藤祐子: 自分のからだをわかるようになるあそび. 発達教育, 34(10):23-25, 2015.09.25.
- 8) 井上 薫, 伊藤祐子, 矢筈原隆史, 佐々木千寿, 中村美緒: 作業療法士のロボットに関する研究動向ー日本作業療法学会におけるロボットに関する発表の変遷ー. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl):34-34, 2015.09.26.
- 9) 伊藤祐子, 井上薫: 手の器用さに関する評価法開発に向けたパイロットスタディー. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl):26-26, 2015.09.26.
- 10) 助川文子, 伊藤祐子: 発達障害をもつ青年に対する, 就労支援事業におけるレジリエンス評価の有用性について. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl):34-34, 2015.09.26.
- 11) 伊藤祐子: 自分のからだをわかるようになるあそび. 発達教育, 34(11):23-25, 2015.10.25.
- 12) 伊藤祐子: 手をじょうずに使えるようになるあそび. 発達教育, 34(12):23-25, 2015.11.25.
- 13) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 保健医療系学生を対象とした「障害者に対する態

度尺度日本版」の作成 ラッシュモデルを用いた信頼性・妥当性の検討. 作業療法, 34(6):630-641, 2015.12.

- 14) 伊藤祐子:手をじょうずに使えるようになるあそび. 発達教育, 35(1):23-25, 2015.12.25.
- 15) 木村奈緒子, 花田昌子, 北嶋まり子, 伊藤祐子, 楠本直紀, 山本麻子:東京作業療法 特別企画 座談会 子育てしながら OT しよう! (特集 キャリアをつなげる: 子育てしながら OT しよう). 東京作業療法 = Tokyo occupational therapy research, 4:8-13, 2016.
- 16) 伊藤祐子:手をじょうずに使えるようになるあそび. 発達教育, 35(2):23-25, 2016.01.25.
- 17) 木村奈緒子, 花田昌子, 北嶋まり子, 伊藤祐子, 楠本直紀, 山本麻子:【キャリアをつなげる～子育てしながらOTしよう～】子育てしながらOTしよう. 東京作業療法, 4:8-13, 2016.02.
- 18) 酒井康年, 伊藤祐子, 池上 洋, 波多野裕子, 田邊美樹子, 日高幹代, 八重樫貴之, 山崎仁智, 東京都作業療法士会子ども委員会:東京都作業療法士会子ども委員会企画ワークショップ 地域包括支援を意識した、子ども領域における地域での作業療法について. 東京作業療法, 4:42-42, 2016.02.
- 19) 酒井康年, 伊藤祐子, 池上 洋, 波多野裕子, 田邊美樹子, 日高幹代, 八重樫貴之, 山崎仁智:—地域包括支援を意識した、子ども領域における地域での作業療法について— . 東京作業療法, 4:42-, 2016.02.25.
- 20) 伊藤祐子:手をじょうずに使えるようになるあそび. 発達教育, 35(3):23-25, 2016.02.25.

講演・口頭発表等

- 1) 助川文子, 伊藤祐子:発達障害をもつ青年に対する、就労支援事業におけるレジリエンス評価の有用性について. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 2) 井上 薫, 伊藤祐子, 矢筈原隆史, 佐々木千寿, 中村美緒:作業療法士のロボットに関する研究動向—日本作業療法学会におけるロボットに関する発表の変遷—. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 3) 伊藤祐子, 井上 薫:手の器用さに関する評価法開発に向けたパイロットスタディー. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.

競争的資金等の研究課題

- 1) 立山清美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「幼児期の自閉症スペクトラム児に対する感覚統合療法の効果～非ランダム化比較試験」, 分担, 2014.04-2016.03.
- 2) 岩永竜一郎:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「学校版協調運動検査の作成に関する研究」, 分担, 2015.04-2018.03.
- 3) 井上 薫:文部科学省 文部科学省科学研究費基盤研究(B)「認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果」, 分担, 2012.04-2016.03.

委員歴

- 1) 日本発達系作業療法学会理事(2011-)
- 2) 東京都作業療法士会子ども委員会委員長(2015-)

論文

- 1) 猪狩もとみ, 富田 豊, 宮坂裕之, Orand Abbas, 谷野元一, 井上 薫, 園田 茂:等運動性機器を用いた関節トルク測定法の開発. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science, 5:141-146, 2016.01.

Misc

- 1) 井上 薫:アザラシ型メンタルコミットロボット「PARO」の活用事例 こころにはたらきかけるロボット, 地域ケアリング (1345-0123)18(1):79-80, 2016.01.

講演・口頭発表等

- 1) 柴田崇徳, 井上 薫:地域包括医療ケアにおける、神経学的セラピー用ロボット・パロによる認知症ケアと介護負担の軽減化. 第14回日本認知症ケア学会, 2015.04.
- 2) 井上 薫, 佐々木千寿, 中村美緒, 佐久間尚実, 岡田麻衣子, 河野光伸:認知症をもつ高齢者に対するロボットを使用した活動に介護職員が期待する効果 コミュニケーションロボットを活用したレクリエーションについて. 第14回日本認知症ケア学会. 2015.04.
- 3) 佐久間尚実, 海老原恵子, 柳沢 真, 村上泰司, 山木由利, 井上 薫:認知症ケア現場における認知症高齢者の睡眠の質にまつわる2つの問題－眠りSCANで見た夜間の排泄が睡眠に及ぼす影響と、良く眠る人の BPSD－. 第14回日本認知症ケア学会, 2015.04.
- 4) 中村美緒, 井上 薫, 白銀 暁, 井上剛伸:医療福祉専門職と開発者による開発支援ワークショップの実践. 第49回日本作業療法学会, 2015.06.
- 5) 井上 薫, 佐々木千寿, 中村美緒, 河野光伸:特別養護老人ホームに入所している認知症をもつ高齢者に対するロボットを活用したレクリエーション. 第49回日本作業療法学会, 2015.06.
- 6) 佐々木千寿, 上原玲尾奈, 田邊由紀江, 井上 薫:作業療法技能を向上させる新人教育プログラムの検討. 第49回日本作業療法学会, 2015.06.
- 7) Nakamura M, Suzurikawa J, Tsukada S, Kume Y, Kawakami H, Inoue K, Inoue T: Validation of the ULCEAT methodology by applying it in retrospect to the RobotiBed. th Asia Pacific Occupational Therapy Congress: APOTC, 2015.09.
- 8) Inoue K, Sasaki C, Nakamura M.:Communication Robots for Elderly People and Their Families to Support Their Daily Lives - Case Study of Two Families Living with the Communication Robot. 6th Asia Pacific Occupational Therapy Congress: APOTC, 2015.09.
- 9) Shoji Yamamoto, Hideaki Honda, Kaoru Inoue, Naoto Hara, Norimichi Tsumura.: The Difference of Velocity between Eye and Head Movement under Mental Fatigue Condition, The Optical Society, the OSA fall version meeting, 2015.09.
- 10) 小林隆司, 石橋 裕, 石井良和, 小林法一, 大嶋伸雄, 井上 薫, 谷村厚子:人間作業モデルに基づく学生面接様式の紹介. 第25回作業行動学会学術集会, 2015.09.
- 11) 伊藤祐子, 井上 薫:手の器用さに関する評価法開発に向けたパイロットスタディー. 第25回日本保健科学学会誌. 第25回日本保健科学学会誌, 2015.09.
- 12) 井上 薫, 矢筈原隆史, 佐々木千寿, 河野光伸:作業療法士のロボットに関する研究動向 日本作業

療法学会におけるロボットに関する発表の変遷. 第25回日本保健科学学会誌, 2015.09.

- 13) 矢筧原隆史, 井上 薫, 佐々木千寿, 河野光伸:介護保険制度における福祉用具の使用状況に関する文献研究 不要となった福祉用具が放置されていた要因について. 第25回日本保健科学学会誌, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上 薫:文部科学省 文部科学省科学研究費基盤研究(B)「認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果」, 2012.04-2016.03.
- 2) 井上 薫:首都大学東京 学部傾斜配分研究費「特別養護老人ホームに入所している認知症高齢者に対する作業療法」, 2015.05-2016.02.

社会貢献活動

- 1) BS11 「報道ライブ 21」, 2015.10-.
- 2) NPO 法人キッズドア ロボットセラピー提供, 2015.07-.
- 3) 医療・福祉施設に対するロボットセラピー・アドバイザー, 2011.04-.

委員歴

- 1) 日本生活支援工学会 編集委員(2005.04-)
- 2) 日本生活支援工学会 理事(2015.04-)
- 3) 日本リハビリテーション工学協会代議員(2015.04-)
- 4) 東京都作業療法士会 福祉用具部会委員(2011.04-)
- 5) 日本保健科学学会誌 編集委員(2005.12-)
- 6) 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員(2014.07-)
- 7) 東京都作業療法士会 学会演題査読委員(2012.06-)
- 8) 日本行動計量学会第43回大会実行委員(2015)
- 9) 第25回日本保健科学学会学術集会実行委員(2015) 等

論文

- 1) 山田拓実、蘭牟田洋美:介護予防運動プログラムへの参加状況ごとにみた都市部高齢女性の健康関連QOLの検討. 理学療法科学, 30(5):667-674, 2015.12.

Misc

- 1) Takumi Yamada, Hiromi Imuta:Health-related quality of life with age of elderly female city residents and its effect on their participation in a care-prevention exercise program. Rigakuryoho Kagaku, 30:667-674, 2015.12.06.
- 2) 伊東一郎, 高橋 彩, 蘭牟田洋美, 鈴木 忠, 田島信元:中高年期の発達と支援“生涯現役”社会構築の条件と支援としての「越境的交流」の効用. 日本発達心理学会大会プログラム(CD-ROM), 27th:ROMBUNNO.RT4-5-, 2016.
- 3) 山崎幸子, 蘭牟田洋美, 安村誠司:高齢者の閉じこもりをもたらす同居家族の関わり尺度の開発. 日本発達心理学会大会プログラム(CD-ROM), 27th:ROMBUNNO.PF-59-, 2016.
- 4) 蘭牟田洋美:ライフレビュー・サクセスフルエイジング・居場所感ー閉じこもり高齢者支援からの論考ー. 老年社会科学, 37(4):428-434, 2016.01.20.

講演・口頭発表等

- 1) 水口寛子, 蘭牟田洋美:急性期病院から自宅退院した脳卒中患者の退院後の生活満足度低下に関連する要因の探索. 日本作業療法学会抄録集, 2015.06.
- 2) 蘭牟田洋美:ストレスを和らげるコミュニケーションのコツ. 荒川ころばん体操リーダー交流会, 2015.06.09.
- 3) 山崎幸子, 木村未緒, 蘭牟田洋美, 安村誠司:高齢者のうつ傾向と同居家族の認識ー認識のズレとその関連要因の検討ー. 老年社会科学, 2015.06.10.
- 4) 蘭牟田洋美:人と人とのつながりを広げるために. 荒川ばん座位体操リーダー育成研修, 2015.07.01.
- 5) 蘭牟田洋美:ライフレビューを用いた事例検討会. 愛知県みよし市, 2015.08.12.
- 6) 山田拓実, 蘭牟田洋美:荒川ばん座位体操の普及に向けて 体操参加者別の体操参加効果の検討. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2015.10.
- 7) 蘭牟田洋美, 山田拓実:荒川ばん座位体操の普及に向けて 健康関連 QOL SF-8 からみた体操の効果. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2015.10.
- 8) 山崎幸子, 蘭牟田洋美, 安村誠司:同居家族のエイジズム的関わりと精神的健康が高齢者のうつに及ぼす影響. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2015.10.
- 9) 山田拓実, 蘭牟田洋美:荒川ばん座位体操の普及に向けて(3)体操参加者別の体操参加効果の検討. 日本公衆衛生学雑誌, 2015.11.
- 10) 蘭牟田洋美, 山田拓実:荒川ばん座位体操の普及に向けて(4)健康関連 QOL:SF-8 からみた体操の効果. 日本公衆衛生学雑誌, 2015.11.
- 11) 蘭牟田洋美:ライフ・レビューを活用した高齢者支援. 日本臨床発達心理士会神奈川支部, 2015.12.20.
- 12) 蘭牟田洋美:閉じこもり高齢者を知る. 江戸川区介護予防支援, 2016.02.25.

競争的資金等の研究課題

- 1) 蘭牟田洋美:文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「介護予防から災害弱者へのパラダイム転換-効果的な閉じこもり高齢者支援を目指して-」, 2015-2017.

委員歴

- 1) 日本保健科学学会 評議員(2014.04-)
- 2) 日本老年社会科学会 査読委員(2014.04-)
- 3) 日本老年社会科学会 評議員(2015.04-)
- 4) 日本臨床発達心理士会神奈川支部 副支部長(2015.04-)

著書

- 1) 谷村厚子:第Ⅰ部 精神科作業療法におけるプログラム立案の基礎 D プログラム立案で利用できるウェブ
ン 1.理論モデル(3)集団力動理論,第Ⅱ部 精神科作業療法のプログラム立案の実際 4.神経症の作
業機能障害とプログラム立案のコツ. クリニカル作業療法シリーズ精神領域の作業療法 第2版-プロ
グラム立案のポイント(編集石井良和,京極真,長雄眞一郎),84-87,296-310,中央法規,2016.02.

Misc

- 1) 谷村厚子(執筆協力者):V 事例研究.作業療法マニュアル 34 作業療法研究法マニュアル 改訂第2
版(編集・著作 一般社団法人 日本作業療法士協会),41-44,2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 谷村厚子,石井良和:精神保健サービス利用者を対象としたワークライフバランス尺度の開発.第49回
日本作業療法学会,2015.06.
- 2) 小林隆司,石橋 裕,石井良和,小林法一,大嶋伸雄,井上 薫,谷村厚子:人間作業モデルに基づく
学生面接様式の紹介.第25回日本作業行動学会学術集会,作業行動研究,19(2):94,2015.09.
- 3) TANIMURA Atsuko, ISHII Yoshikazu:Development of a work-life balance scale for users of mental health services. 6th Asia
Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 谷村厚子:独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤
研究(C)(一般))「精神障害をもつ当事者対象ワークライフバランス向上プログラム効果評価システムの
構築」,2015.04-2018.03.

論文

- 1) 澤田有希, 橋本美芽: 住環境整備のための記録用紙の開発に関する研究—回復期リハビリテーション病棟における記録用紙のニーズの検討—. 日本福祉のまちづくり学会, 17(2):25-36, 2015.07.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽: 回復期リハビリテーション病棟で使用している住環境整備のための記録用紙の記入項目に関する検討. 東京作業療法, 3:36-42, 2015.12.

著書

- 1) 橋本美芽: 福祉機器選び方・使い方 はじめての住宅改修、入浴、トイレ. 2, 住宅改修方法の基礎知識:, 保健福祉広報協会, 2015.09.
- 2) 野村 歆, 植田瑞昌, 田中 賢, 田村房義, 橋本美芽, 村井裕樹, ハ藤後猛: 住環境のバリアフリー・ユニバーサルデザイン: 福祉用具・機器の選択から住まいの新築・改修まで. 彰国社, 2015.10.

Misc

- 1) 橋本美芽: 【これからの高齢者の住まい】 高齢者の生活行為と住環境 転倒予防に配慮した住宅の改修方法. Aging & Health, 24(2):20-23, 2015.07.
- 2) 橋本美芽: 【リハビリテーション工学と福祉用具開発】 住宅用支援用具. 総合リハビリテーション, 43(8):729-733, 2015.08.

講演・口頭発表等

- 1) 橋本美芽: 段差の話、手すりの話. リハ工復興支援講習会 SIG 住まいづくり, 2015.05.30.
- 2) ユスフバクティアル, 加藤貴司, 橋本美芽, 武田隆宏, 碩 南, 岩崎謙次, 菅谷紘子, 大保武慶, 久保田直行: 高齢者に対する災害時における情報支援システム. 第41回ファジ・ワークショップ, 2015.06.06.
- 3) 澤田有希, 橋本美芽: 住環境整備に関する文献レビュー記録用紙の適用拡大に向けて—. 2015.06.06.
- 4) 澤田有希, 橋本美芽: 事例報告からみる住環境整備の目的と効果. 日本福祉のまちづくり学会全国大会, 2015.08.08.

競争的資金等の研究課題

- 1) 橋本美芽: 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金「認知症高齢者を対象とした住環境整備の支援手法と整備項目に関する研究」, 2015.04-2018.03.

社会貢献活動

- 1) 橋本美芽: はじめての住宅改修. 10, 2015.10.

論文

- 1) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加, 小林法一: コメディカル学生の高齢者に対する態度尺度の作成と信頼性・妥当性の検討. 老年社会科学, 37(1):3-16, 2015.04.
- 2) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 保健医療系学生を対象とした「障害者に対する態度尺度日本版」の作成—ラッシュモデルを用いた信頼性・妥当性の検討—. 作業療法, 34(6):630-641, 2015.12.
- 3) 宮本礼子, 川又寛徳: 「作業療法学生の臨床実習適応能力の自己評価尺度」の信頼性・妥当性の検討. 日本作業療法研究学会誌, 18(2):9-17, 2016.03.

講演・口頭発表等

- 1) 石川哲也, 横井安芸, 宮本礼子, 林 純子: 用件課題により記憶障害の気づきが得られた事例. 第49回日本作業療法学会, 2015.06.
- 2) 宮本礼子, 石橋 裕: "Effect of the level of self-esteem on self-reported adjustability related to clinical practice in occupational therapy trainees: Pre- and post- practicum comparison". The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2015.06.22.
- 3) 宮本礼子, 石橋 裕: Associations between pre- to post-practicum changes in self-reported adjustability and self-esteem in occupational therapy trainees. 6th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2015.09.
- 4) 宮本礼子: 知って得する生活のヒント. 荒川徳寿大学講演, 2015.09.25.
- 5) 宮本礼子: 私と家族のための認知症講座. 荒川コミュニカレッジ 2015, 2016.02.25.

競争的資金等の研究課題

- 1) 宮本礼子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「内省能力の変化が意思決定時の脳活動に及ぼす影響」, 2014.04-2017.03.
- 2) 石橋 裕: 首都大学東京 傾斜的研究費(若手奨励経費)「介護予防通所介護利用者に対する生活機能向上グループ活動の効果検証」, 2015.04-2016.03.

社会貢献活動

- 1) 宮本礼子: 作業遂行勉強会東京 監事. 14, 2012.04.01-.
- 2) 宮本礼子: 東京都作業療法士会 学会演題査読委員. 18, 2012.06.10-.
- 3) 宮本礼子: 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員. 18, 2013.02.01-.
- 4) 宮本礼子: 日本保健科学学会誌 査読委員. 18, 2014.12-.
- 5) 宮本礼子: 日本作業療法学会 学会演題査読委員. 18, 2014.12.01-.
- 6) 宮本礼子: 知って得する生活のヒント. 10, 2015.09.25-.

委員歴

- 1) 日本保健科学学会誌 査読委員(2014.12-)
- 2) 日本作業療法士協会 学会演題査読委員(2014.12-)
- 3) 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員(2014.07-)
- 4) 東京都作業療法士会 学会演題査読委員(2012.06-)
- 5) 日本保健科学学会 学会運営委員(2012.04-)
- 6) 作業遂行勉強会東京 監事(2012.04-)

その他

- 1) ADAS-COG-J 認定取得, Japanese Society of Cognitive Neuroscience, 認知神経科学会 ADAS-COG-J 認定試験合格, , 2015.10.

放 射 線 学 科

論文

- 1) Kazumasa Inoue, Hiroshi Tsuruoka, Tan Le van, Masahiro Fukushi: Contribution ratios of natural radionuclides to ambient dose rate in air after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 2015.0.508.
- 2) Kitamura H, Kono Y, Murano T, Hiroi K, Ihara K, Aso T, Inoue K, Fukushi M: Estimation of radioactivity in single-photon emission computed tomography for sentinel lymph node biopsy in a torso phantom study. Nuclear medicine communications, 36(6):646-650, 2015.06.
- 3) Maedera F, Inoue K, Sugino M, Sano R, Furue M, Shimizu H, Tsuruoka H, Le Van T, Fukushi M: NATURAL VARIATION OF AMBIENT DOSE RATE IN THE AIR OF IZU-OSHIMA ISLAND AFTER THE FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER PLANT ACCIDENT. Radiation protection dosimetry, 168(4):561-565, 2015.08.
- 4) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M: Variation of radiocesium concentrations in cedar pollen in the Okutama area since the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Radiation protection dosimetry, 167(1-3):219-222, 2015.11.
- 5) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S: Absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo before the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Radiation protection dosimetry, 167(1-3):231-234, 2015.11.
- 6) Kazumasa Inoue, Hiroshi Tsuruoka, Tan Le Van, Masahiro Fukushi: Contribution ratios of natural radionuclides to ambient dose rate in air after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 307:507-512, 2016.01.01.
- 7) 清水秀雄, 石田和雄, 前寺郁彦, 窪岡 大, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所周辺における空間線量率とモクズガニ甲殻へのセシウム集積との関係性の検討. 医療保健学研究(7):1-6, 2016.03.

著書

- 1) 福士政広: 第1種放射線取扱主任者試験 マスター・ノート. 1, メジカルビュー社, 2015.12.25.
- 2) 福士政広: 第1種放射線取扱主任者試験 重要問題集中トレーニング 2nd. 1, メジカルビュー社, 2015.12.25.

Misc

- 1) 藤田新志, 井上一雅, 福士政広, 梅田 泉, 大貫和信, 藤井博史: 小動物用 SPECT/CT 装置を用いた小動物イメージングにおける至適撮影条件の検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):27-27, 2015.04.30.
- 2) 中澤脩人, 井上一雅, 福士政広, 吉本光喜, 藤井博史: ^{11}C -methionine による BPA 集積量の評価に関する検討〜 ^{18}F -FBPA との比較〜. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):26-27, 2015.04.30.
- 3) 川端一広, 井上一雅, 福士政広, 北村秀秋, 光野 譲, 井原完有, 麻生智彦: PET/CT 撮影時の体位の違いが体幹部の測定値に与える影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):27-27,

2015.04.30.

- 4) 古江麻衣, 井上一雅, 福士政広, 杉野雅人:伊豆大島における空間線量率および土壌中放射能濃度の推移. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):28-28, 2015.04.30.
- 5) 蒲地雄大, 井上一雅, 福士政広, 臺野和広, 今岡達彦, 細木彩夏, 西村まゆみ, 島田義也:ラット乳腺の放射線応答の年齢・LET による違い. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):36-36, 2015.04.30.
- 6) 鈴木優太, 井上一雅, 福士政広:NaI(Tl)シンチレータ厚の違いが SPECT 基本性能に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (127):28-28, 2015.04.30.
- 7) 小原佑介, 田中浩基, 櫻井良憲, 福士政広, 井上一雅, 飯本武志:PHITSを用いた硼素中性子捕捉療法の治療計画における線量評価精度向上に関する検討. アイソトープ・放射線研究発表会要旨集, 52nd:149-, 2015.06.20.
- 8) 窪岡 大, 井上一雅, 坂野康昌, 浜田真行, 清水秀雄, 福士政広:奥多摩地区における福島第一原発事故後のスギ花粉中セシウム量の推移. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:106-106, 2015.07.
- 9) 小原佑介, 田中浩基, 櫻井良憲, 福士政広, 井上一雅, 飯本武志:硼素中性子捕捉療法の治療計画における線量評価精度向上に関する研究. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:98-98, 2015.07.
- 10) 細川翔太, 井上一雅, 村松禎久, 福士政広:粒子反応シミュレータプログラムを用いた FDG-PET 患者の被ばく線量の低減化. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:92-92, 2015.07.
- 11) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線誘発ラット乳がんにおける遺伝子変異の解析. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:84-84, 2015.07.
- 12) 高畠 賢, 臺野和広, 今岡達彦, 小久保年章, 細木彩夏, ショウラー恵, 西村まゆみ, 福士政広, 島田義也:放射線被ばく後の妊娠・出産経験によるラット乳がんのリスク変化. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:38-38, 2015.07.
- 13) 青木沙起, 三本拓也, 小山和也, 遠山尚紀, 津田啓介, 井上一雅, 福士政広:PET-CT 検査におけるCTとPET 画像の位置ずれによる定量性への影響. 日本保健物理学会研究発表会講演要旨集, 48 回:25-25, 2015.07.
- 14) TAKABATAKE Masaru, DAINO Kazuhiro, IMAOKA Tatsuhiko, NISHIMURA Mayumi, FUKUSHI Masahiro, SHIMADA Yoshiya: DNA methylation profiles in radiation-induced and spontaneous rat mammary carcinomas. Annu Rep Natl Inst Radiol Sci, (53):56-57, 2015.08.
- 15) 福士政広:福島第一原発事故と放射線教育. 第9回日本診療放射線学教育学会, 東京、2015.09.02.
- 16) 福士政広, 井上一雅:杉花粉中に含まれる放射性セシウムの推移. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19-19, 2015.09.26.
- 17) 細川翔太, 井上一雅, 福士政広:PET 待機室で受ける被ばく線量の推定. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):39-39, 2015.09.26.
- 18) 福士政広, 井上一雅:PET/CT 画像の位置ズレによる定量性への影響. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19-19, 2015.09.26.
- 19) 前寺郁彦, 井上一雅, 福士政広:東京電力福島第一原子力事故後の伊豆大島の環境放射線の推移.

日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):39-39, 2015.09.26.

- 20) 藤田新志, 大貫和信, 濱道修生, 井上一雅, 梅田 泉, 藤井博史, 福士政広:小動物 SPECT/CT 装置を用いたマウス微小組織イメージングにおける撮像条件の最適化. 核医学, 52(3):303-303, 2015.09.30.
- 21) 津田啓介, 福士政広:ともに伸ばす核医学:各職種の核医学診療への取り組み 医学物理士として. 核医学, 52(3):103-103, 2015.09.30.
- 22) 三本拓也, 小山和也, 小高喜久雄, 吉川京燦, 幡野和男, 福士政広:PET 画像を用いた腫瘍体積描出に関する研究:画像再構成法による PET ボリューム変動の評価. 核医学, 52(3):292-292, 2015.09.30.
- 23) 三本拓也, 小山和也, 小高喜久雄, 吉川京燦, 幡野和男, 福士政広:PET 画像を用いた腫瘍体積描出に関する研究:SUVpeak に基づく新たな計測法の検証. 核医学, 52(3):291-291, 2015.09.30.
- 24) 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 森岡孝満, 西村由希子, 秋本健太, 古河勇樹, 上村博司, 若林敬二, 武藤倫弘, 福士政広, 島田義也:放射線誘発ラット乳腺発がん和肥満のインタラクション. 放射線ワークショップ講演論文集, 1 回:104-105, 2015.10.
- 25) 森山ひとみ, 西村まゆみ, 臺野和広, 森岡孝満, 今岡達彦, 高畠 賢, 井上一雅, 福士政広, 島田義也:ラット乳がんモデルにおけるがん関連候補遺伝子の発現解析. 放射線ワークショップ講演論文集, 1 回:64-65, 2015.10.
- 26) 蒲地雄大, 井上一雅, 福士政広, 臺野和広, 今岡達彦, 細木彩夏, 西村まゆみ, 島田義也:ラット乳腺の放射線応答の年齢・LET による違い. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):72-, 2015.10.20.
- 27) 中澤脩人, 井上一雅, 福士政広, 吉本光喜, 藤井博史: ^{11}C -methionine による BPA 集積量の評価に関する検討— ^{18}F -FBPA との比較—. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):48-48, 2015.10.20.
- 28) 鈴木優太, 井上一雅, 福士政広:NaI(Tl)シンチレータ厚の違いが SPECT 基本性能に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):51-51, 2015.10.20.
- 29) 古江麻衣, 井上一雅, 福士政広, 杉野雅人:伊豆大島における空間線量率および土壤中放射能濃度. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):52-52, 2015.10.20.
- 30) 藤田新志, 井上一雅, 福士政広, 大貫和信, 梅田 泉, 藤井博史:小動物用 SPECT/CT 装置を用いた小動物イメージングにおける至適撮像条件の検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):50-50, 2015.10.20.
- 31) 川端一広, 井上一雅, 福士政広, 北村秀秋, 光野 譲, 伊原完有, 麻生智彦:PET/CT 撮影時の体位の違いが体幹部の測定値に与える影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):49-49, 2015.10.20.
- 32) 北島祥樹, 林 由歌, 細沼宏安, 福士政広, 加藤 洋:遮へい計算および漏えい線量測定に対する考察. 病院設備, 57(6):169-169, 2015.11.01.
- 33) 細川翔太, 井上一雅, 加納大輔, 村松禎久, 中神佳宏, 楠本昌彦, 福士政広:FDG-PET/CT における散乱フラクションの推定. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:155-155, 2016.02.
- 34) 唐澤久美子, 福士政広, 山田章吾:医学物理士の育成(特集 放射線教育と関連分野の人材育成の現状と課題:若年層教育から専門家の育成まで). 放射線 = Ionizing radiation, 41(2):97-99, 2016.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 福士政広:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「生物試料と深度分布測定を用いた河川の放射性セシウムの環境影響と人体影響の調査」, 2015-2017.

受賞

- 1) 福士政広: 第 48 回日本保健物理学会研究発表会 ポスター賞, 2015.07.

委員歴

- 1) 国際協力機構技術専門委員
- 2) 日本保健科学学会 理事
- 3) 一般財団法人 医学物理士認定機構 理事
- 4) 日本核医学専門技師認定機構 専門委員
- 5) 放射線防護連絡協議会 幹事 企画委員
- 6) 日本エステティック振興協議会 運営委員
- 7) 日本診療放射線学教育学会 会長(2006-)
- 8) 一般財団法人 日本医学物理士会 代表理事(2011.04-)
- 9) 特定 NPO 日本エステティック機構 理事長(2011.06-)

論文

- 1) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹:簡易形測定器システムの開発と東京都島しょ保健所における診断用X線装置の日常管理. 日本保健科学学会雑誌, 18(2):96-104, 2015.09.
- 2) 齋藤祐樹, 安部真治, 小倉 泉, 小林 剛, 土田拓治, 根岸 徹:診断用X線装置のWebアプリケーションを用いた品質管理プログラムの開発. 日本保健科学学会雑誌, 18(4):223-230, 2016.03.

著書

- 1) 青柳泰司, 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹, 沼野智一:改訂新版 放射線機器学(?)—診断画像機器—. 2, 1.総論, 2.X線発生装置, (株)コロナ社, 2015.11.

講演・口頭発表等

- 1) 安部真治, 小倉 泉:都立病院と連携した新しいX線装置日常管理システムの構築. 日本放射線技術学会第69回東京支部春期学術大会, 2015.05.16.
- 2) 川島美幸, 安部真治, 小倉 泉, 浜野美月, 山崎綾乃, 能野裕菜, 根岸 徹:乳房用簡易形線量計の開発. 日本放射線技術学会第69回東京支部春期学術大会, 2015.05.16.
- 3) 上部星雄, 瀬名波慎, 小倉 泉, 安部真治:日常管理用簡易形線量計の管電圧特性改善に関する検討. 日本放射線技術学会第69回東京支部春期学術大会, 2015.05.16.
- 4) 能野裕菜, 安部真治, 小倉 泉, 浜野美月, 川島美幸, 山崎綾乃:X線装置の品質管理データを用いた被ばく線量評価の検討. 日本放射線技術学会第69回東京支部春期学術大会, 2015.05.16.
- 5) 浜野美月, 安部真治, 小倉 泉, 能野裕菜, 川島美幸, 山崎綾乃, 根岸 徹, 齋藤祐樹:簡易形線量計の測定範囲拡大に関する検討. 日本放射線技術学会第69回東京支部春期学術大会, 2015.05.16.
- 6) 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹, 齋藤祐樹:日常管理用簡易形線量計の検討. 日本放射線技術学会第42回秋季学術大会, 2015.10.09.
- 7) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹:血管撮影用X線装置の日常点検を目的とした簡易形線量計の検討. 日本放射線技術学会第42回秋季学術大会, 2015.10.09.
- 8) 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹, 齋藤祐樹:臨床施設におけるX線装置日常管理システムの検討. 日本放射線技術学会第42回秋季学術大会, 2015.10.09.
- 9) 小倉 泉, 安部真治, 上部星雄, 川島美幸, 根岸 徹, 齋藤祐樹:乳房用簡易形線量計における管電圧補正と日常管理への適用. 日本放射線技術学会第34回東京支部秋期学術大会, 2015.11.28.
- 10) 瀬名波慎, 上部星雄, 小倉 泉, 安部真治:簡易形線量計における管電圧補正の精度に関する検討. 日本放射線技術学会第34回東京支部秋期学術大会, 2015.11.28.

競争的資金等の研究課題

- 1) 小倉 泉:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「マルチスライス形ヘリカル X 線 CT 装置の教育用模擬システムの開発と学生実験への導入」, 2015.04-2018.03.

受賞

- 1) 小倉 泉, 山口達也, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝:日本保健科学学会 第7回日本保健科学学会優秀賞「ライン型レーザーを用いたヘリカル CT 装置の教育用模擬システムの構築」, 2015.09.

論文

- 1) Sekimoto M, Kato Y: Coloring Characteristic of Lead Glass for X-Ray Irradiation. New J Glass and Ceramics, 5:25-30, 2015.06.
- 2) Sekimoto M, Kato Y, Kato T: Calibration coefficients of dosimeters used in mammography for various target/filter combinations. Journal of applied clinical medical physics / J Appl Clinical Medical Physics, 16(6):401-410, 2015.11.

Misc

- 1) 梁野伸貴, 庄司友和, 飯嶋 恵, 栗山 和, 後藤里加, 柴田公望, 加藤 洋: 自作体幹部ファントムを用いた国内診断参考レベル値から求まる画像の検証. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):920-921, 2015.09.20.
- 2) 栗山 和, 庄司友和, 梁野伸貴, 飯嶋 恵, 後藤里加, 柴田公望, 加藤 洋: 自作体幹部ファントムを用いた自動露出機構動作時の size specific dose estimate の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):921-, 2015.09.20.
- 3) 飯嶋 恵, 庄司友和, 栗山 和, 後藤里加, 梁野伸貴, 柴田公望, 加藤 洋: 自作体幹部ファントムを用いた小児腹部 CT 検査における逐次近似応用再構成を使用した線量低減係数表の作成. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):920-, 2015.0.920.
- 4) 後藤里加, 庄司友和, 柴田公望, 飯嶋 恵, 栗山 和, 梁野伸貴, 加藤 洋: 逐次近似応用再構成画像に対するテンプレートマッチング手法を用いた画像評価法の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):819-, 2015.09.20.
- 5) 北島祥樹, 林 由歌, 細沼宏安, 福士政広, 加藤 洋: 遮へい計算および漏えい線量測定に対する考察. 病院設備, 57(6):169-, 2015.11.01.
- 6) 関本道治, 加藤 洋: 診断用 X 線装置の総ろ過厚の導出. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:206-207, 2016.
- 7) 岩久貴裕, 庄司友和, 関本道治, 加藤 洋: X 線 CT 装置の半価層測定. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd():172-, 2016.
- 8) 加藤 洋: 線量評価法における課題. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:87-88, 2016.
- 9) 新井田拓也, 関本道治, 澤田歩海, 加藤 洋: 湖沼底部堆積土壌中の放射性 Cs の垂直濃度分布. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:208-, 2016.
- 10) 鈴木聡真, 関本道治, 加藤 洋: 放射線防護材の光子減弱比決定における MC シミュレーションの適用. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:283-284, 2016.
- 11) 加藤 洋: 『不確かさ』入門. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72nd:108-, 2016.

競争的資金等の研究課題

- 1) 中生勝美:文部科学省 科学研究費補助金(基板研究 C)「台湾南部の津波とセーフティネットの基礎研究」, 2014-2016.

委員歴

- 1) 日本放射線技術学会 学術委員会(2015.05-)
- 2) 厚生労働省 診療放射線技師国家試験委員(2015.09-)

講演・口頭発表等

- 1) YAMAUCHI Ryohei, SAITOH Hidetoshi: Study on stem and cable leakage of ionization chamber. 第109回日本医学物理学会学術大会, 2015.04.
- 2) CHIBA Takahito, MYOJOYAMA Atsushi, SAITOH Hidetoshi: Photon Transport Simulation Using The Numerical Analysis Method of Lattice Boltzmann Equation. 第109回日本医学物理学会学術大会, 2015.04.
- 3) IGARI Mitsunobu, SAITOH Hidetoshi: Changes in absorbed dose to water evaluation caused by shift from JSMP01 to JSMP12. 第109回日本医学物理学会学術大会, 2015.04.
- 4) CHANG Weishan, SHINSHO Kiyomitsu, SAITOH Hidetoshi: A correction method for absorbed dose estimation using TEP-TLSD/SR1 in therapeutic carbon beam. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2015.06.
- 5) HARIU Masatsugu, MYOJOYAMA Atsushi, SAITOH Hidetoshi: Improvement of MV planner image by elimination of Compton scatter photons and re-projection as primary photons. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2015.06.
- 6) SAITOH Hidetoshi: Changes in absorbed dose to water caused by dose standard shift for ionization chamber calibration in Japan. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2015.06.
- 7) 笠井裕也, 齋藤秀敏: 画質向上を目的とした EPID 入射光子のエネルギー特性に関する研究. 第110回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 8) 菅原 崇, 齋藤秀敏: A study on energy spectrum and energy characteristics of Si-detector in small field. 第110回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 9) 千葉貴仁, 明上山温, 齋藤秀敏: 格子ボルツマン方程式の数値解析法により算出した線量分布の検証. 第110回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 10) 阿部直也, 齋藤秀敏, 明上山温: ONCOR における MVCBCT の画質改善. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 11) 千葉貴仁, 齋藤秀敏, 明上山温: 格子ボルツマン方程式の数値解析法による光子輸送の精度検証. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.

競争的資金等の研究課題

- 1) 齋藤秀敏: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「リニアック X 線による新たな電離箱線量計校正法と水吸収線量計測に関する研究」, 2014.04-2017.03.

論文

- 1) Inoue K, Tsuruoka H, Le Van Tan, Fukushi M: Contribution ratios of natural radionuclides to ambient dose rate in air after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 307(1): 507-512, 2015.05.
- 2) Kitamura H, Kono Y, Murano T, Hiroi K, Ihara K, Aso T, Inoue K, Fukushi M: Estimation of radioactivity in single-photon emission computed tomography for sentinel lymph node biopsy in a torso phantom study. Nuclear Medicine Communications, 36(6): 646-650, 2015.06.
- 3) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S: Absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo before the Fukushima Daiichi Nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry, 167(1-3): 231-234, 2015.11.
- 4) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M: Variation of radiocesium concentrations in cedar pollen in the Okutama area since the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry, 167(1-3): 219-222, 2015.11.
- 5) Inoue K, Fukushi M: Current status of absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo due to radionuclide deposition in asphalt pavements after the Fukushima nuclear power plant accident. Geoinformatics and Geostatistics: An Overview, 4(3), 2016.
- 6) Hosoda M, Inoue K, Oka M, Omori Y, Iwaoka K, Tokonami S: Environmental radiation monitoring and external dose estimation in Aomori Prefecture after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Japanese Journal of Health Physics, 51(1): 41-50, 2016.03.
- 7) 細田正洋, 井上一雅, 岡光昭, 大森康孝, 岩岡和輝, 床次眞司: 走行サーベイによる環境放射線レベルの評価 —青森県全域における調査概要—. 保健物理, 51(1): 27-40, 2016.03.
- 8) Maedera F, Inoue K, Sugino M, Sano R, Furue M, Shimizu H, Tsuruoka H, Le Van T, Fukushi M: Natural Variation of Ambient Dose Rate in Air of Izu-Oshima Island After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Radiation Protection Dosimetry, 168(4): 561-565, 2016.03.
- 9) 清水秀雄, 石田和雄, 前寺郁彦, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所周辺における空間線量率とモクズガニ甲殻へのセシウム集積との関係性の検討. 医療保健学研究(7): 1-6, 2016.03.

著書

- 1) 井上一雅: 新・医用放射線技術実験—臨床編— 第3版. 共立出版, 2016.02.24.

Misc

- 1) 中澤脩人, 井上一雅, 福士政広, 吉本光喜, 藤井博史: ^{11}C -methionine による BPA 集積量の評価に関する検討 ^{18}F -FBPA との比較. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127): 26-27, 2015.04.

- 2) 川端一広, 井上一雅, 福士政広, 北村秀秋, 光野 謙, 井原完有, 麻生智彦: PET/CT 撮影時の体位の違いが体幹部の測定値に与える影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127):27, 2015.04.
- 3) 藤田新志, 井上一雅, 福士政広, 梅田 泉, 大貫和信, 藤井博史: 小動物用 SPECT/CT 装置を用いた小動物イメージングにおける至適撮像条件の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127):27, 2015.04.
- 4) 鈴木優太, 井上一雅, 福士政広: NaI(Tl)シンチレータ厚の違いが SPECT 基本性能に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127):28, 2015.04.
- 5) 古江麻衣, 井上一雅, 福士政広, 杉野雅人: 伊豆大島における空間線量率および土壤中放射能濃度の推移. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127):28, 2015.04.
- 6) 蒲地雄大, 井上一雅, 福士政広, 臺野和広, 今岡達彦, 細木彩夏, 西村まゆみ, 島田義也: ラット乳腺の放射線応答の年齢・LET による違い. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (127):36, 2015.04.
- 7) 青木沙紀, 三本拓也, 小山和也, 小坂徹, 青山里愛, 遠山尚紀, 小高喜久雄, 津田啓介, 井上一雅, 福士政広: PET-CT 検査における CT と PET 画像の位置ずれによる定量性への影響. 日本保健物理学会第 48 回研究発表会:25, 2015.07.
- 8) 細川翔太, 井上一雅, 村松禎久, 福士政広: 粒子反応シミュレータプログラムを用いた FDG-PET 患者の被ばく線量の低減化. 日本保健物理学会第 48 回研究発表会:92, 2015.07.
- 9) 霍岡 大, 福士政広, 井上一雅, 坂野康昌, 濱田行正: 奥多摩地区における福島第一原発事故後のスギ花粉中セシウム量の推移. 日本保健物理学会第 48 回研究発表会:106, 2015.07.
- 10) 杉野雅人, 箕輪良太郎, 古江麻衣, 井上一雅, 福士政広: 伊豆大島における環境放射線とその特徴. 日本保健物理学会第 48 回研究発表会, 2015.07.
- 11) 小原祐介, 田中浩基, 櫻井良憲, 福士政広, 井上一雅, 飯本武志: ホウ素中性子捕捉療法治療計画における線量評価精度向上に関する課題. 日本保健物理学会第 48 回研究発表会, 2015.07.
- 12) 小原佑介, 田中浩基, 櫻井良憲, 福士政広, 井上一雅, 飯本武志: PHITS を用いた硼素中性子捕捉療法の治療計画における線量評価精度向上に関する検討. アイノープ放射線研究発表会, 2015.07.
- 13) 福士政広, 井上一雅: 杉花粉中に含まれる放射性セシウムの推移. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19, 2015.09.
- 14) 福士政広, 井上一雅: PET/CT 画像の位置ズレによる定量性への影響. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19, 2015.09.
- 15) 細川翔太, 井上一雅, 福士政広: PET 待機室で受ける被ばく線量の推定. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):39, 2015.09.
- 16) 前寺郁彦, 井上一雅, 福士政広: 東京電力福島第一原子力事故後の伊豆大島の環境放射線の推移. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):39, 2015.09.
- 17) 藤田新志, 大貫和信, 濱道修生, 井上一雅, 梅田 泉, 藤井博史, 福士政広: 小動物 SPECT/CT 装置を用いたマウス微小組織イメージングにおける撮像条件の最適化. 核医学, 52(3):303, 2015.09.
- 18) 福士政広, 井上一雅: 杉花粉中に含まれる放射性セシウムの推移. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19, 2015.09.
- 19) 福士政広, 井上一雅: PET/CT 画像の位置ズレによる定量性への影響. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl.):19, 2015.09.

- 20) 細川翔太, 井上一雅, 福士政広: PET 待機室で受ける被ばく線量の推定. 日本保健科学学会誌, 18 (Suppl.):39, 2015.09.
- 21) 中澤脩人, 井上一雅, 福士政広, 吉本光喜, 藤井博史: ^{11}C -methionine による BPA 集積量の評価に関する検討 ^{18}F -FBPA との比較. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):48, 2015.10.
- 22) 川端一広, 井上一雅, 福士政広, 北村秀秋, 光野 謙, 伊原完有, 麻生智彦: PET/CT 撮影時の体位の違いが体幹部の測定値に与える影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):49, 2015.10.
- 23) 藤田新志, 井上一雅, 福士政広, 大貫和信, 梅田 泉, 藤井博史: 小動物用 SPECT/CT 装置を用いた小動物イメージングにおける至適撮像条件の検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):50, 2015.10.
- 24) 鈴木優太, 井上一雅, 福士政広: NaI(Tl)シンチレータ厚の違いが SPECT 基本性能に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):51, 2015.10.
- 25) 古江麻衣, 井上一雅, 福士政広, 杉野雅人: 伊豆大島における空間線量率および土壤中放射能濃度. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):52, 2015.10.
- 26) 蒲地雄大, 井上一雅, 福士政広, 臺野和広, 今岡達彦, 細木彩夏, 西村まゆみ, 島田義也: ラット乳腺の放射線応答の年齢・LET による違い. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (128):72, 2015.10.
- 27) 森山ひとみ, 西村まゆみ, 臺野和広, 森岡孝満, 今岡達彦, 高畠 賢, 井上一雅, 福士政広, 島田義也: ラット乳がんモデルにおけるがん関連候補遺伝子の発現解析. 第 1 回放射線ワークショップ講演論文集:64-65, 2015.10.
- 28) 蒲地雄大, 臺野和広, 今岡達彦, 西村まゆみ, 細木彩夏, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 島田義也: ラット乳腺における放射線応答の思春期前後と LET による違い. 第 1 回放射線ワークショップ講演論文集:102-103, 2015.10.
- 29) 細川翔太, 井上一雅, 加納大輔, 村松禎久, 中神佳宏, 楠本昌彦, 福士政広: FDG-PET/CT における散乱フラクションの推定. 第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集:155, 2016.02.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上一雅: 文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「複合分子イメージングを駆使したセンチネルリンパ節同定検査の確立」, 2014.04-2017.03.

受賞

- 1) 井上一雅: 第 48 回日本保健物理学会研究発表会 ポスター賞, 2015.07.

その他

- 1) 井上一雅, 共同研究 埼玉県内およびその周辺地域の線量測定 日本医療科学大学, 2015.10-2016.03.
- 2) 井上一雅, 社会貢献日本保健物理学会編集委員会幹事補佐
- 3) 井上一雅, 社会貢献原子力規格委員会放射線管理分科会委員

著書

- 1) 大谷浩樹:第1種放射線取扱主任者試験 重要問題集中とレーニング 2nd edition. 2, 2015.12.

Misc

- 1) 大谷浩樹:原子力災害と向き合う. 農林漁業協同組合の復興への取り組み記録～東日本大震災アーカイブ(現在進行形)～, 2015.06.
- 2) 大谷浩樹:「放射線の授業」出前いたします. . NL だより, 2016.02.

講演・口頭発表等

- 1) 大谷浩樹:Evaluation of a non-permeating shield stone to the radioactive material spread in environment.. ICRR, 2015.05.
- 2) 大谷浩樹:物理学. 放射線取扱主任者セミナー, 2015.06.
- 3) 大谷浩樹:放射線関係法規・勧告. 医学物理士ミニマム講習会, 2015.06.
- 4) 大谷浩樹:Bremsstrahlung generating and shielding by the source of a beta ray. WC2015, 2015.06.
- 5) 大谷浩樹:授業に役立つ放射線の基礎知識. 教員を対象とした「エネルギー・環境教育セミナー」, 2015.07.
- 6) 大谷浩樹:環境汚染物質の飛散を防ぐ遮蔽石および遮蔽アスファルトの有用性. 環境放射能除染研究発表会, 2015.07.
- 7) 大谷浩樹:放射能コミュニケーター育成講座の試行. 日本保健物理学会第48回研究発表会, 2015.07.
- 8) 大谷浩樹:What should Radiological Technologist do for IPE in Japan?. , 2015.08.
- 9) 大谷浩樹:Radiological technologist needs “Cooperation and Collaboration” for IPE. 20th Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists, 2015.08.
- 10) 大谷浩樹:Violence Prevention Training for Radiological Student.. 20th Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists, 2015.08.
- 11) 大谷浩樹:フルボ酸を用いた汚染土壌を除染する基礎的研究. 第25回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.
- 12) 大谷浩樹:Fundamental research to decontaminate contaminated soil using fulvic acid.. AOCMP, 2015.11.

社会貢献活動

- 1) 大谷浩樹:「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」の改訂に関する検討委員会 . 14, 2015.04-2016.03.

論文

- 1) Ikuo Kanno, Yoshiki Yamashita, Eri Kanai, Tsuyoshi Ogawa, Kiyomitsu Shinsho: Two-dimensional “transXend” detector for third-generation energy-resolved computed tomography. Journal of Nuclear Science and Technology, 2015.04.01.

Misc

- 1) 眞正浄光:「熱蛍光線量計の歴史と未来」. FB News, (464):11-15, 2015.08.01.
- 2) 鷺尾知也, 向井崇一郎, 吉中悠二, 若林源一郎, 納富昭弘, 眞正浄光, 古場裕介: 重粒子線治療場における CsI シンチレータの放射化を用いた中性子測定. 日本原子力学会秋の大会予稿集(CD-ROM), 2015:ROMBUNNO.P29-, 2015.08.21.
- 3) 相澤若奈, 眞正浄光, 斎藤雄介, 古場裕介, 若林源一郎, 納富昭弘: 中性子線及び γ 線混在場での $\text{CaSO}_4:\text{Tm}, ^6\text{Li}$ と $\text{CaSO}_4:\text{Tm}, ^7\text{Li}$ の熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 76th:ROMBUNNO.15A-2W-9-, 2015.08.31.
- 4) 角田瑞季, 眞正浄光, 古場裕介, CHANG Weishan, CHANG Weishan, 松本和樹, 牛場洋明, 安藤隆之: Cr_2O_3 添加 Al_2O_3 セラミックス板の熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 76th:ROMBUNNO.13P-PA7-41-, 2015.08.31.
- 5) 納富昭弘, 若林源一郎, 古場裕介, 眞正浄光: 自己放射化した CsI からのシンチレーション光の CCD 読み出し. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 76th:ROMBUNNO.15A-2W-13-, 2015.08.31.
- 6) 佐々木大地, 眞正浄光, 古場裕介, CHANG Weishan, CHANG Weishan, 若林源一郎, 小山千絵, 松本和樹, 牛場洋明: Al_2O_3 セラミックス板の He 線, C 線, Ne 線に対する熱蛍光特性とその応用. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 76th:ROMBUNNO.13P-PA7-48-, 2015.08.31.
- 7) 柳澤 伸, 眞正浄光, 古場裕介, 宮島悟史, 松本和樹, 牛場洋明: Al_2O_3 セラミックス TL スラブを用いた PDD 測定におけるスラブ傾斜角度の最適化. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl):36-, 2015.09.26.

講演・口頭発表等

- 1) Shin Yanagisawa, Kiyomitsu Shinsho, Keisuke Otubo, Yusuke Koba, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba: Examination of two-dimensional dose distribution measurement with Al_2O_3 ceramics slab in water. 第 109 回日本医学物理学会学術大会, 2015.04.
- 2) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Chie Koyama, Shin Yanagisawa, Wakabayashi Genichiro, Shigekazu Fukuda: Glow Curve Analysis of commercial Al_2O_3 ceramics plate (Kyocera corp., A476) to Charged Particle Beam. 15th International Congress of Radiation Research, 2015.05.
- 3) Weishan Chang, Yusuke Koba, Genjiro Wakabayashi, Shigekazu Fukuda, Hidetoshi Saitoh, Kiyomitsu Shinsho: A correction method for absorbed dose estimation using TEP-TLSD/SR1 in therapeutic carbon beam. 2015 World Congress on medical

physics and biomedical engineering, 2015.06.

- 4) 栗原凌介, 木下博之, 本田宗一郎, 納富昭弘, 若林源一郎, 古場裕介, 真正浄光: 中性子照射により自己放射化した CsI のシンチレーション光の CCD 読み出し. 第 27 回放射線夏の学校, 2015.08.
- 5) 齋藤雄介, 真正浄光, 若林源一郎, 古場裕介, 安藤隆之: Cr 添加アルミナセラミックス TL スラブの α 線に対する熱蛍光特性. 第 27 回放射線夏の学校, 2015.08.
- 6) 柳澤 伸, 真正浄光, 古場裕介, 松本和樹, 牛場洋明, 宮島悟史: モンテカルロ計算を用いた Al_2O_3 セラミックス TL スラブによる線量分布測定における X 線照射角度の検討. 第 27 回放射線夏の学校, 2015.08.
- 7) 真正浄光: 熱蛍光線量計の今～医療現場での実情と研究～. 第 27 回放射線夏の学校, 2015.08.
- 8) 鷺尾知也, 向井崇一郎, 吉中悠二, 若林源一郎, 納富昭弘, 真正浄光, 古場裕介: 重粒子線治療場における CsI シンチレータの放射化を用いた中性子測定. 日本原子力学会秋の大会予稿集(CD-ROM), 2015.08.21.
- 9) 佐々木大地, 真正浄光, 古場裕介, CHANG Weishan, CHANG Weishan, 若林源一郎, 小山千絵, 松本和樹, 牛場洋明: Al_2O_3 セラミックス板の He 線, C 線, Ne 線に対する熱蛍光特性とその応用. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 2015.08.31.
- 10) 納富昭弘, 若林源一郎, 古場裕介, 真正浄光: 自己放射化した CsI からのシンチレーション光の CCD 読み出し. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 2015.08.31.
- 11) 角田瑞季, 真正浄光, 古場裕介, CHANG Weishan, CHANG Weishan, 松本和樹, 牛場洋明, 安藤隆之: Cr_2O_3 添加 Al_2O_3 セラミックス板の熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 2015.08.31.
- 12) 相澤若奈, 真正浄光, 齋藤雄介, 古場裕介, 若林源一郎, 納富昭弘: 中性子線及び γ 線混在場での $\text{CaSO}_4:\text{Mn}, ^6\text{Li}$ と $\text{CaSO}_4:\text{Mn}, ^7\text{Li}$ の熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 2015.08.31.
- 13) 真正浄光: 線量計材料に依存しない新しい吸収線量の解析技術. JST 新技術説明会, 2015.09.
- 14) Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho: CCD readout of scintillation from a self-activated CsI after the irradiation of neutron. 第 110 回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 15) 鷺尾知也, 若林源一郎, 納富昭弘, 真正浄光, 古場裕介: 重粒子線治療場における CsI シンチレータの放射化を用いた中性子測定. 日本原子力学会 2015 年秋の大会, 2015.09.
- 16) Shin Yanagisawa, Kiyomitsu Shinsho, Yusuke Koba, Satoshi Miyajima, Kazuki Matsumoto and Hiroaki Ushiba: Theoretical study of measurement of PDD and OAR by Al_2O_3 ceramics TL slab. 第 110 回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 17) Shotaro Yamamoto, Kiyomitsu Shinsho, Yusuke Koba: The half-value layer measurement using thermoluminescent property of the Al_2O_3 ceramics. 第 110 回日本医学物理学会学術大会, 2015.09.
- 18) 真正浄光: 熱蛍光線量計による新しい線量算法. 第 9 回次世代先端光科学研究会, 2015.09.24.
- 19) 柳澤 伸, 真正浄光, 古場裕介, 宮島悟史, 松本和樹, 牛場洋明: Al_2O_3 セラミックス TL スラブを用いた PDD 測定におけるスラブ傾斜角度の最適化. 日本保健科学学会誌, 2015.09.26.
- 20) 宇野平太, 納富昭弘, 木下博之, 栗原凌佑, 本田宗一郎, 中村泰彦, 梅津芳幸, 福永淳一, 大賀才路, 若林源一郎, 真正浄光: 中性子照射により自己放射化した CsI の発光強度の CCD 読み出し(2)～治療用ライナックでの測定～. 第 10 回 九州放射線医療技術学術大会, 2015.10.

- 21) 徳永将瑛, 栗原凌佑, 木下博之, 本田宗一郎, 納富昭弘, 若林源一郎, 古場祐介, 真正浄光: 中性子照射により自己放射化した CsI の発光強度の CCD 読み出し(1)～RI 中性子源を用いた測定～. 第 10 回 九州放射線医療技術学術大会, 2015.10.
- 22) M. Koshimizu, T. Yanagida, K. Shinsho, Y. Fujimoto, H. Yagi, T. Yanagitani, K. Asai: Thermoluminescence properties of YAG:Ce after X-ray or UV irradiation. The 3rd International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors DFW 2015, 2015.11.
- 23) Kiyomitsu Shinsho, Keisuke Otsubo, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi: A new dosimetry technique using TL phosphor BeO:Na. The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015, 2015.12.
- 24) Shin Yanagisawa, Kiyomitsu Shinsho, Yusuke Koba, Mizuki Kakuta, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andoh: Evaluation of the usefulness of large-area 2D thermoluminescence slab dosimeter based on Al₂O₃ ceramics in radiation therapy. The 11th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, Dec. 2015, 2015.12.
- 25) Weishan Chang, Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho: Relationship between LET and TL efficiency of Al₂O₃ ceramics in SOBP carbon beam. The 11th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, Dec. 2015, 2015.12.
- 26) SHINSHO Kiyomitsu: Analysis of thermoluminescence data and future uses. The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015, 2015.12.

競争的資金等の研究課題

- 1) 真正浄光: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「板状熱蛍光線量計による新しい中性子オートラジオグラフィ法の開発」, 2013-2016.

受賞

- 1) 山本祥太郎, 真正浄光, 古場裕介: 日本医学物理学会 第 110 回日本医学物理学会学術大会 優秀研究賞「Al₂O₃ セラミックス板の熱蛍光特性を利用した半価層測定」, 2016.

特許

- 1) 漆山秋雄, 堀川裕明, 真正浄光: 特許第 5756950 号, 2015.06.12 特開 2012-052072, 2012.03.15 特願 2010-197878, 2010.09.03 「熱蛍光板状体、熱蛍光積層体、熱蛍光板状体の製造方法、及び熱蛍光積層体の製造方法」学校法人立教学院, 公立大学法人首都大学東京.
- 2) 真正浄光: 特開 2015-160943, 2015.09.07 特願 2014-038797, 2014.02.28 「熱蛍光体、及び熱蛍光放射線検出デバイス」公立大学法人首都大学東京, 株式会社千代田テクノ.
- 3) 真正浄光, 大坪圭介: 特開 2016-145826, 2016.08.12 特願 2016-017991, 2016.02.02 「吸収線量の解析方法」公立大学法人首都大学東京.

講演・口頭発表等

- 1) 関根紀夫, 森 浩一, 大久保知幸, 小原弘道, 加保亮介: 放射光 X 線を用いた位相コントラスト法による肝動脈の描写, 日本保健科学学会誌 18 巻 Suppl. Page37, 2015.09.
- 2) 森 浩一, 大久保知幸, 関根紀夫, 小原弘道: 放射光 X 線を用いた位相コントラスト法による豚肝臓血管の観察, 日本放射線技術学会雑誌, 71 巻 9 号 Page889, 2015.09.
- 3) 名川友紀子, 畑 純一, 矢野竜太郎, 関布美子, 小牧裕司, 八木一夫, 関根紀夫: 透明化による脳組織変性の評価, 第 43 回日本磁気共鳴医学会大会, P-3-023, 2015.09.

競争的資金等の研究課題

- 1) 関根紀夫: 高エネルギー加速器研究機構放射光共同利用実験採択, 課題番号 2016G039「臓器再生医療を目指した X 線位相コントラスト画像法の開発」(実験責任者)

論文

- 1) Hara T, Abo M, Kobayashi K, Watanabe M, Kakuda W, Senoo A: Effects of low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation combined with intensive speech therapy on cerebral blood flow in post-stroke aphasia.. Translation Stroke Reserch., 6(5):365-374, 2015.10.
- 2) Ueda R, Yamada N, Kakuda W, Abo M, Senoo A: White matter structure and clinical characteristics of stroke patients: A diffusion tensor MRI study.. Brain research, 1635():61-70, 2016.03.

Misc

- 1) 櫻井瑞紀, 松田雅弘, 妹尾淳史, 新田 収: 持続的な外腹斜筋等尺性収縮時の筋疲労解析—表面筋電図による平均周波数と MRIT2 強調像による T2 値からの検討—. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl): 23-23, 2015.09.
- 2) 若山季樹, 井田正博, 村田勝俊, 斉藤健二, 植田貴司, 妹尾淳史, 山下 明: Quantitative susceptibility mapping: Susceptibility tensor imaging プログラムによる多発性硬化症例の解析. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):933-933, 2015.09.
- 3) 古河勇樹, 吉田学誉, 妹尾淳史, 河内伸夫: Aerial spin labeling における脳血流 color map の基礎的検討. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):960-961, 2015.09.
- 4) 古河勇樹, 吉田学誉, 湯田恒平, 米山正己, 妹尾淳史, 河内伸夫: Multi Stack CINEMA-STAR と 3D-Time of flight における頭部血管描出の比較検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():433-433, 2015.09.
- 5) 古河勇樹, 吉田学誉, 米山正己, 河内伸夫, 妹尾淳史: Phase Cycling Balanced-FFE による頸部神経根描出の検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():432-432, 2015.09.
- 6) 若山季樹, 井田正博, 村田勝俊, 斉藤健二, 植田貴司, 堀内 彰, 坂井圭吾, 妹尾淳史, 山下 明: 未分化転化したびまん性星細胞腫症例の APT image. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():425-425, 2015.09.
- 7) 鶴田航平, 鎌形康司, 本井ゆみ子, 堀 正明, 鈴木通真, 下地啓五, 上田 亮, 中澤美咲, 村田 渉, 佐藤秀二, 濱崎 望, 熊谷文孝, 服部信孝, 青木茂樹, 妹尾淳史: グラフ理論を用いたネットワーク解析による Alzheimer's Disease と Dementia with Lewy Bodies の評価. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():392-392, 2015.09.
- 8) 鶴田航平, 立花泰彦, 神谷昂平, 入江隆介, 鎌形康司, 堀 正明, 鈴木通真, 中西 淳, 佐藤秀二, 濱崎 望, 服部信孝, 青木茂樹, 妹尾淳史: 異方性を考慮した拡散尖度画像を推定する手法(eDKI)の臨床応用に関する検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():388-388, 2015.09.
- 9) 村田 渉, 鎌形康司, 波田野琢, 奥住文美, 堀 正明, 鈴木通真, 下地啓五, 濱崎 望, 佐藤秀二, 鶴田航平, 中澤美咲, 上田 亮, 服部信孝, 青木茂樹, 妹尾淳史: NODDI を用いたパーキンソン病にお

ける基底核変性の評価:ドパミントランスポーターSPECT との関連. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():387-387, 2015.09.

- 10) 若山李樹, 井田正博, 村田勝俊, 斉藤健二, 植田貴司, 堀内 彰, 坂井圭吾, 妹尾淳史, 山下 明: Quantitative Susceptibility Mapping: STI Suite による解析. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():183-183, 2015.09.
- 11) 鈴木政司, 妹尾淳史: 拡散MRIファントムの開発 異方性材料としての木材における異方性の検証. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():264-264, 2015.09.
- 12) 上田 亮, 山田尚基, 安保雅博, 妹尾淳史: 脳卒中後患者における白質構造と臨床所見 Diffusion Tensor Imaging を用いた検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():385-385, 2015.09.
- 13) 古河勇樹, 吉田学誉, 湯田恒平, 米山正己, 妹尾淳史, 河内伸夫: Multi Stack CINEMA-STAR と Multi Stack CINEMA-FAIR における頭部末梢血管描出の比較検討. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():365-365, 2015.09.
- 14) 中澤美咲, 萩原彰文, アンディカ クリスティナ, 堀 正, 鶴田航平, 高野 直, 熊谷文孝, 濱崎 望, 佐藤秀二, 川崎英生, 鎌形康司, 吉田茉莉子, 村田 渉, 上田 亮, 青木茂樹, 妹尾淳史: Synthetic MR の使用経験. 第43回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 35():325-325, 2015.09.
- 15) 畠 昌史, 宇佐英幸, 市川和奈, 見供 翔, 小川大輔, 松村将司, 妹尾淳史, 竹井 仁: MRI による腹臥位からの体幹伸展位における脊椎および仙腸関節の可動域の解析. 理学療法学, 42(7):539-546, 2015.12.
- 16) 石橋 裕, 習田明裕, 網本 和, ボンジェ ペイター, 金 寿蓮, 山村 礎, 浅川康吉, 小林隆司, 妹尾淳史, 廣川聖子, 川添美花, 飯村直子, 石井良和, 長内尚子, 大熊右文, 松村一秀, 富澤賢一, 木下正信: 先首都大学東京健康福祉学部における多職種連携教育(IPE)の新たな取組み—急性期・在宅シミュレーションルームの設置—. 保健医療福祉連携, 9(1):55-55, 2016.03.
- 17) 鈴木政司, 守屋 進, 矢崎健一, 小笠真由美, 安部 久, 妹尾淳史: 臨床用 MRI 装置を利用した非破壊的水分分布描出システムの開発: 樹木の組織構造を反映する水拡散運動の解析. 日本木材学会大会研究発表要旨集(完全版)(CD-ROM), 66th():ROMBUNNO.A28-P-17-, 2016.03.03.

競争的資金等の研究課題

- 1) 山田拓実: 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)「膝関節軟骨力学的ストレスと MRI・T2 マッピング早期軟骨変性度の関連性の検討」, 2015.04-2018.03.

Misc

- 1) 乳井嘉之: デジタルトモシンセシスを模擬した教育用補助ツールの作成. 医学物理, 35(3):175-175, 2015.09.
- 2) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光を用いた教育用模擬 CT 装置のアーチファクトの検討. 電気学会基礎・材料・共通部門大会講演論文集(CD-ROM), 2015(): ROMBUNNO.18-F-A2-5-, 2015.09.17.
- 3) 菅山沙紀, 辻さゆり, 乳井嘉之: Processing を用いた数値ファントムと画像再構成プログラムの作成. 日本保健科学学会誌, 18(Suppl):40-, 2015.09.26.

論文

- 1) J Hata, H Nagata, K Endo, Y Komaki, M Sato, T Numano, K Yagi: Assessment of Human Skeletal Muscle Contraction and Force by Diffusion Tensor Imaging. Open Journal of Radiology, 5(4):189-98, 2015.12.

著書

- 1) 沼野智一:改訂新版 放射線機器学(1). 9, 11 章 MRI, 13 章眼底カメラ, コロナ社, 2015.11.

Misc

- 1) 新田尚隆, 三澤雅樹, 白崎芳夫, 林 和彦, 小阪 亮, 兵藤行志, 沼野智一, 本間一弘:再生軟骨の非侵襲評価—マルチモダリティ計測による検討. 超音波医学, 42(3):380-, 2015.05.15.
- 2) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘:再現性のある肩部 MR elastography を実施するための技術開発. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):861-861, 2015.09.
- 3) 沼野智一, 水原和行, 伊東大輝, 大西孝明, 畑 純一, 高本孝一, 西条寿夫:独自 MR elastography システムの特徴と制限・限界点. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):935-935, 2015.09.
- 4) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘:MR elastography における各撮像部位の適切な振動周波数の検証. 日本放射線技術学会雑誌, 71(9):938-938, 2015.09.
- 5) 森谷浩史, 堀江常満, 箱崎元晴, 中川 学, 佐久間光太郎, 村上克彦, 沼野智一:低線量 CT 時のコンピュータ支援検出システムの評価. CT 検診, 23(1):28-28, 2016.02.
- 6) 沼野智一, 大西孝明, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 新田尚隆:汎用 MR Elastography の梨状筋への適用. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:193-193, 2016.02.
- 7) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 新田尚隆:大腰筋 MR Elastography における効率的な大腰筋の加振方法の検証. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:193-193, 2016.02.
- 8) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 三澤雅樹:肩部 MR Elastography に適応した振動パッドの開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:194-194, 2016.02.
- 9) 沼野智一, 金澤崇史, 高済英彰, 清野真也, 伊東大輝, 大西孝明, 水原和行:MR Elastography 用標準ファントムに適応した加振パッドの開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:254-254, 2016.02.
- 10) 沼野智一, 中村寛人:注腸検査用シミュレータの試作. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:324-324, 2016.02.
- 11) 沼野智一, 中村寛人:注腸検査用シミュレータの試作. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 72 回:334-334, 2016.02.

講演・口頭発表等

- 1) 沼野智一, 川畑義彦, 水原和行, 鷲尾利克, 本間一弘, 高本孝一, 西条寿夫: 独自システムによる MR Elastography の実施. 第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2015.04.16.
- 2) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 筋繊維方向が MR Elastography に及ぼす影響. 第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2015.04.16.
- 3) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 振動位相分割数の削減による MRE 撮像時間短縮の検証. 第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2015.04.16.
- 4) 清野真也, 金澤崇史, 沼野智一, 伊東大輝, 大西孝明, 高濱英彰, 石川寛延: 異なるシステムにおける Magnetic Resonance Elastography(MRE)の測定値比較. 第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2015.04.19.
- 5) T Numano, Y Kawabata, K Mizuhara, T Washio, J Hata, K Homma: A retrofit technology for MR Elastography. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 23th Annual Meeting & Exhibition, 2015.06.03.
- 6) 沼野智一, 大西孝明, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 新田尚隆, 三澤雅樹: 梨状筋 MR Elastography に必要な技術の開発. 第 43 回日本磁気共鳴医学会大会, 2015.09.11.
- 7) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 大腰筋 MRE における振動位相分割数の選択. 第 43 回日本磁気共鳴医学会大会, 2015.09.11.
- 8) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 筋繊維が MR Elastography に与える影響. 第 43 回日本磁気共鳴医学会大会, 2015.09.11.
- 9) 沼野智一, 水原和行, 川畑義彦, 畑 純一, 鷲尾利克, 伊東大輝, 大西孝明: 汎用 MR Elastography システムの開発と生体応用. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 10) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫: 肩部 MR Elastography の技術開発. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 11) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 大腰筋 MRE の再現性を高めるためのパラメータ検証. 第 25 回日本保健科学学会学術集会, 2015.09.26.
- 12) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 再現性のある肩部 MR elastography を実施するための技術開発. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.08.
- 13) 沼野智一, 水原和行, 伊東大輝, 大西孝明, 畑 純一, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 独自 MR elastography システムの特徴と制限・限界点. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.10.
- 14) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: MR elastography における各撮像部位の適切な振動周波数の検証. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.10.
- 15) 沼野智一, 伊東大輝, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 新田尚隆, 三澤雅樹: 汎用 MR Elastography の開発と梨状筋への応用. つくば医工連携フォーラム 2016, 2016.01.22.
- 16) 新田尚隆, 三澤雅樹, 白崎芳夫, 林 和彦, 沼野智一, 小坂 亮, 兵藤行志, 本間一弘, 藤原タ子, 星 和人: 生体内音速測定による再生軟骨の非侵襲的評価. つくば医工連携フォーラム 2016, 2016.01.22.
- 17) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 新田尚隆: MRE における各撮像部

位の振動周波数の選択. つくば医工連携フォーラム 2016, 2016.01.22.

- 18) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 三澤雅樹: 骨格筋異方性が MR Elastography に与える影響. つくば医工連携フォーラム 2016, 2016.01.22.
- 19) T. Numano, K. Mizuhara, J. Hata, T. Washio, D. Ito, T. Ohnishi, K. Takamoto, H. Nishijyou: Adaptive technology of MR Elastography for a conventional MRI. European Congress of Radiology (ECR 2016), 2016.03.02.
- 20) D. Ito, T. Numano, T. Onishi, K. Mizuhara, K. Takamoto, H. Nishijyou: Technological development for applying MR Elastography to shoulder muscles. European Congress of Radiology (ECR 2016), 2016.03.02.
- 21) T. Onishi, T. Numano, D. Ito, K. Mizuhara, K. Takamoto, H. Nishijyou: Method to Propagate Efficiently Shear Waves to Psoas Major Muscle in MR Elastography. European Congress of Radiology (ECR 2016), 2016.03.02.

競争的資金等の研究課題

- 1) 沼野智一: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「新しい MR エラストグラフィ技術の実用化に関する研究」, 2013.04-2016.03.

特許

- 1) 沼野智一: 特願 2015-196828, 2015.10.02 「磁気共鳴撮影装置」, 2015.10.02.

講演・口頭発表等

- 1) 千葉貴仁, 齋藤秀敏, 明上山温: 格子ボルツマン方程式の数値解析法を用いた光子輸送シミュレーション. 第 109 回日本医学物理学会学術大会, 2015.04.17.
- 2) Masatsugu Hariu, Atsushi Myojoyama and Hidetoshi Saitoh: Improvement of MV planar image by elimination of Compton scattered photons and re-production as primary photons. WC2015, Tronto(Canada), 2015.06.06.
- 3) Atsushi Myojoyama and Hidetoshi Saitoh: An Imaging method by using electron mode of linear accelerator for soft tissue emphasis. WC2015, Tronto(Canada), 2015.06.09.
- 4) 野本早希, 明上山温: 高線量率場で作業するロボットのための複数カメラを用いたノイズ除去. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.08.
- 5) 白熊美由季, 明上山温: 直線加速装置の電子線モードによる EPID 画像の取得. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.09.
- 6) 中郡萌可, 明上山温: MV CBCT 再構成のための簡易的な画像補正法. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2015.10.09.

首都大学東京 健康福祉学部 研究費評価・配分委員会部会

部会長	木 下	正 信	(学部長)
委 員	飯 村	直 子	(看護学科長)
委 員	新 田	收	(理学療法学科長)
委 員	石 井	良 和	(作業療法学科長)
委 員	福 士	政 広	(放射線学科長)

登録番号(28)40

平成27(2015)年度研究年報
(第 12 号)

平成29年 1 月発行

編集発行 首都大学東京 健康福祉学部
〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7 丁目 2 番10号
電話 (03) 3819-1211

印刷 東京都荒川区西日暮里5-7-2
〒116-0013 株式会社マステック
電話 (03) 3802-4371



古紙配合率70%
再生紙を使用しています。